

墨田区
若者実態調査
調査結果報告書

令和6年11月

墨 田 区

目 次

I 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 回収状況.....	1
6 調査結果の表示方法.....	1
7 ひきこもり、インターネット依存の定義.....	2
II 調査結果.....	5
1 基本属性について	
問1 性別をお答えください。(本問は性別による意向の違いを知るために行うものです。ご本人が自 認している性でご記入ください。)	5
問2 令和6年4月1日時点の年齢をお答えください。(○は1つだけ)	5
問3 墨田区にお住いの期間はどのくらいですか。(○は1つだけ)	5
2 普段の生活について	
問4 現在同居しているご家族すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)	6
問5 平均的な就寝時刻と起床時刻を教えてください。(24時間表記)	7
問6 朝ごはんを週に何日程度食べていますか。(○は1つだけ)	8
問7 晩ごはんを週に何日程度食べていますか。また、どこで食べる人が多いですか。	9
問8 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出しますか。(○は1つだけ)	10
問9 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出した際、何時くらいに帰宅しますか。	10
問10 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出する際、主にどこにいますか。(○はいくつでも)	11
問11 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)	12
問12 ふだんどのくらい外出しますか。(○は1つだけ)	13
問13 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○は1つだけ)	13
問14 現在の状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)	14
問15 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。(○は1つだけ)	14
問16 相談したいと思わない理由は何ですか。(○はいくつでも)	15
問17 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。(○は1つだけ)	15
問18 どのような相談機関に相談しましたか。相談したことのある機関に○をつけてください。(○は いくつでも)	16
問19 今までに以下のような状態が6か月以上続いたことはありますか。(○は1つだけ)	16
問20 はじめてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)	17
問21 その状態はどれくらい続けましたか。(○は1つだけ)	17
問22 その状態になったきっかけは何ですか。(○はいくつでも)	18
3 情報収集やインターネットの利用について	
問23 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(○はいくつでも)	19
問24 学業・仕事以外でどのインターネット接続機器を利用していますか。(○はいくつでも)	20
問25 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などを1日おおよそ何時間ぐらい利用しますか(学校 の授業や宿題、仕事に関する利用を除く)。(○は1つだけ)	20
問26 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などの利用目的は何ですか。(○はいくつでも)	21

問 27	インターネットの利用について、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につき1つ)	22
問 28	インターネットを利用して、直近1年以内で、次のようなトラブルにあったことはありますか。(○はいくつでも)	23
4 悩み事や人間関係について		
問 29	現在、悩み事や心配なことはありますか。(○はいくつでも)	24
問 30	ふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)	26
問 31	ふだん悩み事を誰に相談しますか。(○は1つだけ)	26
問 32	相談するなら、どのような人や場所だと相談しやすい・相談したいと思いますか。(○はいくつでも)	27
5 仕事に関することについて		
問 33	現在は働いていますか。(○は1つだけ)	28
問 34	現在、仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)	30
問 35	仕事をしたくない理由は何ですか。(○はいくつでも)	30
6 社会貢献・社会参画について		
問 36	あなたが実際に参加している地域活動、または参加してみたい地域活動はどのような活動ですか。(○はいくつでも)	31
問 37	地域活動に多くの人が参加するには何が必要だと思いますか。(○は2つまで)	33
7 自由な時間の過ごし方や居場所について		
問 38	仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(○はいくつでも)	36
問 39	仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間を過ごす場合、どのような場所で過ごすことが多いですか。(○はいくつでも)	37
問 40	仕事や学校、家庭などのほかに、どのような居場所があればよいと思いますか。(○はいくつでも)	38
8 あなた自身のことについて		
問 41	次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につき1つ)	41
9 犯罪や非行について		
問 42	薬物について、身近に感じた経験はありますか。(○はいくつでも)	53
問 43	闇バイトについて、身近に感じた経験はありますか。(○はいくつでも)	54
問 44	子どもや若者が犯罪や非行に巻き込まれないようにするために、特に何が必要だと思いますか。(○は3つまで)	55
10 公共施設や施策について		
問 45	若者向けにどんな場所がもっと墨田区にあればよいと思いますか。(○は3つまで)	56
問 46	墨田区が取り組む青少年や若者の施策にどんなことを望みますか。(○は3つまで)	58
11 若者の意見反映について		
問 47	国や墨田区では、まちづくり等を行うにあたって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。墨田区に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことはありますか。(○は1つだけ)	60
問 48	どのような方法や手段であれば、墨田区に対して意見や思いを伝えやすいですか。(○はいくつでも)	60
問 49	若者に関する施策について、墨田区に望むことがありましたらご自由にご記入ください。	62

I 調査の概要

1 調査の目的

墨田区内の若者が日頃どのような生活を営み、どのような意識を持っているかを把握することで、今後の若者支援施策を進める上での参考資料として、調査を実施したものです。

2 調査対象

墨田区在住の18歳から29歳（令和6年4月1日基準）を無作為抽出

3 調査期間

令和6年6月14日から令和6年8月2日まで

※礼状兼督促状の発送は令和6年7月2日

4 調査方法

郵送による配布

郵送及びWEBによる回収

5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率	備考
4,468	885	19.8%	紙回答：399件（45.1%） WEB回答：486件（54.9%）

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各設問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の設問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

7 ひきこもり、インターネット依存の定義

(1) ひきこもり群の定義

①広義のひきこもり群の定義

本調査では、社会的自立に至っているかどうかに着目して、平成30年度調査と同様に（国が実施している「若者の生活に関する調査報告書」を引用）以下のように定義します。

「問12 ふだんどのくらい外出しますか。」について、下記の5～8と回答した者

- 5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事するときだけ外出する
- 6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
- 7. 自室からは出るが、家からは出ない
- 8. 自室からほとんど出ない

かつ

「問13 現在の状態となってどのくらい経ちますか。」について、6か月以上と回答した者
(※選択肢2～6を選択した者)

であって、

「問14 現在の状態になったきっかけは何ですか。」で、

「7. 病気（病名：）」と回答した者

「8. 妊娠した」

と回答した者

又は

「問11 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。」で、

「8. 家事・育児をする」と回答した者

「問33 現在は働いていますか。」で、

「4. 専業主婦・主夫又は家事手伝い」

と回答した者

を除いた者

②ひきこもり親和群の定義

「問41 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。」の
下記の4項目について

- ⑬ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる
- ⑭ 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある
- ⑮ 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる
- ⑯ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

すべて「1. はい」又は3項目に「1. はい」、1項目のみ「2. どちらかといえばはい」と回答した者

から「広義のひきこもり群」を除いた者

③ひきこもり群の定義

本調査では、標本数の関係から「広義のひきこもり群」と「ひきこもり親和群」に該当する者を「ひきこもり群」として定義して集計しています。

（２）一般群の定義

回答者全体から「ひきこもり群」を除いた者で問 41 の⑬～⑯の項目にすべて回答した者です。

（３）インターネット依存者の定義

「問 27 インターネットの利用について、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。」の 8 項目において、5 項目以上に「1. はい」と回答した者です。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">① インターネットに夢中になっていると感じるか② 満足を得るために、ネットを使う時間を長くしていかなければならないと感じるか③ 使用時間を減らしたり、やめようとしたりしたが、うまくいかなかったことが度々あったか④ ネットの使用をやめようとした時、落ち込みやイライラを感じるか⑤ 意図したよりも、長時間オンラインの状態にいるか⑥ ネットのため、大切な人間関係、学校、部活のことを危うくしたことがあったか⑦ 熱中しすぎていることを隠すため、家族や身近な人にうそをついたことがあるか⑧ 嫌な気持ちや不安、落ち込みから逃げるためにネットを使うか |
|---|

（４）インターネット非依存者の定義

回答者全体から「インターネット依存者」を除いた者で「問 24 学業・仕事以外でどのインターネット接続機器を利用していますか。」と問 27 の①～⑧の項目にすべて回答した者です。

(5) ひきこもり・インターネット依存者

①ひきこもり群

	回答者数	広義の ひきこもり群	ひきこもり 親和群	ひきこもり群
【今回調査】 令和 6 年度調査	885 人	16 人 (1.8%)	104 人 (11.8%)	120 人 (13.6%)
平成 30 年度調査	637 人	10 人 (1.6%)	69 人 (10.8%)	79 人 (12.4%)

②インターネット依存

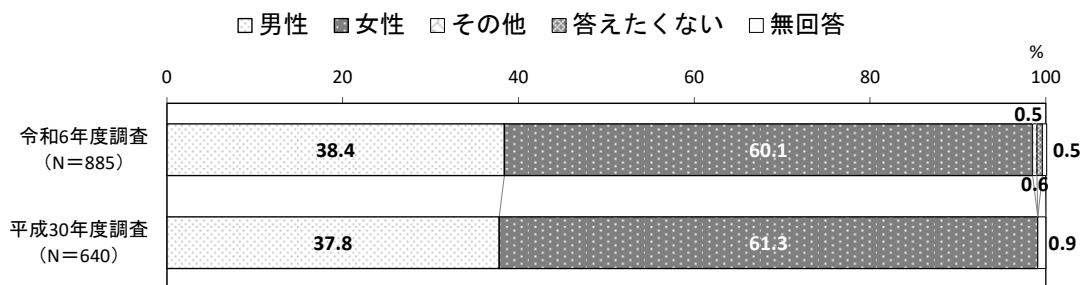
	回答者数	インターネット 依存者
【今回調査】 令和 6 年度調査	885 人	141 人 (15.9%)
平成 30 年度調査	635 人	75 人 (11.8%)

Ⅱ 調査結果

1 基本属性について

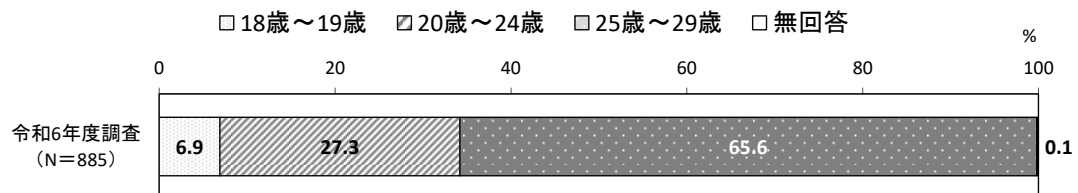
問1 性別をお答えください。(本問は性別による意向の違いを知るために行うものです。ご本人が自認している性でご記入ください。)

「男性」の割合が38.4%、「女性」の割合が60.1%となっています。
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



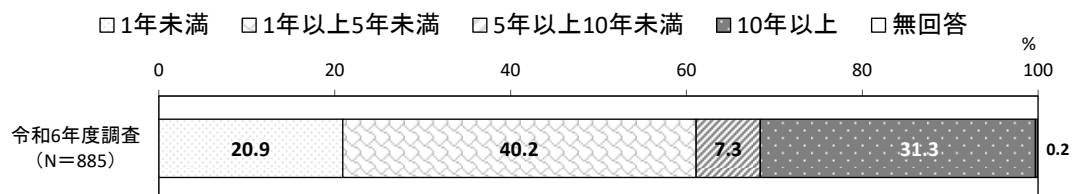
問2 令和6年4月1日時点の年齢をお答えください。(○は1つだけ)

「25歳～29歳」の割合が65.6%と最も高く、次いで「20歳～24歳」の割合が27.3%、「18歳～19歳」の割合が6.9%となっています。



問3 墨田区にお住いの期間はどのくらいですか。(○は1つだけ)

「1年以上5年未満」の割合が40.2%と最も高く、次いで「10年以上」の割合が31.3%、「1年未満」の割合が20.9%となっています。

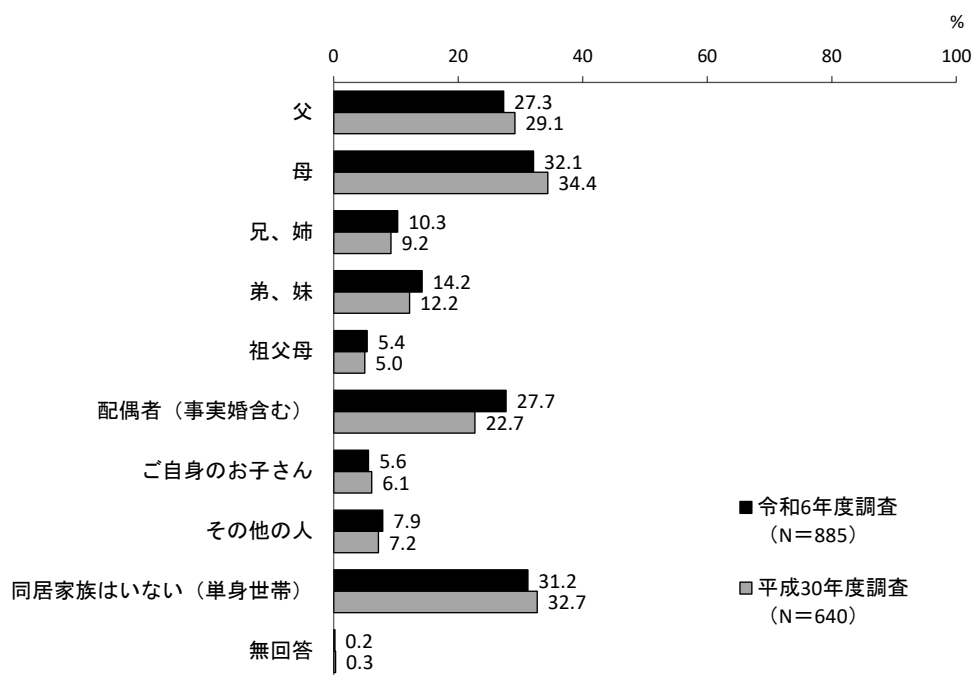


2 普段の生活について

問4 現在同居しているご家族すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「母」の割合が32.1%と最も高く、次いで「同居家族はいない(単身世帯)」の割合が31.2%、「配偶者(事実婚を含む)」の割合が27.7%、「父」の割合が27.3%となっています。

平成30年度調査と比較すると、同様の傾向ですが、「父」「母」「同居家族はいない(単身世帯)」などの割合はやや減少し、「配偶者(事実婚を含む)」の割合が増加しています。



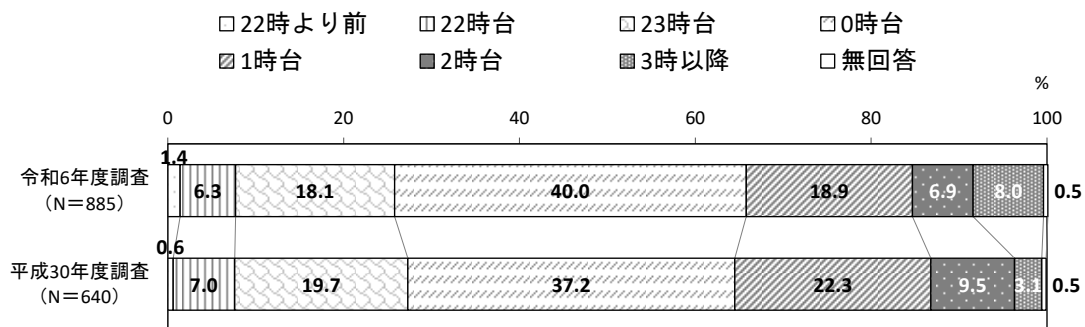
※「その他の人」は、婚約者やパートナー、恋人(彼氏・彼女)、友人などが挙げられています。

問5 平均的な就寝時刻と起床時刻を教えてください。(24 時間表記)

①就寝時刻

「0 時台」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「1 時台」の割合が 18.9%、「23 時台」の割合が 18.1% となっています。

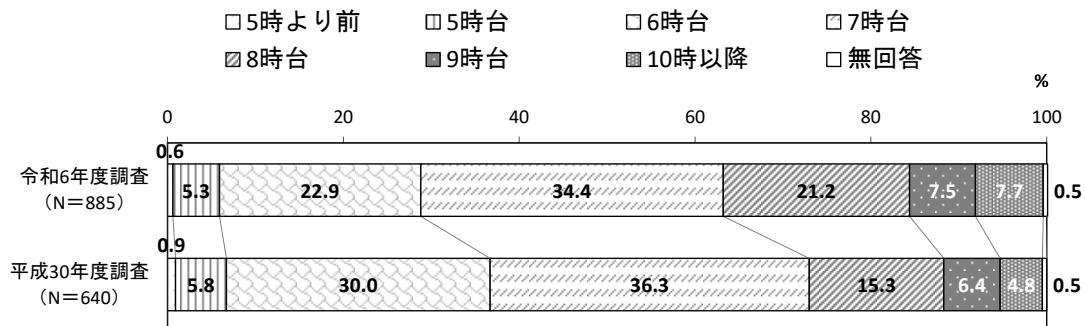
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



②起床時刻

「7 時台」の割合が 34.4%と最も高く、次いで「6 時台」の割合が 22.9%、「8 時台」の割合が 21.2% となっています。

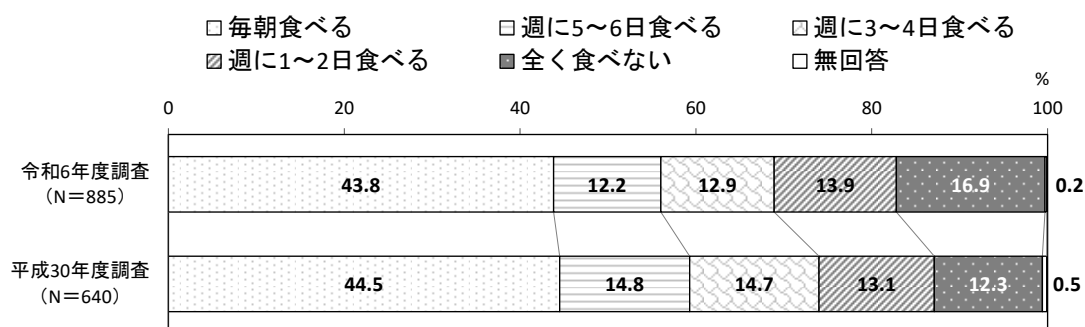
平成 30 年度調査と比較すると、他と比べて「6 時台」の割合がやや減少し、「8 時台」の割合がやや増加しています。



問6 朝ごはんを週に何日程度食べていますか。(〇は1つだけ)

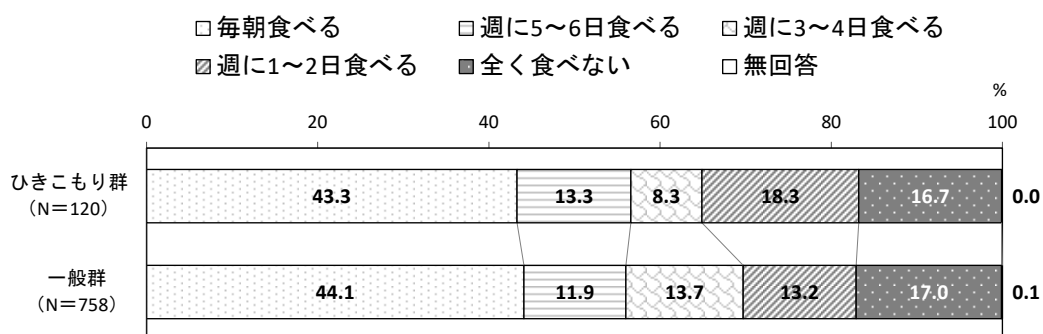
「毎朝食べる」の割合が43.8%と最も高く、次いで「全く食べない」の割合が16.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、他と比べて「週に3～4日食べる」の割合がやや減少し、「全く食べない」の割合がやや増加しています。



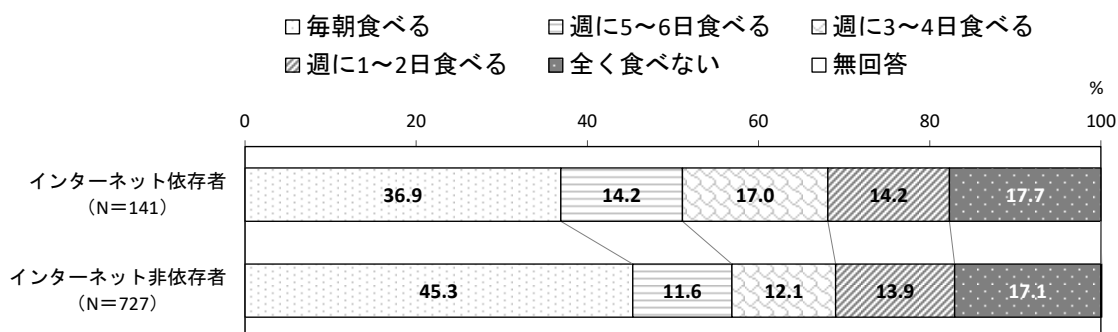
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「週に1～2日食べる」の割合がやや高くなっています。



【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で「毎朝食べる」の割合が低くなっています。

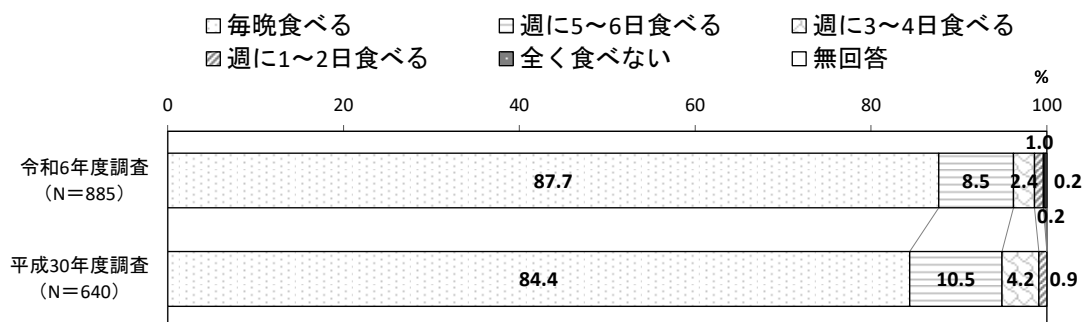


問7 晩ごはんを週に何日程度食べていますか。また、どこで食べることが多いですか。

(1) 週に何日 (○は1つだけ)

「毎晩食べる」の割合が87.7%と最も高く、次いで「週に5～6日食べる」の割合が8.5%となっています。

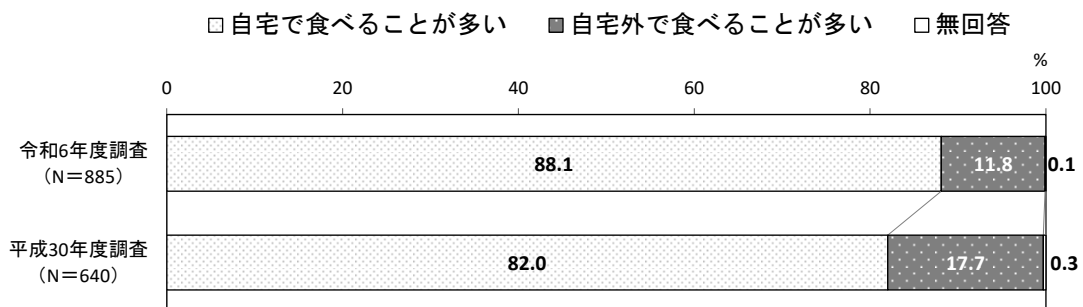
平成30年度調査と比較すると、他と比べて「週に3～4回食べる」の割合がやや減少し、「全く食べない」の割合がやや増加しています。



(2) どこで (○は1つだけ)

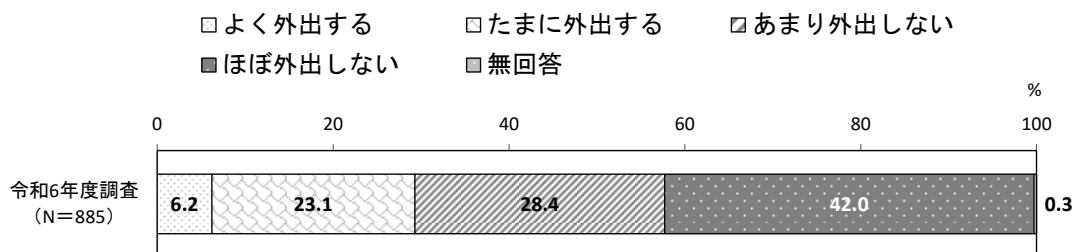
「自宅で食べるが多い」の割合が88.1%、「自宅以外で食べるが多い」の割合が11.8%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「自宅で食べるが多い」の割合が増加し、「自宅外で食べるが多い」の割合が減少しています。



問8 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出しますか。(○は1つだけ)

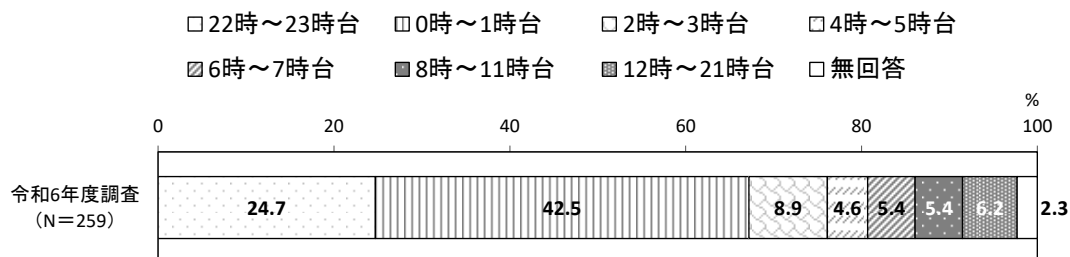
「ほぼ外出しない」の割合が42.0%と最も高く、次いで「あまり外出しない」の割合が28.4%、「たまに外出する」の割合が23.1%となっています。



※問8で「よく外出する」「たまに外出する」と答えた方のみ、問9～10の質問に回答してください。

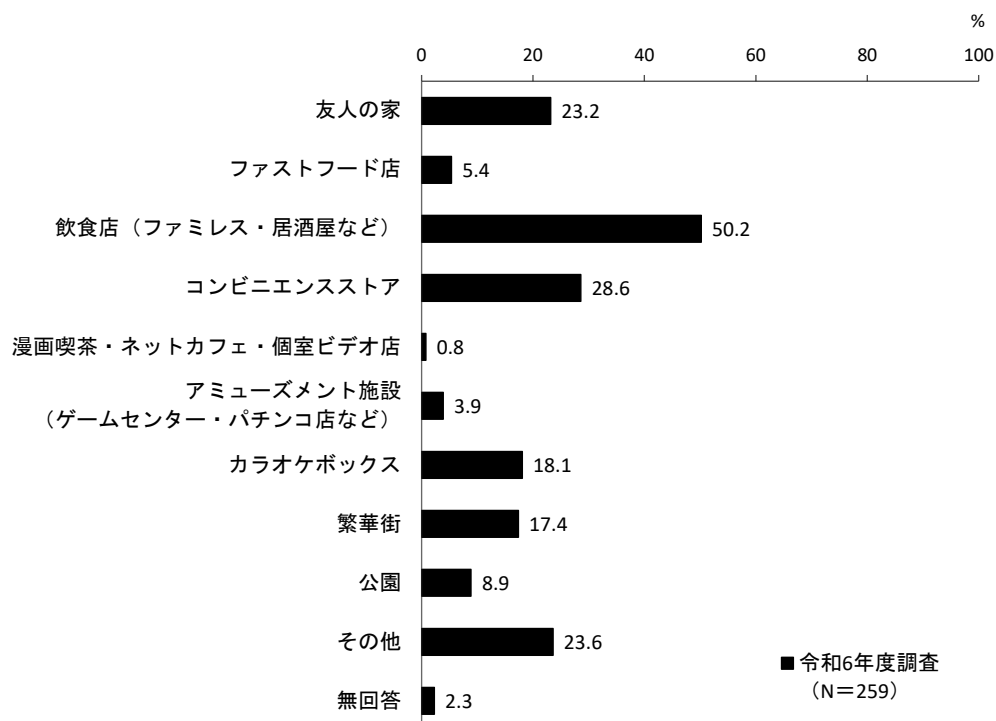
問9 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出した際、何時くらいに帰宅しますか。

「0時～1時台」の割合が42.5%と最も高く、次いで「22時～23時台」の割合が24.7%、「2時～3時台」の割合が8.9%となっています。



問 10 夜間(午後 10 時～翌日午前 4 時)に外出する際、主にどこにいますか。(〇はいくつでも)

「飲食店（ファミレス・居酒屋など）」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「コンビニエンスストア」の割合が 28.6%、「友人の家」の割合が 23.2%となっています。

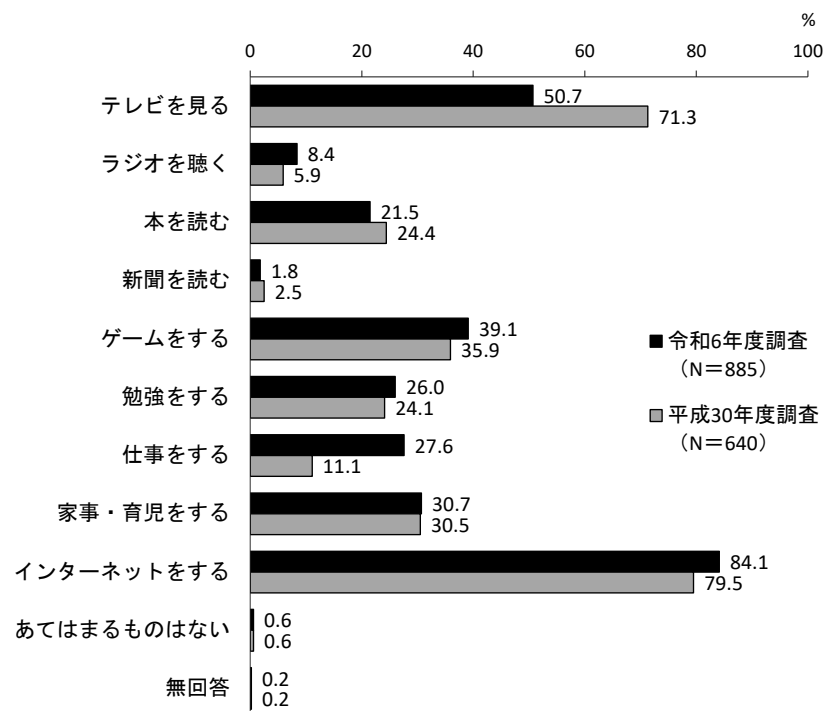


※「その他」の意見としては、バイトや仕事、ジム、散歩、ドライブなどが挙げられています。

問 11 ふだんご自宅にいるときによくしていることすべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

「インターネットをする」の割合が84.1%と最も高く、次いで「テレビを見る」の割合が50.7%、「ゲームをする」の割合が39.1%となっています。

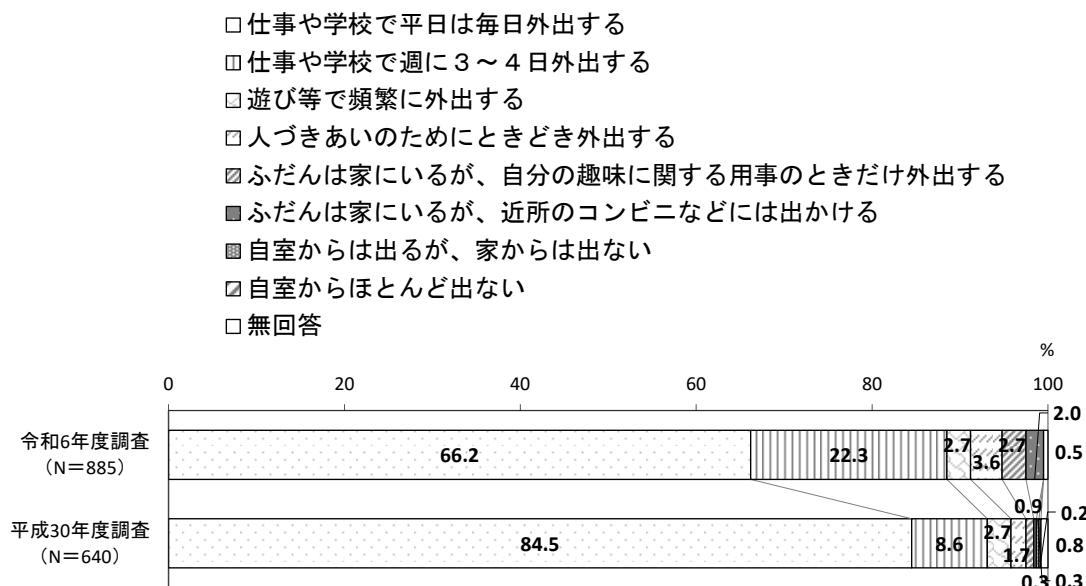
平成30年度調査と比較すると、「テレビを見る」の割合が大きく減少しています。



問 12 ふだんどのくらい外出しますか。(○は1つだけ)

「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が 22.3%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「仕事や学校で平日は毎日外出する」の割合が大きく減少し、「仕事や学校で週に3～4日外出する」の割合が大きく増加しています。

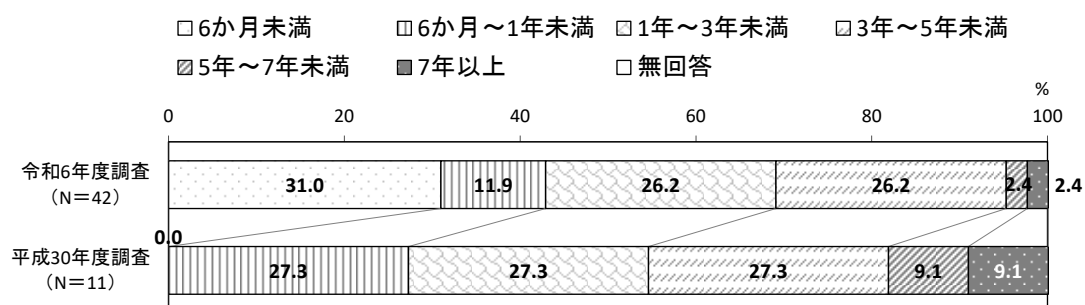


※問 12 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のときだけ外出する」「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」「自室からは出るが、家からは出ない」「自室からほとんど出ない」と答えた方のみ、問 13～15 の質問に回答してください。

問 13 現在の状態となってどのくらい経ちますか。(○は1つだけ)

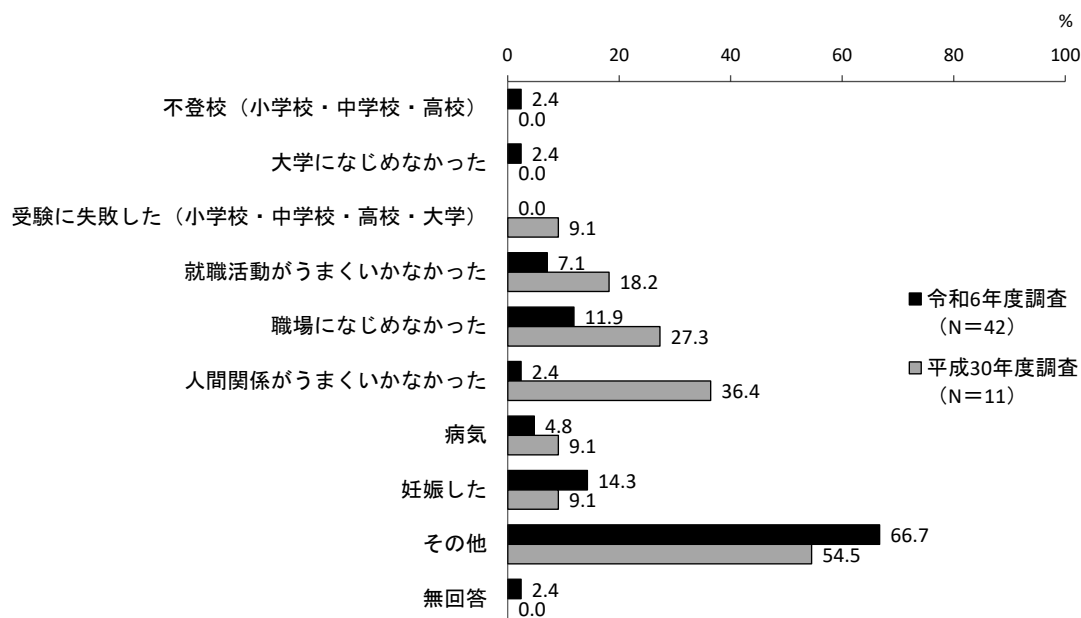
「6 か月未満」の割合が 31.0%と最も高く、次いで「1 年～3 年未満」「3 年～5 年未満」の割合がともに 26.2%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「6 か月未満」の割合が大きく増加し、「6 か月～1 年未満」の割合が大きく減少しています。



問 14 現在の状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

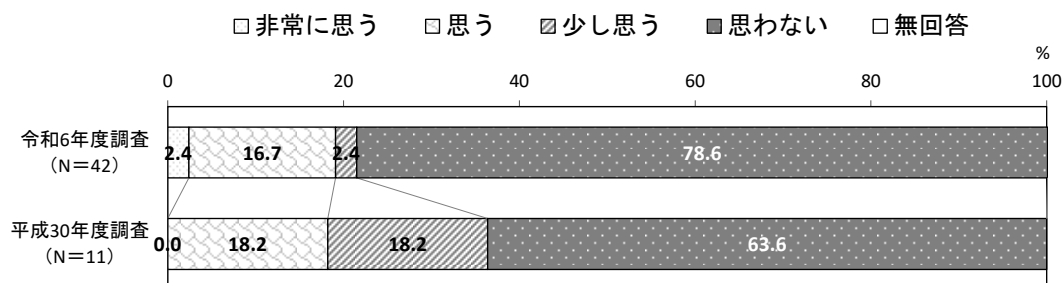
「その他」の割合が 66.7%と最も高く、次いで「妊娠した」の割合が 14.3%、「職場になじめなかった」の割合が 11.9%、「就職活動がうまくいかなかった」の割合が 7.1%となっています。
「その他」の意見としては、在宅勤務・テレワークのため、などが挙げられています。



問 15 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いますか。(〇は1つだけ)

「非常に思う」、「思う」と「少し思う」をあわせた“相談したいと思う”の割合が 21.5%、「思わない」の割合が 78.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、“相談したいと思う”の割合が減少し、「思わない」の割合が増加しています。

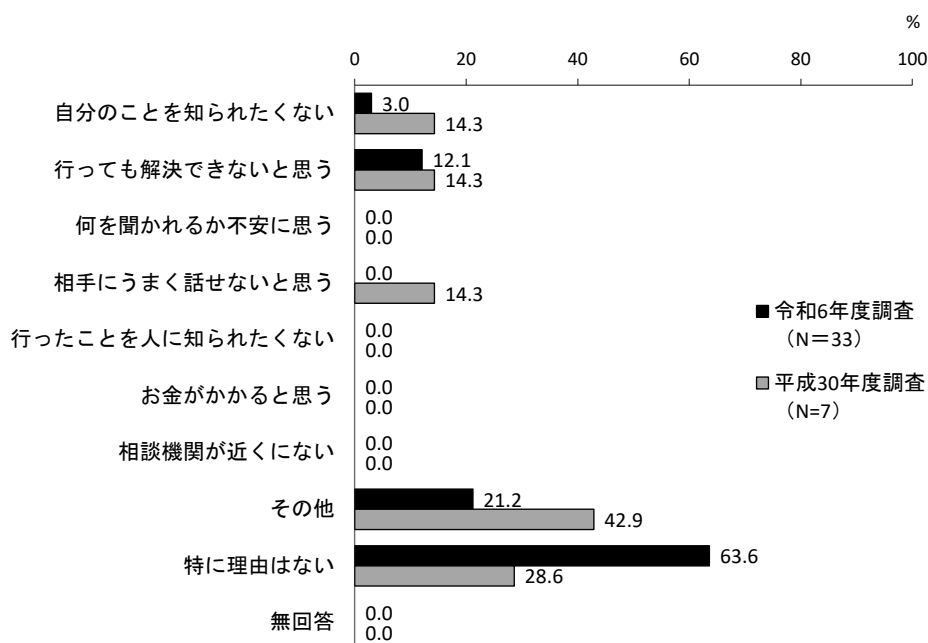


※問 15 で「思わない」と答えた方のみ、問 16 の質問に回答してください。

問 16 相談したいと思わない理由は何ですか。（○はいくつでも）

「特に理由はない」の割合が 63.6%と最も高く、次いで「その他」の割合が 21.2%、「行っても解決できないと思う」の割合が 12.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「特に理由はない」の割合が大きく増加しています。

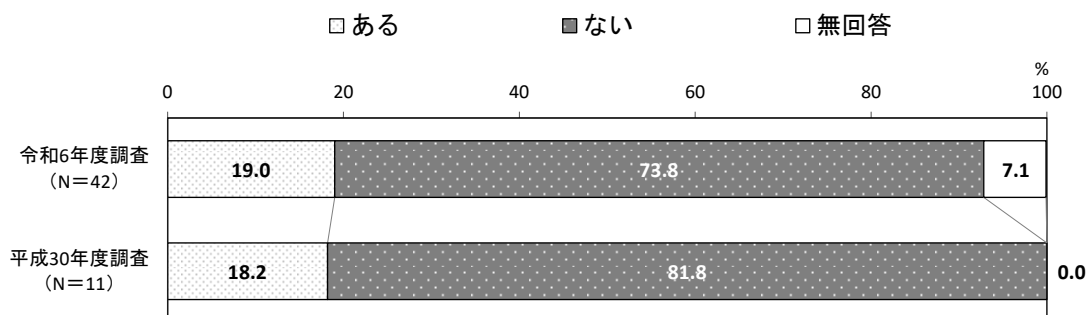


※「その他」の意見としては、病気ではないから、問題ないから、などが挙げられています。

問 17 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。（○は1つだけ）

「ある」の割合が 19.0%、「ない」の割合が 73.8%となっています。

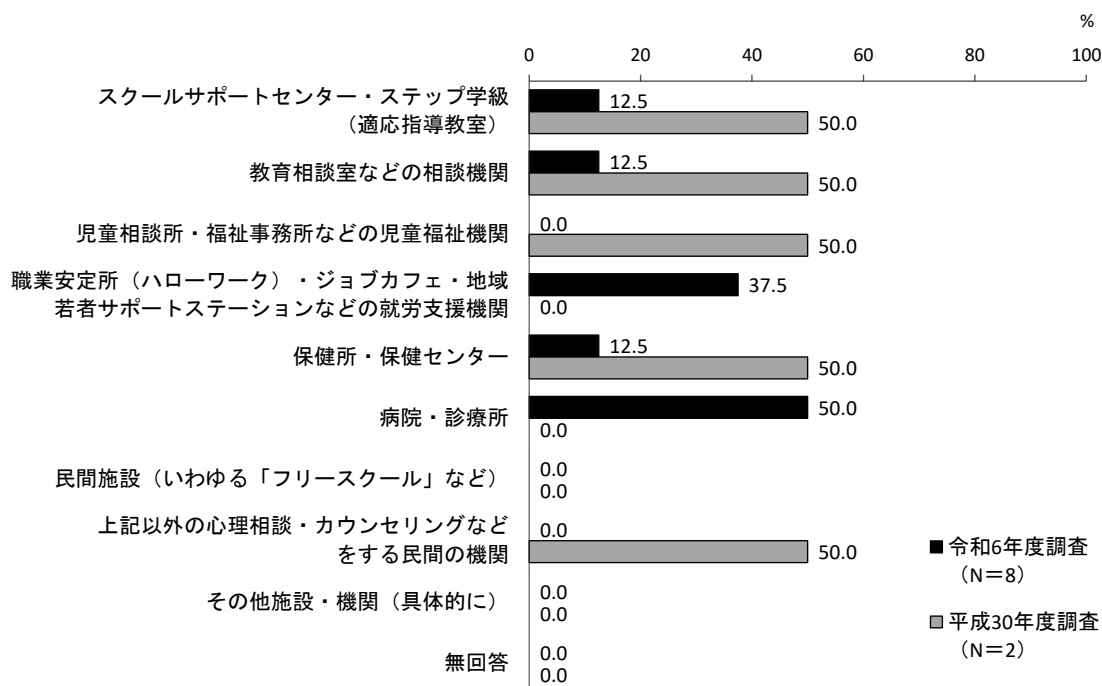
平成 30 年度調査と比較すると、「ある」の割合に大きな変化は見られません。



※問 17 で「ある」と答えた方のみ、問 18 の質問に回答してください。

問 18 どのような相談機関に相談しましたか。相談したことがある機関に○をつけてください。(○はいくつでも)

「病院・診療所」が 4 件 (50.0%)、「職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関」が 3 件 (37.5%) となっています。

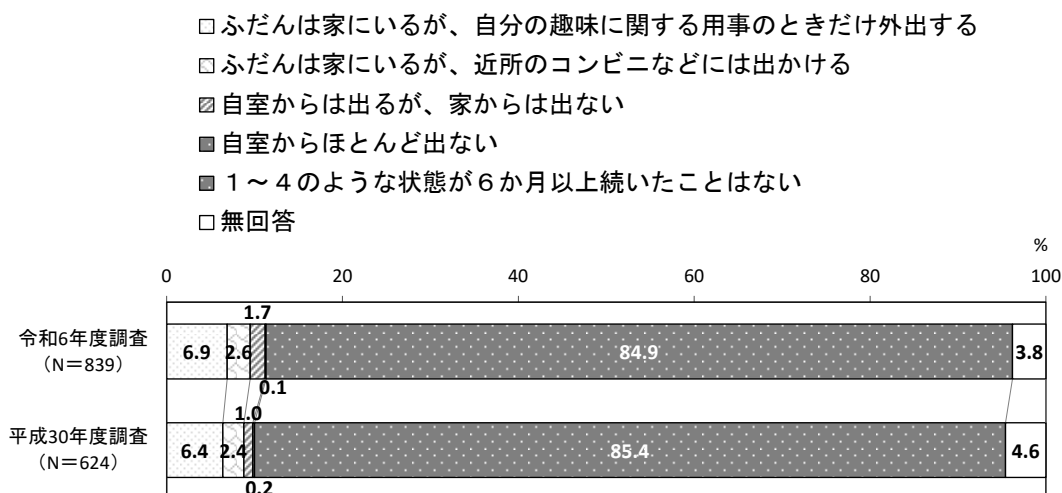


※問 12 で「仕事や学校で平日は毎日外出する」、「仕事や学校で週に 3～4 日外出する」、「遊び等で頻繁に外出する」、「人づきあいのためにときどき外出する」と答えた方のみ、問 19 の質問に回答してください。

問 19 今までに以下のような状態が 6 か月以上続いたことはありますか。(○は 1 つだけ)

「1～4 のような状態 (外出頻度が少ない状態) が 6 か月以上続いたことはない」が 84.9% と最も高くなっています。

平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。

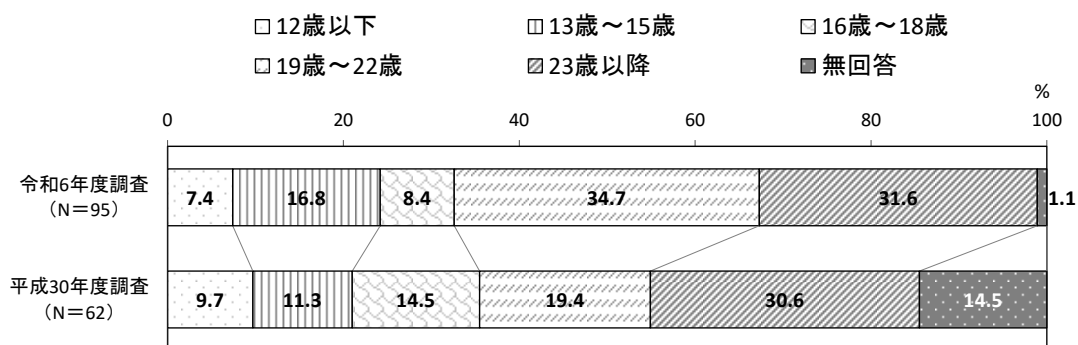


※問 19 で「ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事るときだけ外出する」、「ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける」、「自室からは出るが、家からは出ない」、「自室からほとんど出ない」と答えた方のみ、問 20～22 の質問に回答してください。

問 20 はじめてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

「19 歳～22 歳」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「23 歳以降」の割合が 31.6%、「13 歳～15 歳」の割合が 16.8%となっています。

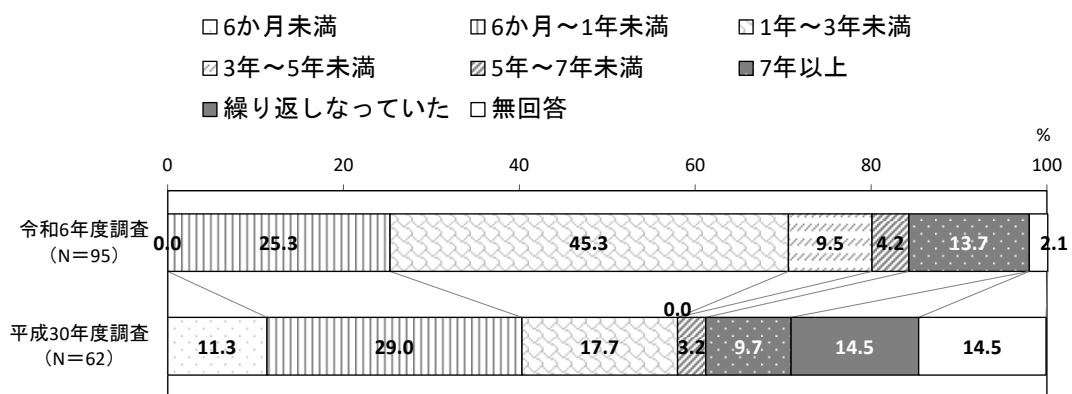
平成 30 年度調査と比較すると、「16 歳～18 歳」の割合が減少し、「19 歳～22 歳」の割合が増加しています。



問 21 その状態はどれくらい続きましたか。(○は1つだけ)

「1 年～3 年未満」の割合が 45.3%と最も高く、次いで「6 か月～1 年未満」の割合が 25.3%、「7 年以上」の割合が 13.7%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「1 年～3 年未満」の割合が増加しています。



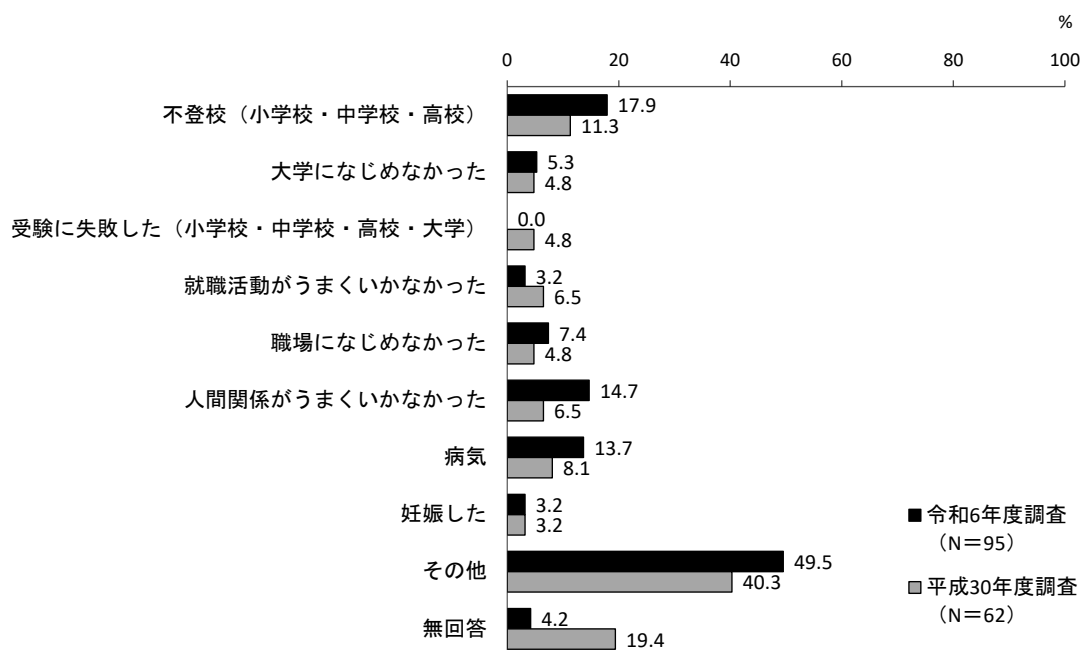
※令和6年度調査では、「6か月未満」及び「繰り返しになっていた」の選択肢はない。(平成30年度調査のみに設定)

問 22 その状態になったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

「その他」の割合が 49.5%と最も高く、次いで「不登校（小学校・中学校・高校）」の割合が 17.9%、「人間関係がうまくいかなかった」の割合が 14.7%となっています。

「その他」の意見としては、コロナ禍のため、在宅勤務・テレワークのため、特に理由なしなどが挙げられています。

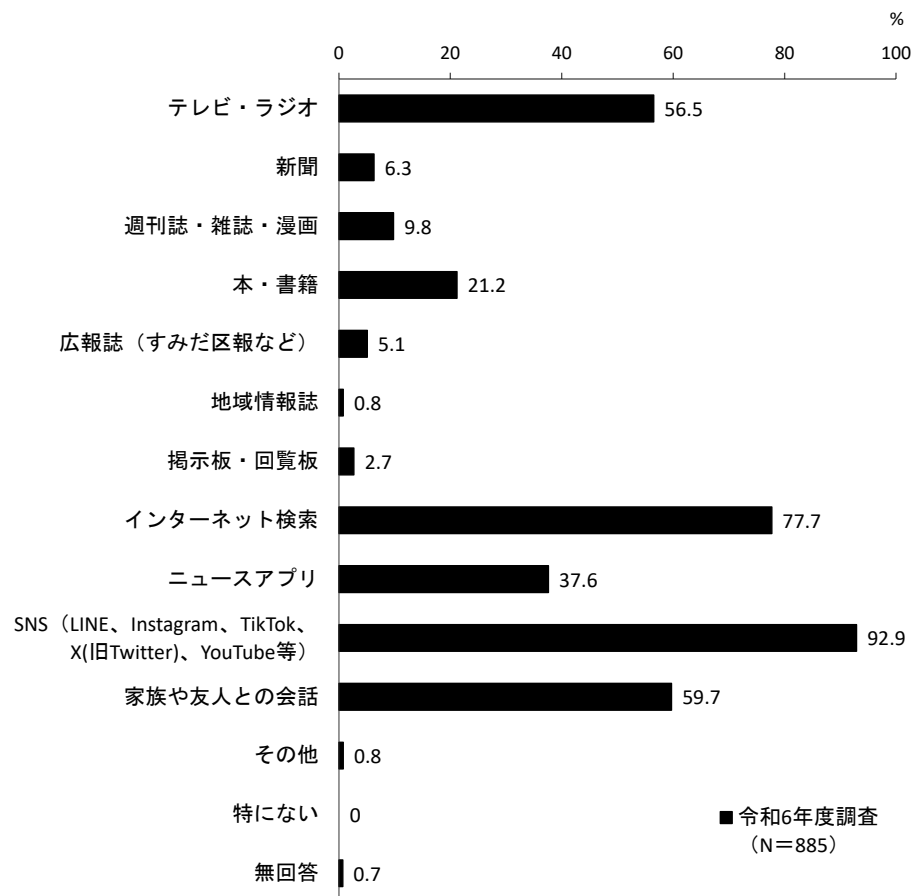
平成 30 年度調査と比較すると、「不登校（小学校・中学校・高校）」「人間関係がうまくいかなかった」「職場になじめなかった」「病気」の割合が増加しています。



3 情報収集やインターネットの利用について

問 23 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。(〇はいくつでも)

「SNS (LINE、Instagram、TikTok、X(旧 Twitter)、YouTube 等)」の割合が 92.9%と最も高く、次いで「インターネット検索」の割合が 77.7%、「家族や友人との会話」の割合が 59.7%、「テレビ・ラジオ」の割合が 56.5%となっています。

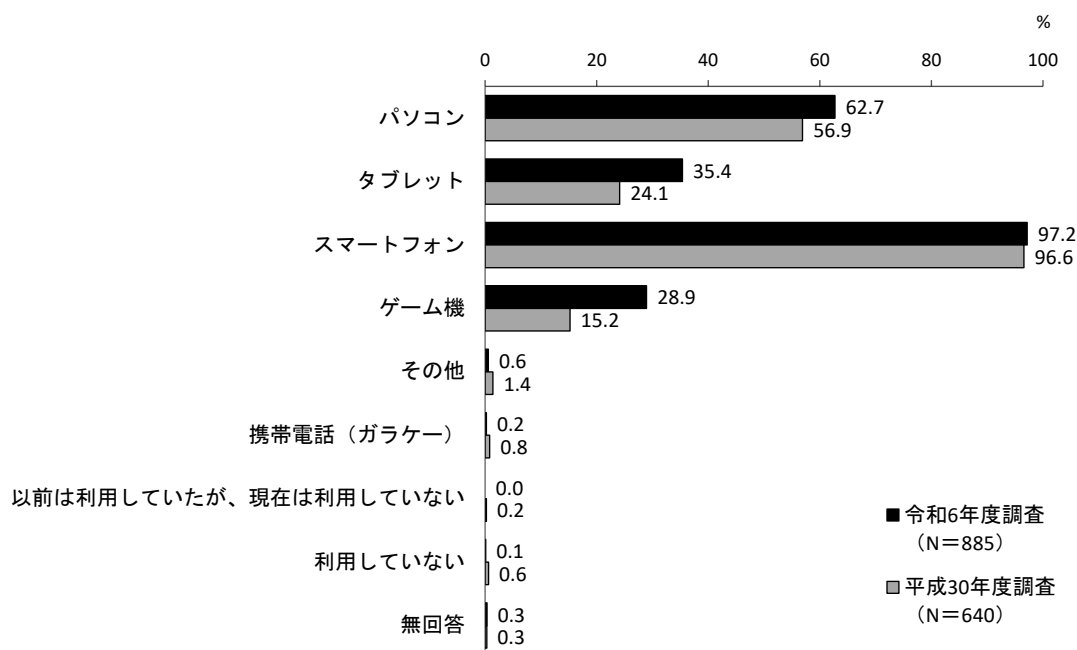


※「その他」の意見としては、仕事や職場の人との会話が挙げられています。

問 24 学業・仕事以外でどのインターネット接続機器を利用していますか。(〇はいくつでも)

「スマートフォン」の割合が97.2%と最も高く、次いで「パソコン」の割合が62.7%、「タブレット」の割合が35.4%、「ゲーム機」の割合が28.9%となっています。

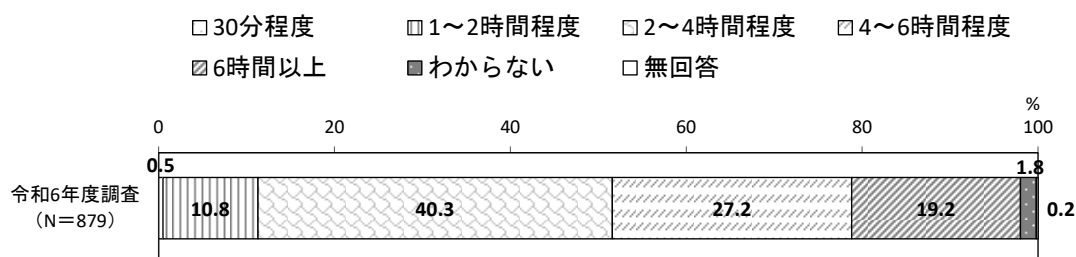
平成30年度調査と比較すると、同様の傾向ですが、「タブレット」「ゲーム機」の割合が増加しています。



※問24で「パソコン」「タブレット」「スマートフォン」「ゲーム機」「その他」が含まれる方のみ、問25～28の質問に回答してください。

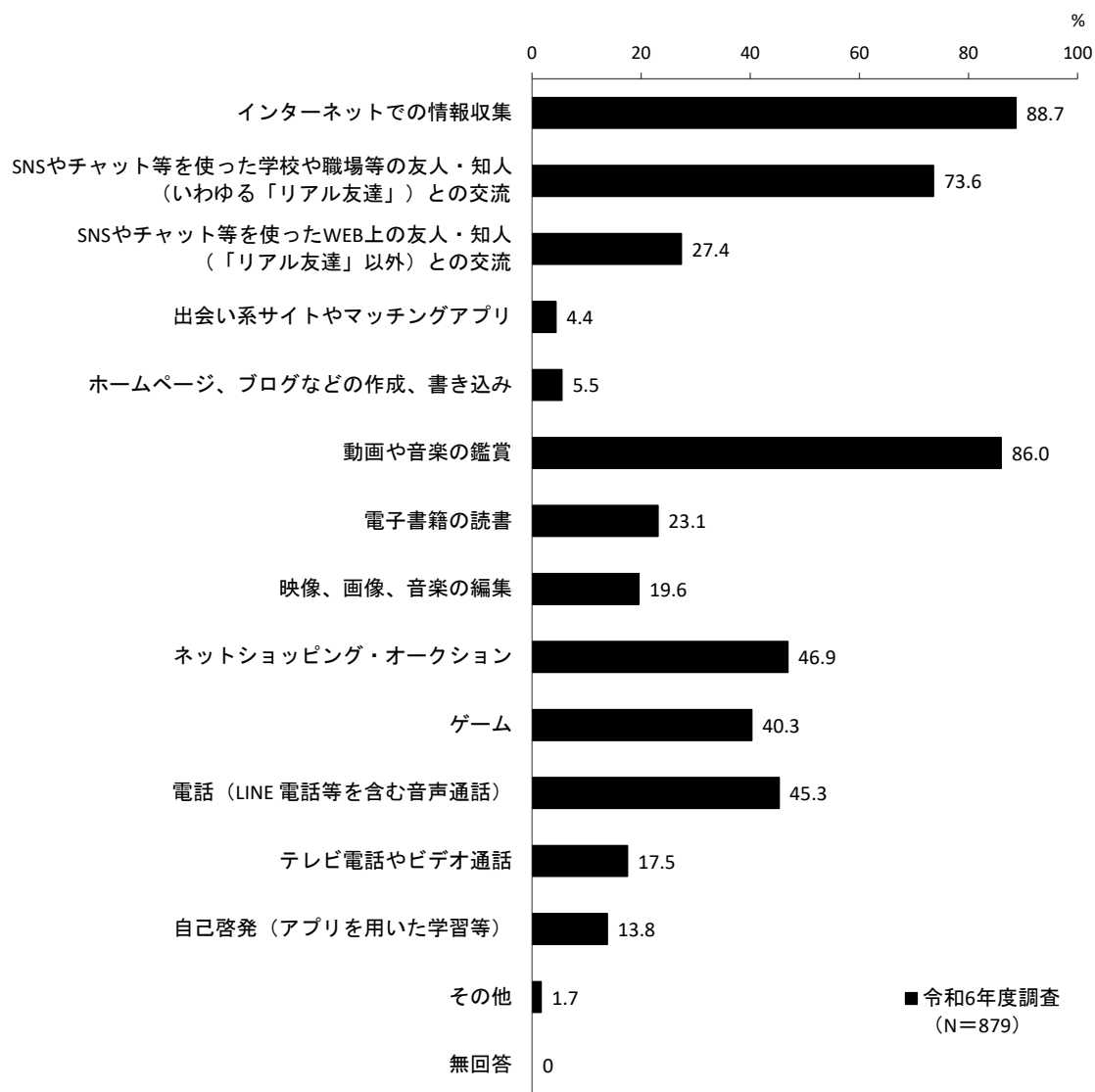
問 25 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などを1日およそ何時間ぐらい利用しますか(学校の授業や宿題、仕事に関する利用を除く)。(〇は1つだけ)

「2～4時間程度」の割合が40.3%と最も高く、次いで「4～6時間程度」の割合が27.2%、「6時間以上」の割合が19.2%となっています。



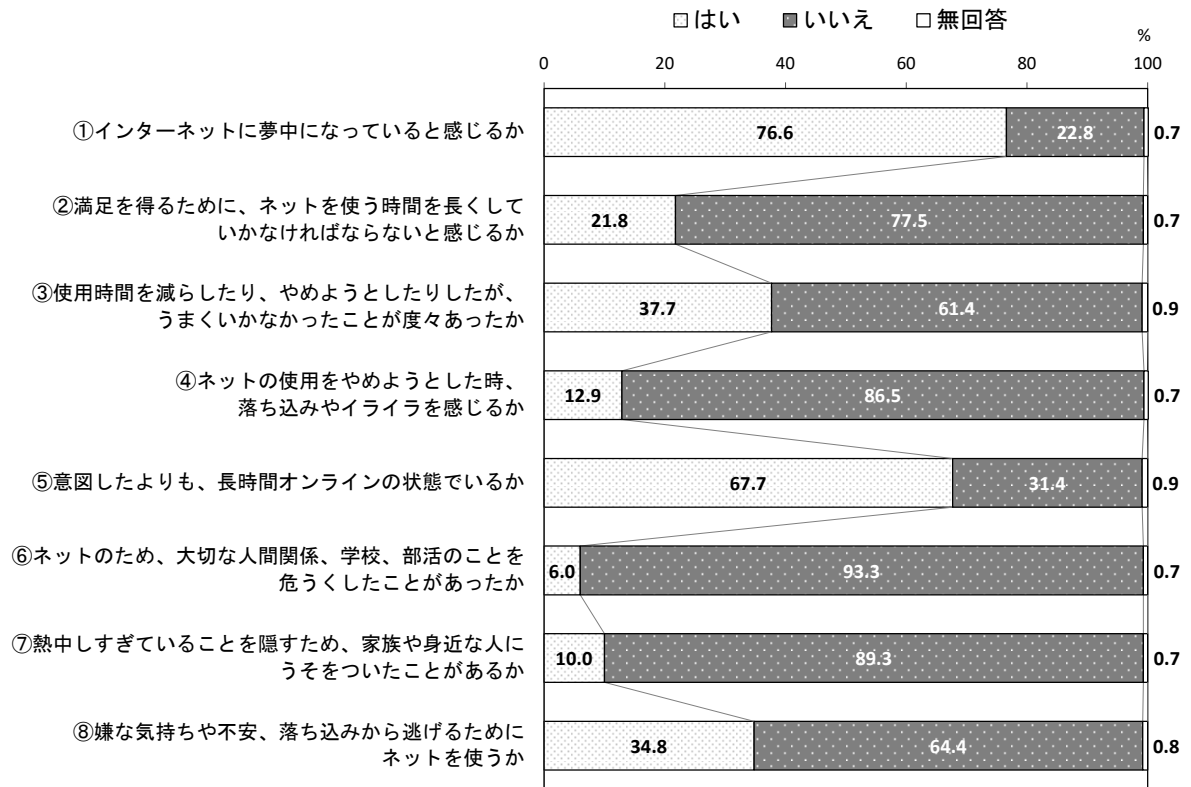
問 26 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などの利用目的は何ですか。(〇はいくつでも)

「インターネットでの情報収集」の割合が 88.7%と最も高く、次いで「動画や音楽の鑑賞」の割合が 86.0%、「SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人（いわゆる「リアル友達」）との交流」の割合が 73.6%となっています。



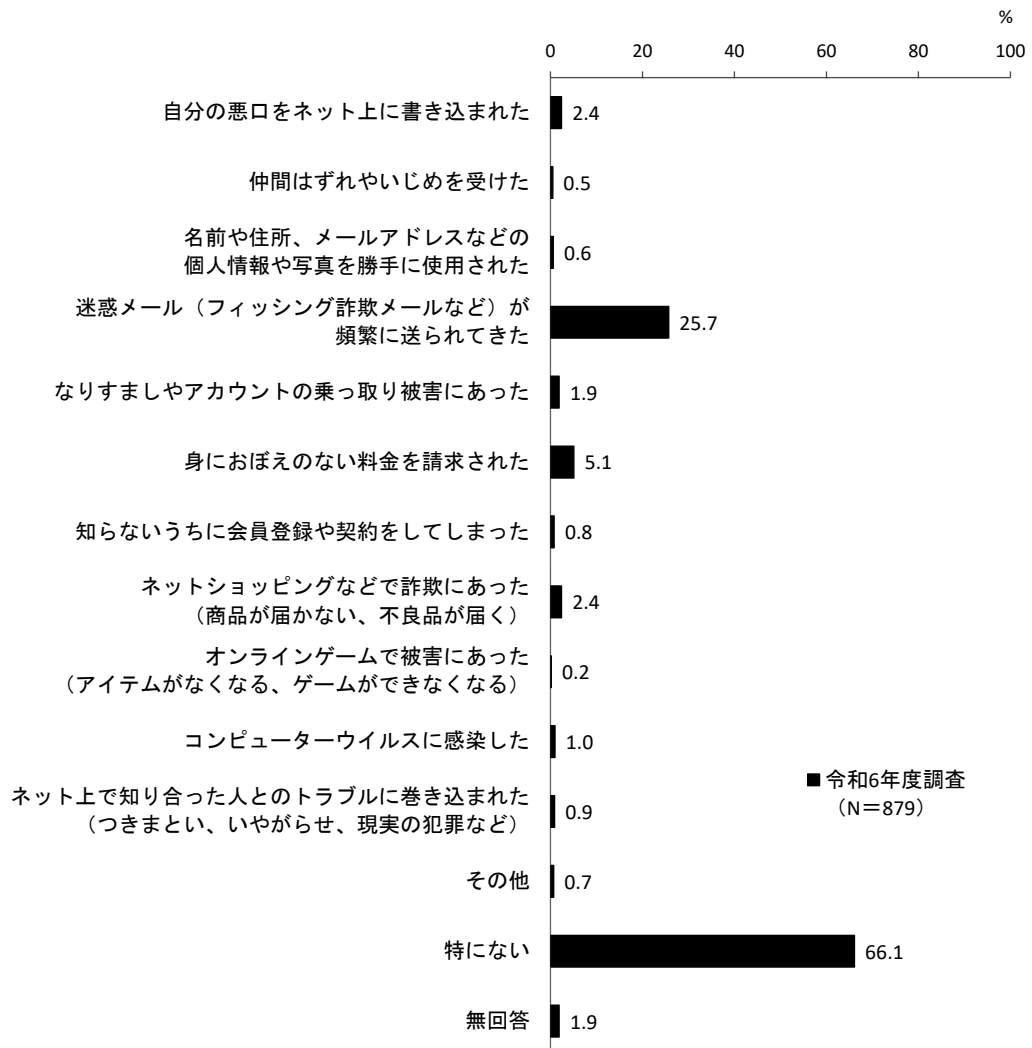
問 27 インターネットの利用について、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。
(○は各項目につき1つ)

「①インターネットに夢中になっていると感じるか」、「⑤意図したよりも、長時間オンラインの状態であるか」で“はい”の割合が6割を超えています。



問 28 インターネットを利用して、直近 1 年以内で、次のようなトラブルにあったことはありますか。（○はいくつでも）

「特にない」の割合が 66.1%と最も高く、次いで「迷惑メール（フィッシング詐欺メールなど）が頻繁に送られてきた」の割合が 25.7%となっています。

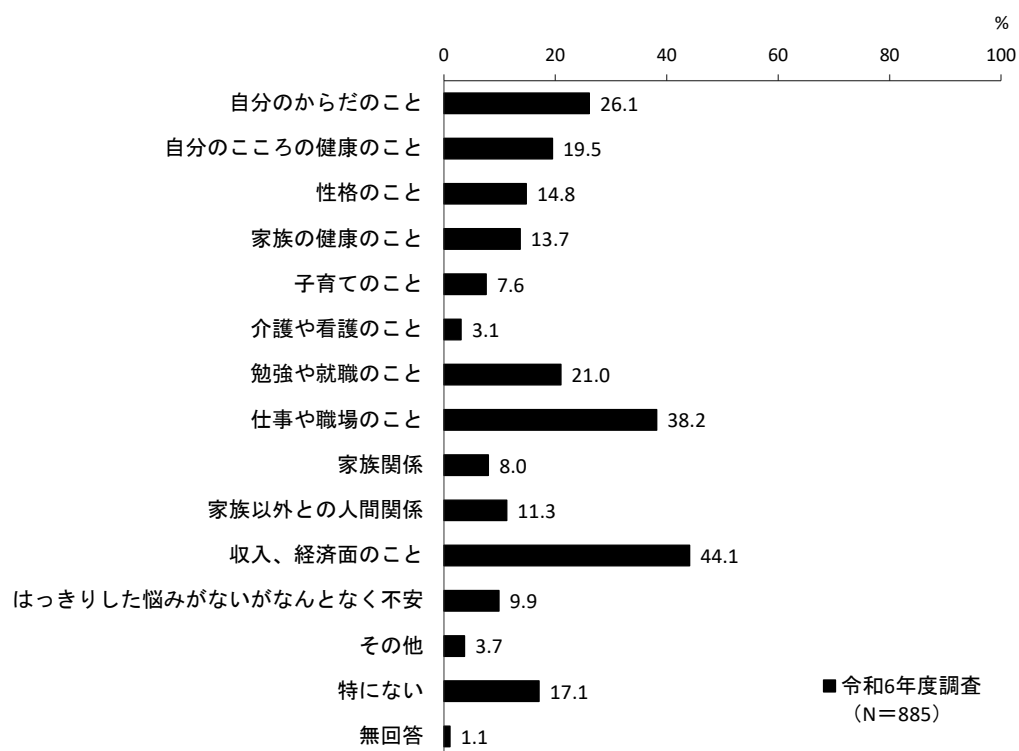


※「その他」の意見としては、詐欺やクレジットカードの不正利用、アカウント乗っ取られ、嫌がらせなどが挙げられています。

4 悩み事や人間関係について

問 29 現在、悩み事や心配なことはありますか（〇はいくつでも）

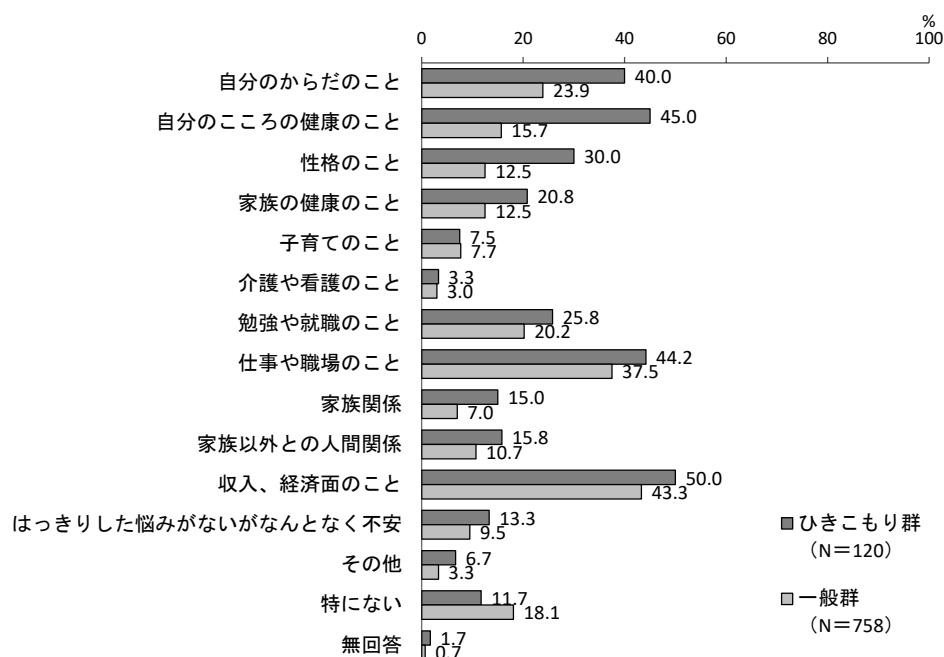
「収入、経済面のこと」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「仕事や職場のこと」の割合が 38.2%、「自分のからだのこと」の割合が 26.1%となっています。



※「その他」の意見としては、将来のこと、恋愛・結婚、仕事、社会情勢などが挙げられています。

【ひきこもり群別】

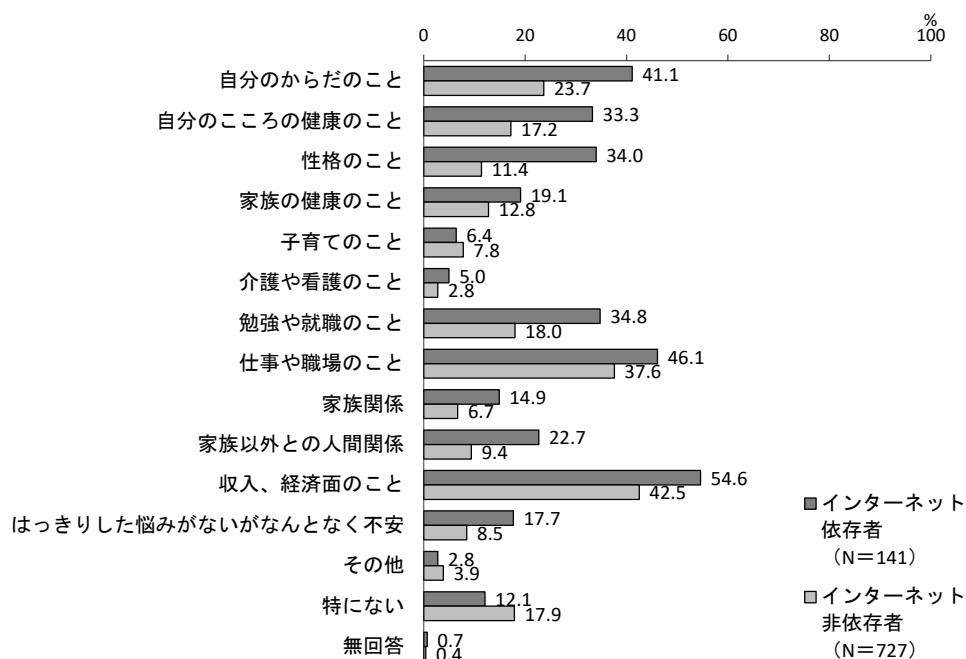
ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、全体的にひきこもり群で割合が高くなっています。その中で、「自分のこころと健康のこと」「性格のこと」の割合は特に高くなっています。



【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、全体的にインターネット依存者で割合が高くなっています。

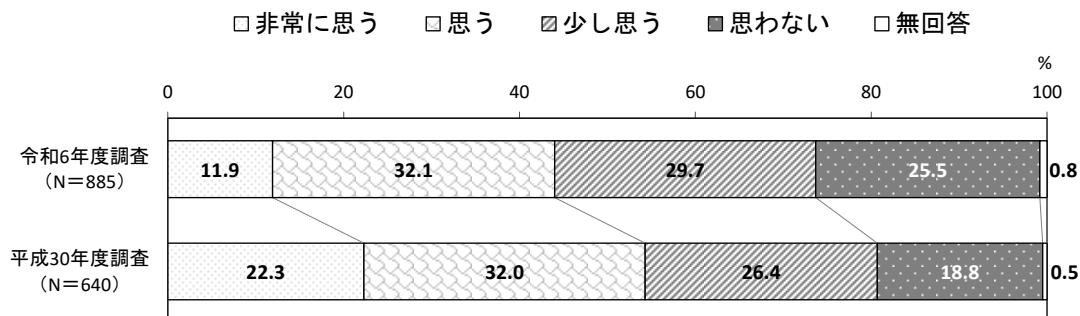
その中で、「性格のこと」「勉強や就職のこと」の割合は大きく高くなっています。



問 30 ふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)

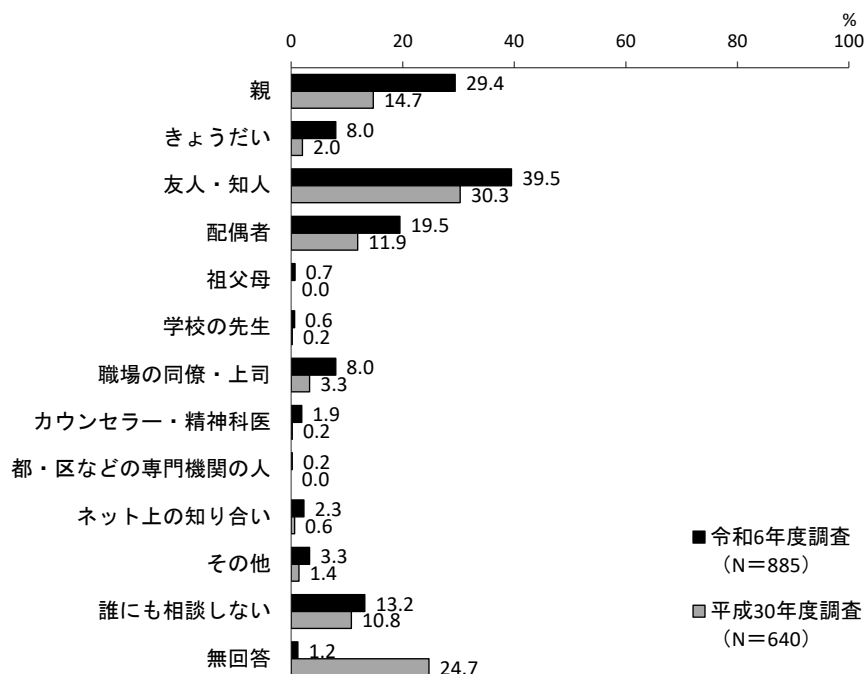
「思う」の割合が32.1%と最も高く、次いで「少し思う」の割合が29.7%となっており、「非常に思う」「思う」「少し思う」をあわせた“相談したいと思う”の割合が73.7%、「思わない」の割合が25.5%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「相談したいと思う」の割合が減少しています。



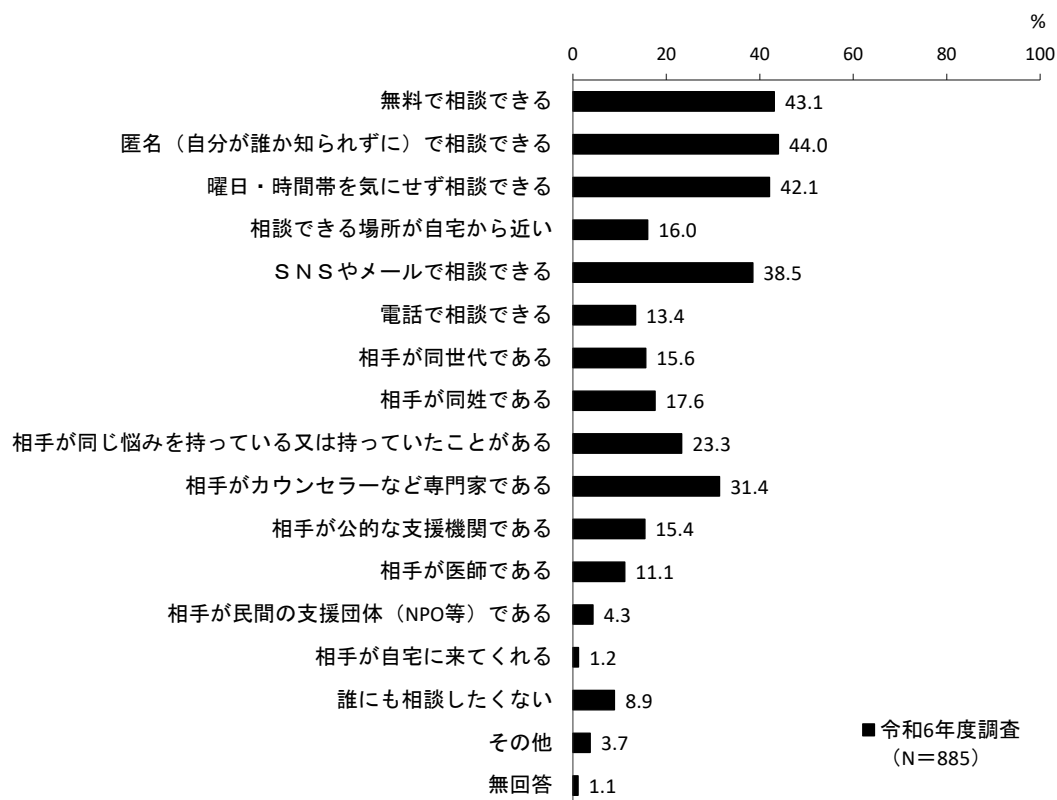
問 31 ふだん悩み事を誰に相談しますか。※複数選択として集計

「友人・知人」の割合が39.5%と最も高く、次いで「親」の割合が29.4%、「配偶者」の割合が19.5%となっています。



問 32 相談するなら、どのような人や場所だと相談しやすい・相談したいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「匿名（自分が誰か知られずに）で相談できる」の割合が 44.0%と最も高く、次いで「無料で相談できる」の割合が 43.1%、「曜日・時間帯を気にせず相談できる」の割合が 42.1%となっています。



※「その他」の意見としては、自分をよく知っている、相談内容が秘匿される、何も言わずにただ話を聞いてくれる、周りの人も利用している、などが挙げられています。

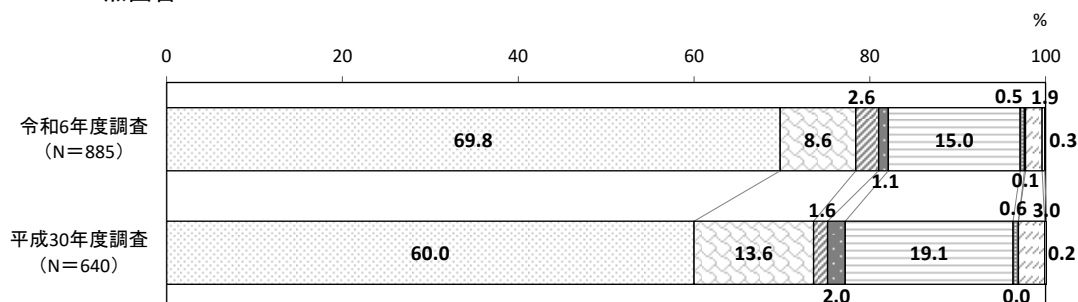
5 仕事に関することについて

問 33 現在は働いていますか。(〇は1つだけ)

「勤めている（正社員）」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「学生（予備校生を含む）」の割合が 15.0%、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアバイトは除く）」の割合が 8.6%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「勤めている（正社員）」の割合が増加し、「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアバイトは除く）」「学生（予備校生を含む）」の割合が減少しています。

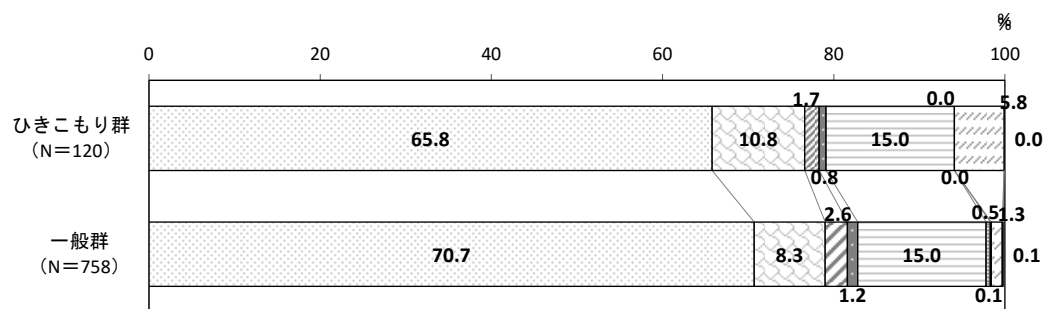
- ☐ 勤めている（正社員）
- ☐ 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアバイトは除く））
- ☐ 自営業・自由業
- ☐ 専業主婦・主夫又は家事手伝い
- ☐ 学生（予備校生を含む）
- ☐ その他
- ☐ 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- ☐ 無職
- ☐ 無回答



【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」「無職」の割合が高くなっています。

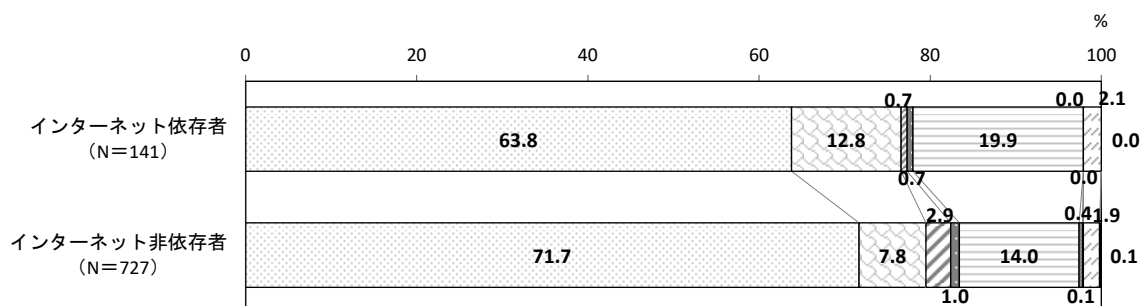
- ☐ 勤めている（正社員）
- ☐ 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- ☒ 自営業・自由業
- ☒ 専業主婦・主夫又は家事手伝い
- ☐ 学生（予備校生を含む）
- ☒ その他
- ☒ 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- ☐ 無職
- ☐ 無回答



【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で「勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））」「学生（予備校生を含む）」の割合が高くなっています。

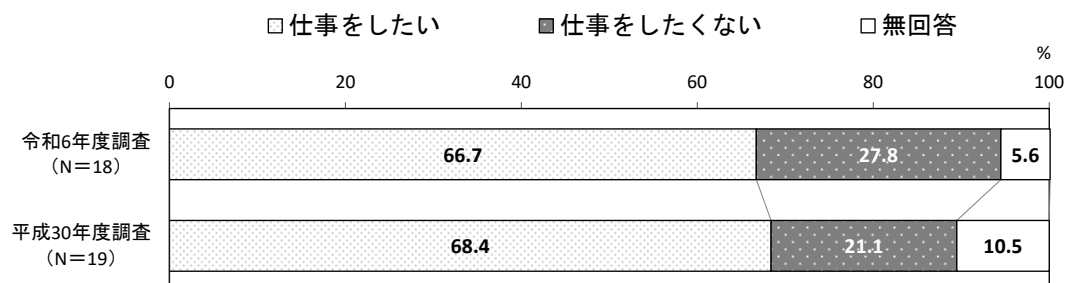
- ☐ 勤めている（正社員）
- ☐ 勤めている（契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト（学生のアルバイトは除く））
- ☒ 自営業・自由業
- ☒ 専業主婦・主夫又は家事手伝い
- ☐ 学生（予備校生を含む）
- ☒ その他
- ☒ 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
- ☐ 無職
- ☐ 無回答



※問 33 で「派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない」「無職」と答えた方のみ、問 34 の質問に回答してください。

問 34 現在、仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

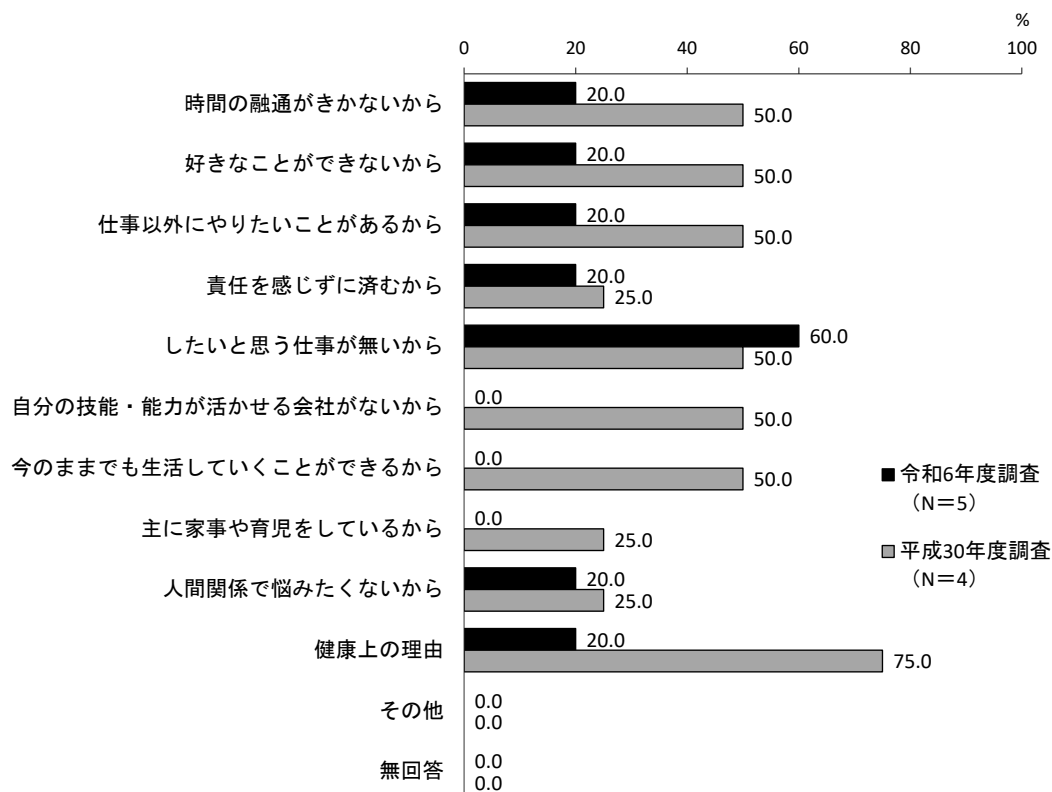
「仕事をしたい」の割合が 66.7%、「仕事をしたくない」の割合が 27.8%となっています。
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



※問 34 で「仕事をしたくない」と答えた方のみ、問 35 の質問に回答してください。

問 35 仕事をしたくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

「したいと思う仕事が無いから」が 3 件 (60.0%)、「時間の融通がきかないから」「好きなことができないから」「仕事以外にやりたいことがあるから」「責任を感じずに済むから」「人間関係で悩みたくないから」「健康上の理由」がそれぞれ 1 件 (20.0%) となっています。

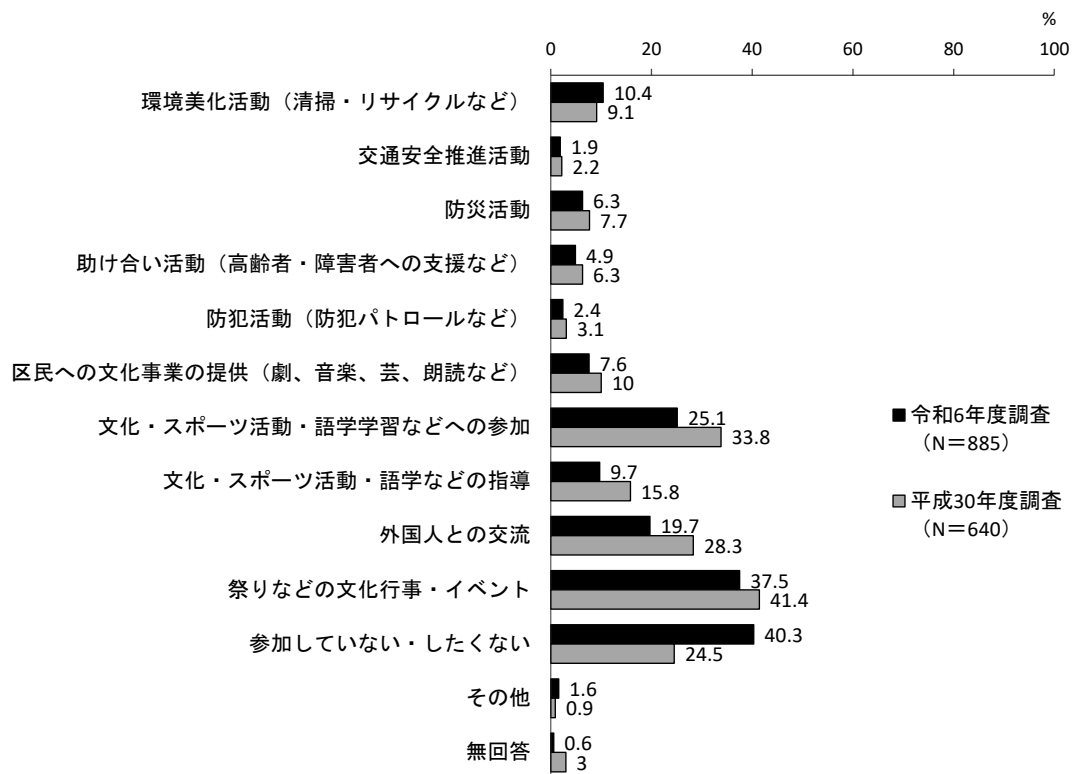


6 社会貢献・社会参画について

問 36 あなたが実際に参加している地域活動、または参加してみたい地域活動はどのような活動ですか。(〇はいくつでも)

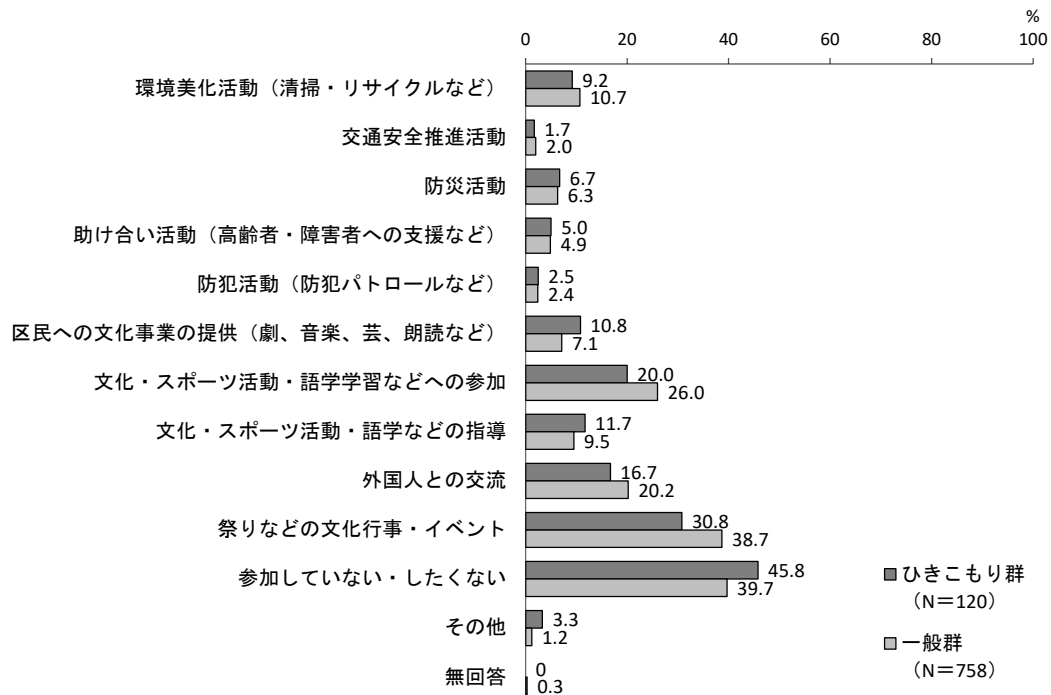
「参加していない・したくない」の割合が40.3%と最も高く、次いで「祭りなどの文化行事・イベント」の割合が37.5%、「文化・スポーツ活動・語学学習などへの参加」の割合が25.1%、「外国人との交流」の割合が19.7%となっています。

平成30年度調査と比較すると、「参加していない・したくない」の割合が大きく増加し、「文化・スポーツ活動・語学学習などへの参加」「外国人との交流」の割合がやや減少しています。



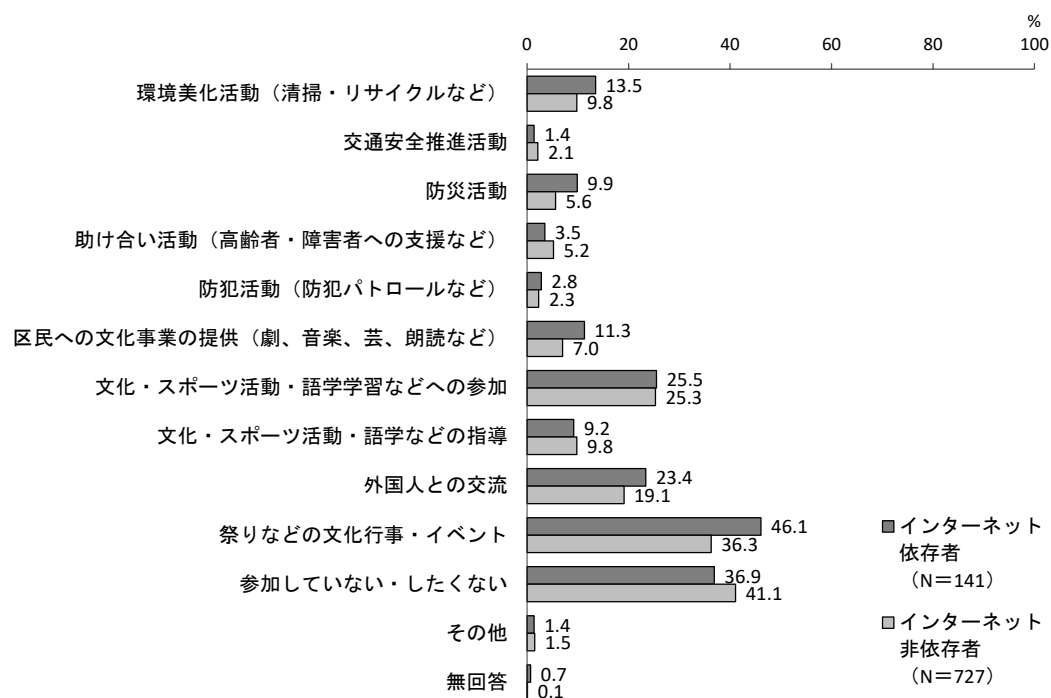
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「参加していない・したくない」とともに「区民への文化事業の提供（劇、音楽、芸、朗読など）」の割合が高くなっています。



【インターネット依存別】

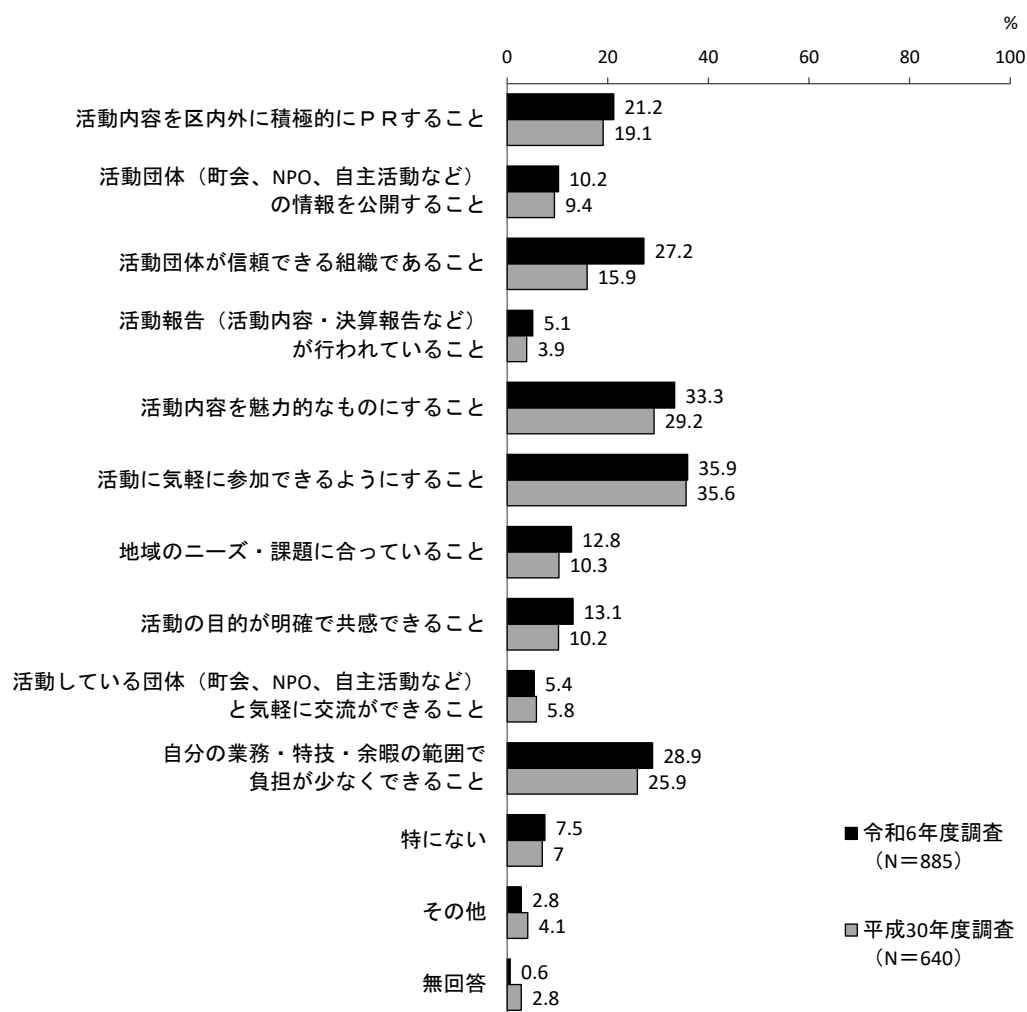
インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で「環境美化活動（清掃・リサイクルなど）」「防災活動」「区民への文化事業の提供（劇、音楽、芸、朗読など）」「祭りなどの文化行事・イベント」の割合が高くなっています。



問 37 地域活動に多くの人が参加するには何が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

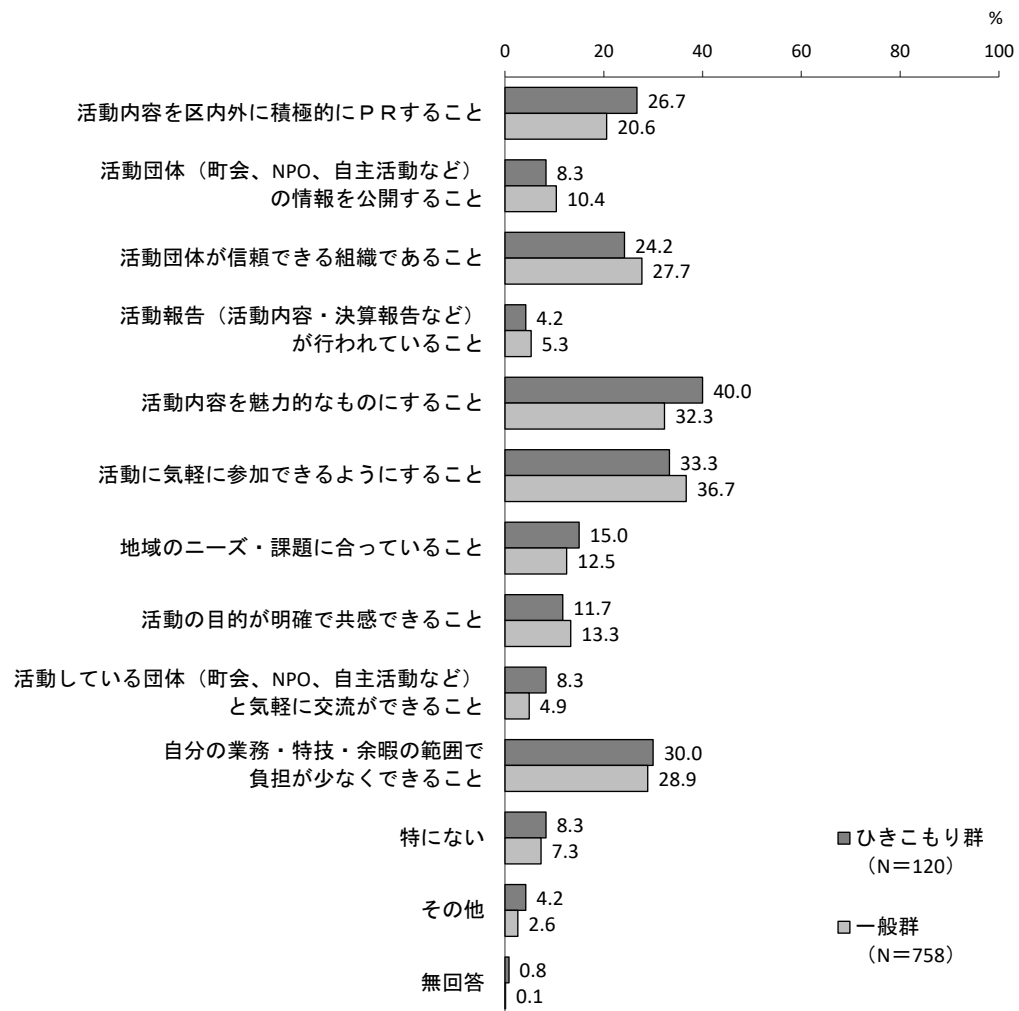
「活動に気軽に参加できるようにすること」の割合が35.9%と最も高く、次いで「活動内容を魅力的なものにすること」の割合が33.3%、「自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること」の割合が28.9%となっています。

平成30年度調査と比較すると、傾向に大きな変化は見られませんが、「活動団体が信頼できる組織であること」の割合が増加しています。



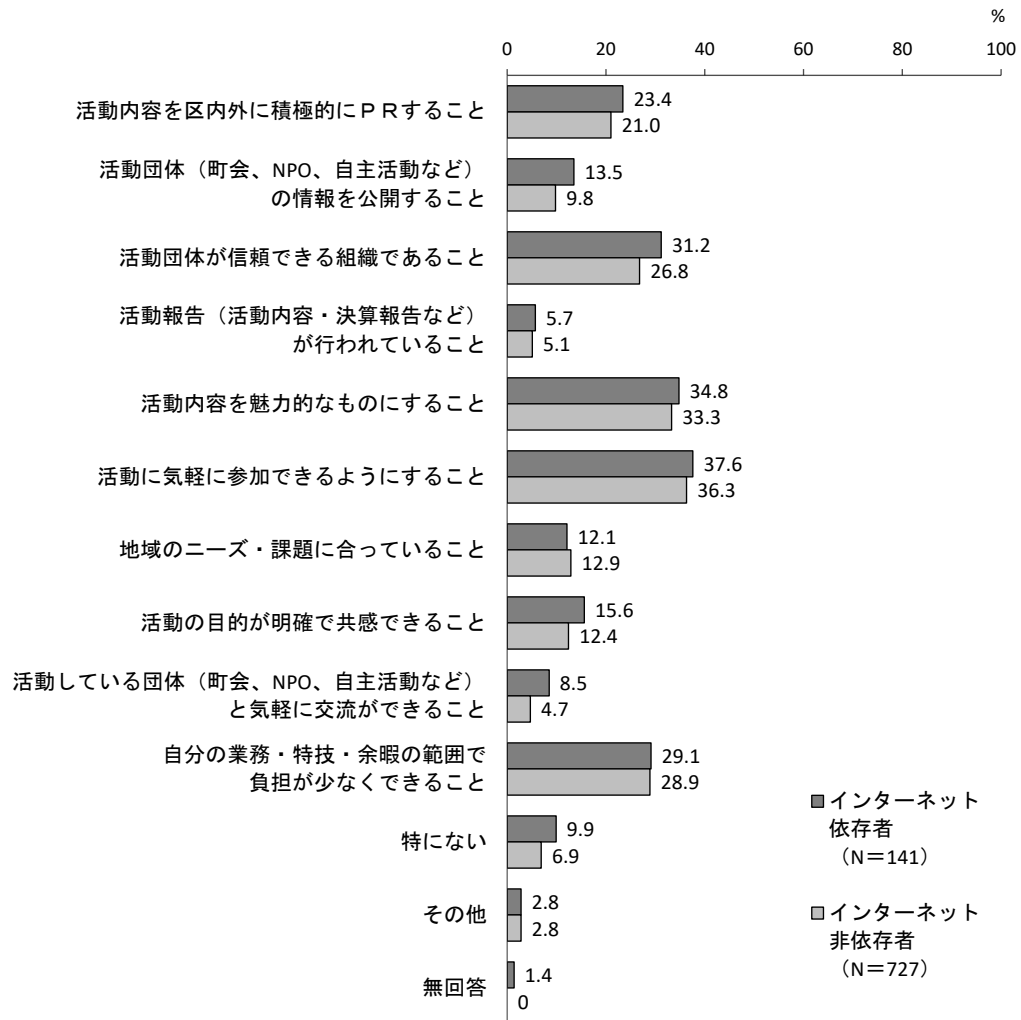
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「活動団内容と区内外に積極的にPRすること」「活動内容を魅力的なものにすること」の割合が高くなっています。



【インターネット依存別】

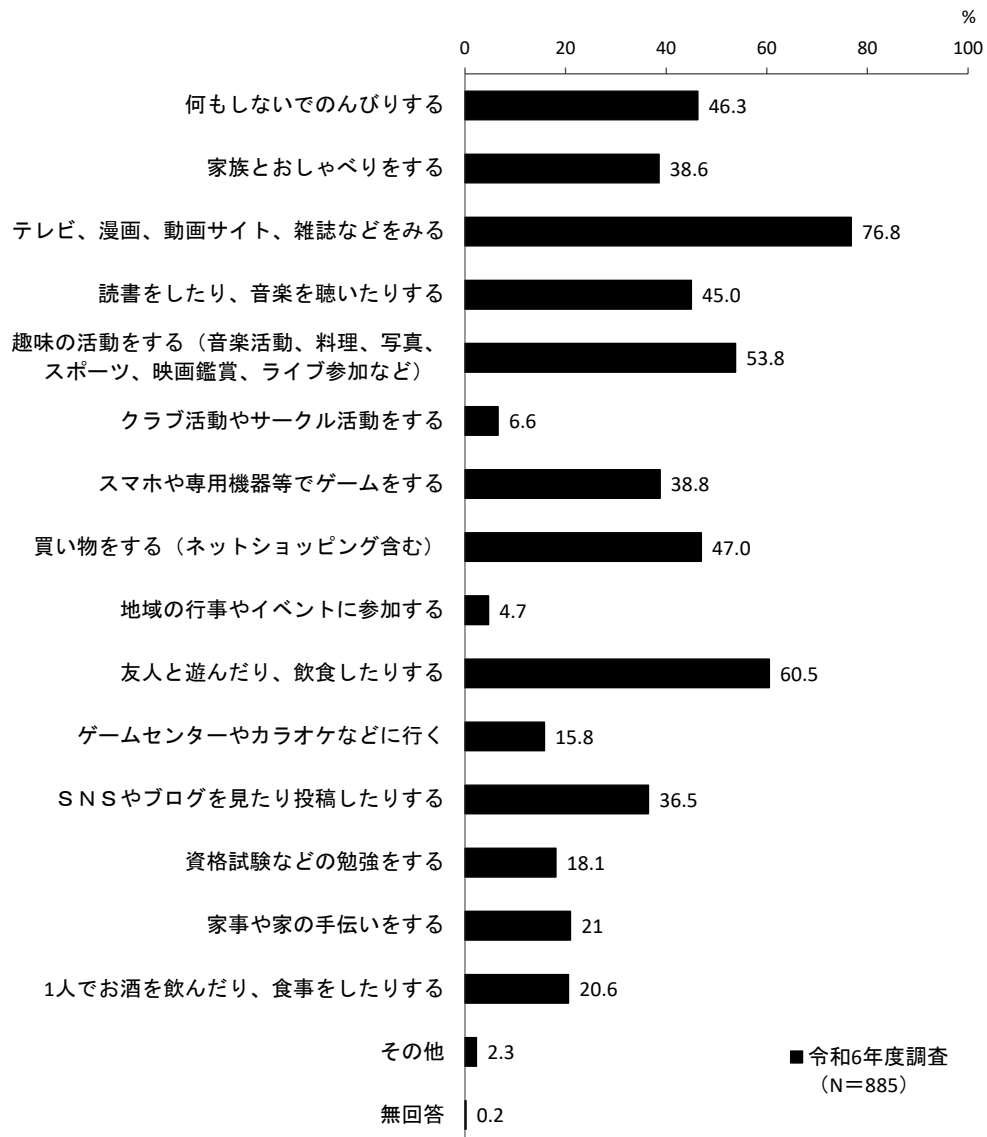
インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、全体的にインターネット依存者で割合が高くなっています。



7 自由な時間の過ごし方や居場所について

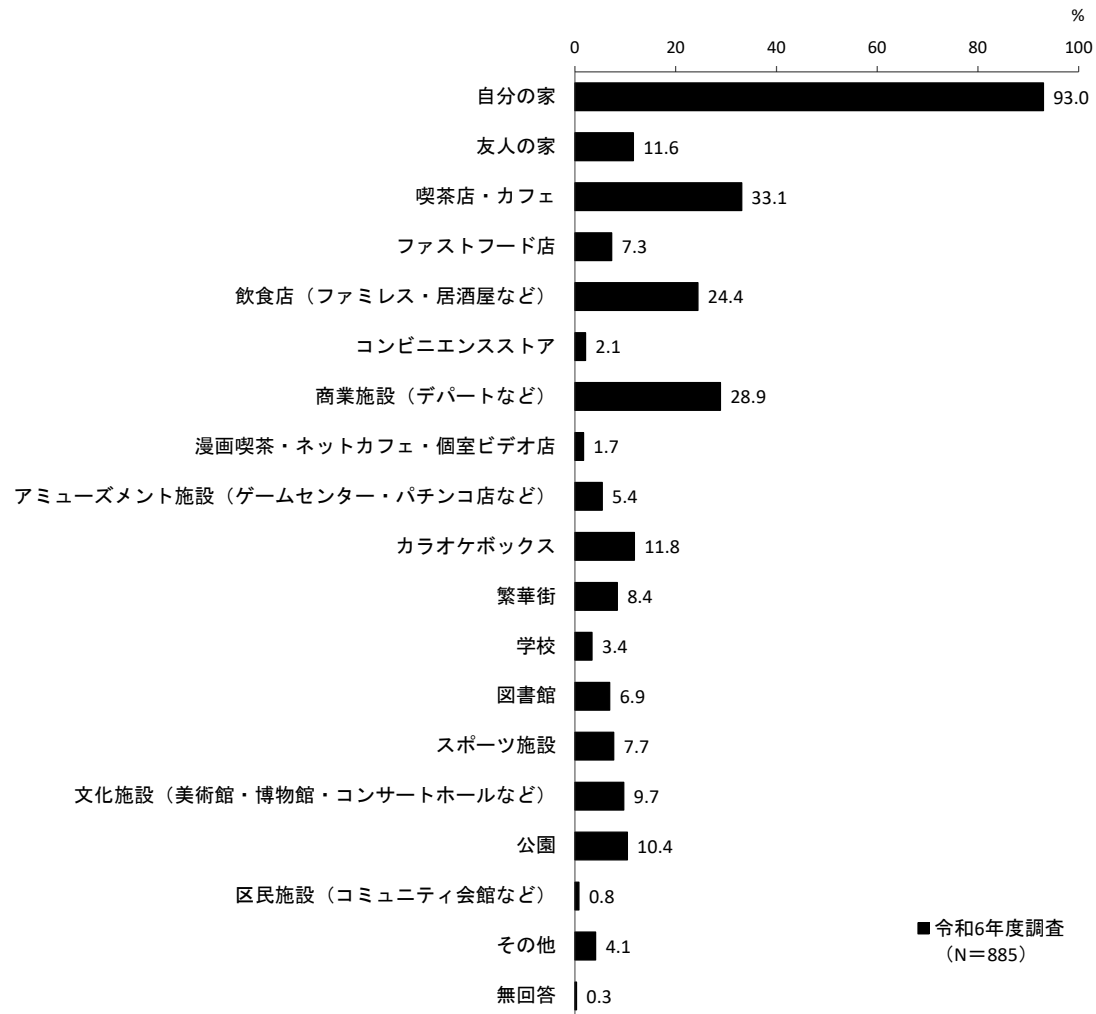
問 38 仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。
(〇はいくつでも)

「テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる」の割合が 76.8%と最も高く、次いで「友人と遊んだり、飲食したりする」の割合が 60.5%、「趣味の活動をする（音楽活動、料理、写真、スポーツ、映画鑑賞、ライブ参加など）」の割合が 53.8%となっています。



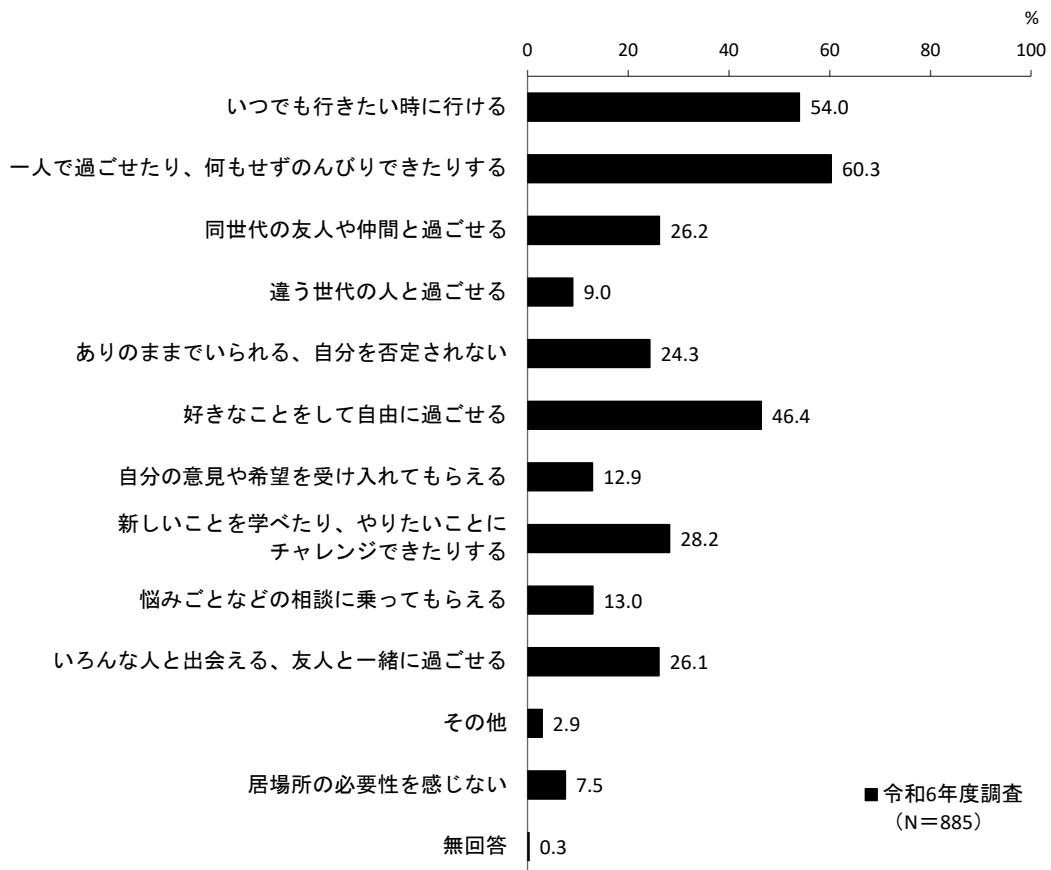
問 39 仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間を過ごす場合、どのような場所で過ごすことが多いですか。(〇はいくつでも)

「自分の家」の割合が93.0%と最も高く、次いで「喫茶店・カフェ」の割合が33.1%、「商業施設（デパートなど）」の割合が28.9%、「飲食店（ファミレス・居酒屋など）」の割合が24.4%となっています。



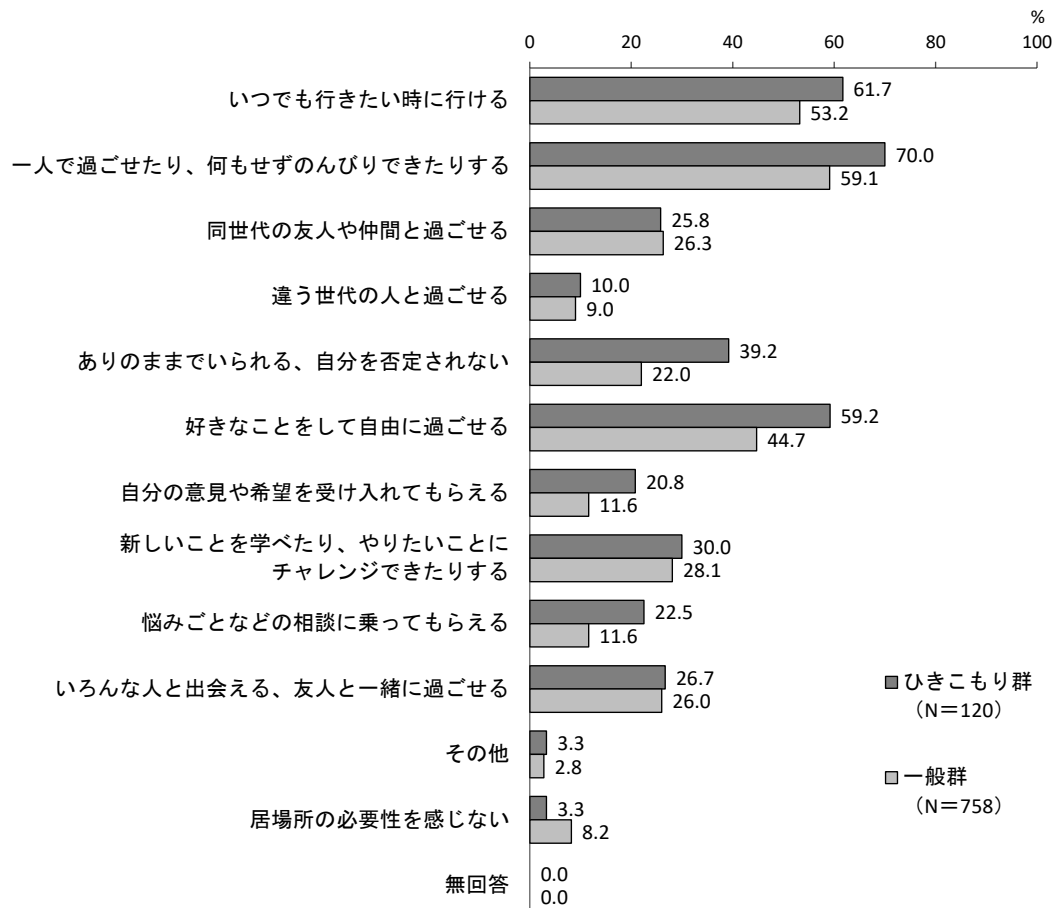
問 40 仕事や学校、家庭などのほかに、どのような居場所があればよいと思いますか。
(〇はいくつでも)

「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできたりする」の割合が60.3%と最も高く、次いで「いつでも行きたい時に行ける」の割合が54.0%、「好きなことをして自由に過ごせる」の割合が46.4%となっています。



【ひきこもり群別】

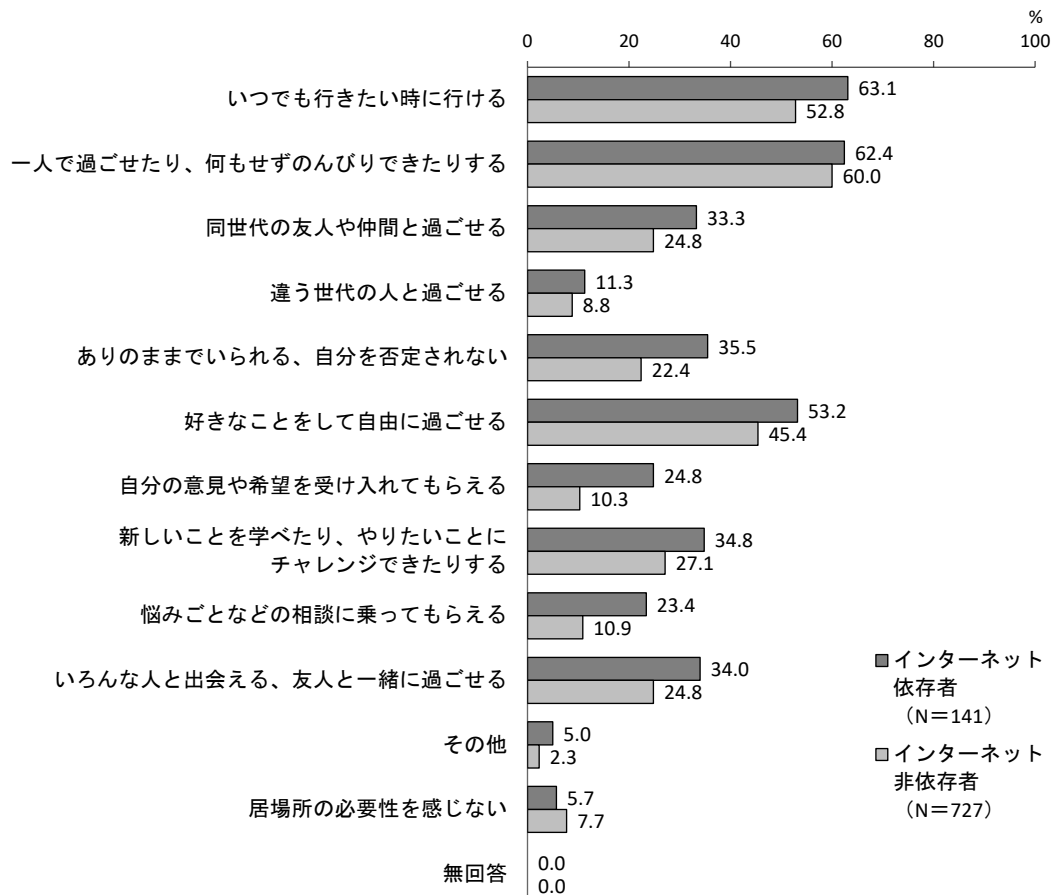
ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「いつでも行きたいときに行ける」「一人で過ごせたり、何もせずのんびりできたりする」「ありのままでいられる、自分を否定されない」「好きなことをして自由に過ごせる」の割合が高くなっています。



【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、全体的にインターネット依存者で割合が高くなっています。

特に、「いつでも行きたいときに行ける」「ありのままでいられる、自分を否定されない」「自分の意見や希望を受け入れてもらえる」「悩みごとなどの相談に乗ってもらえる」の割合は非依存者より高くなっています。



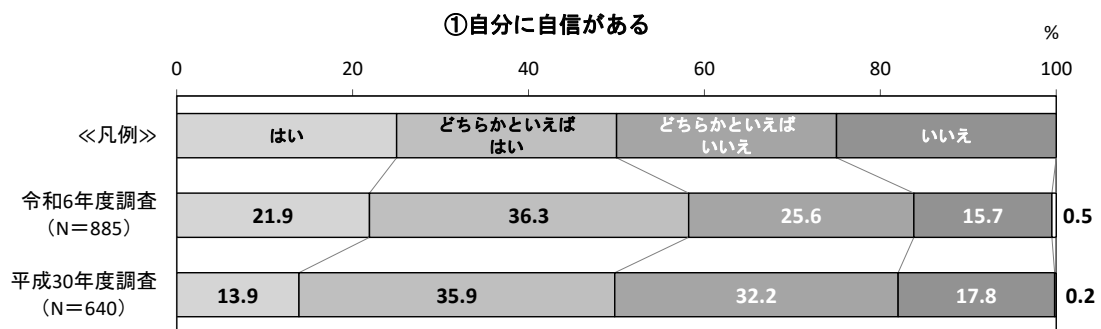
8 あなた自身のことについて

問 41 次にあげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。
(○は各項目につき1つ)

①自分に自信がある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 58.2%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 41.3%となっています。

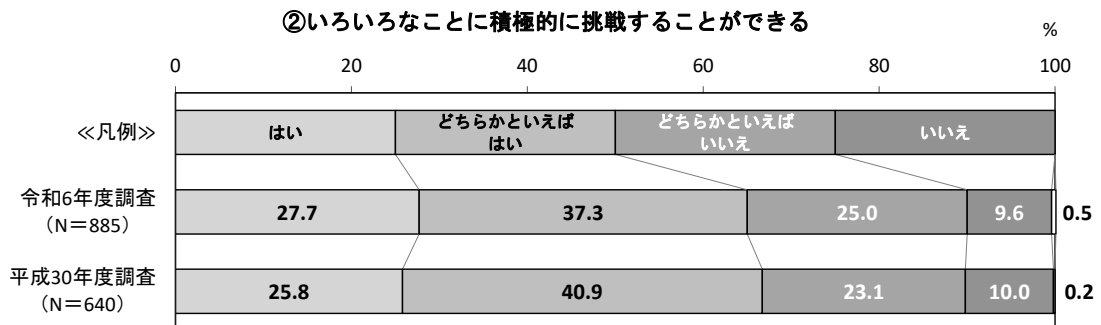
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



②いろいろなことに積極的に挑戦することができる

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 65.0%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 34.6%となっています。

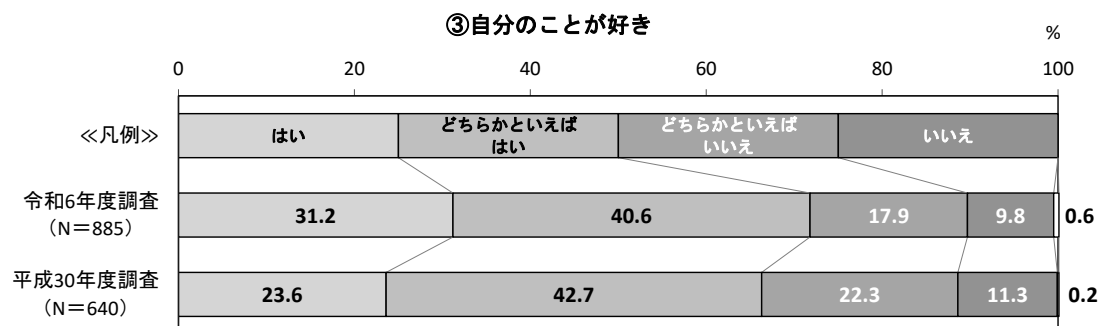
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや減少しています。



③自分のことが好き

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 71.8%、「どちらかといえはいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 27.7%となっています。

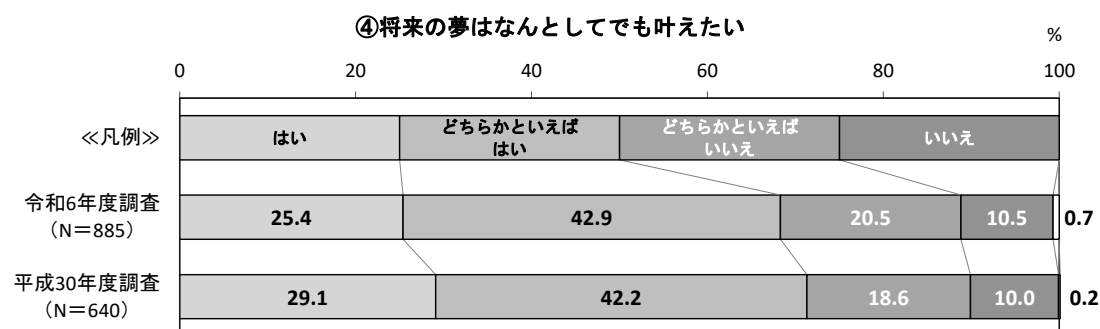
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



④将来の夢はなんとしても叶えたい

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 68.3%、「どちらかといえはいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 31.0%となっています。

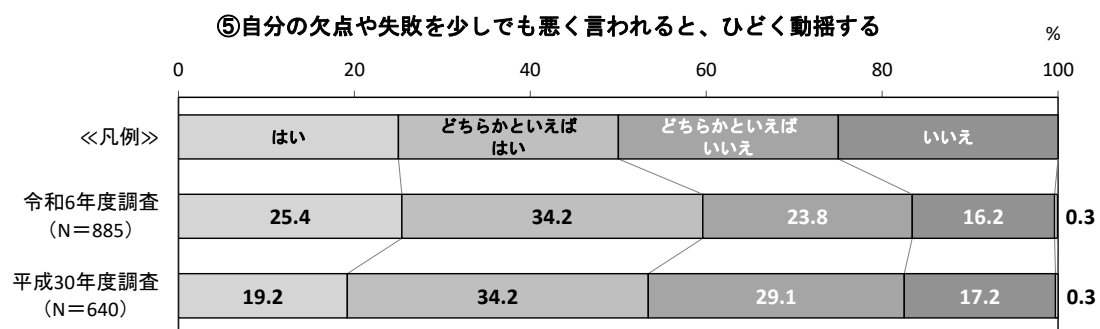
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや減少しています。



⑤自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 59.6%、「どちらかといえはいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 40.0%となっています。

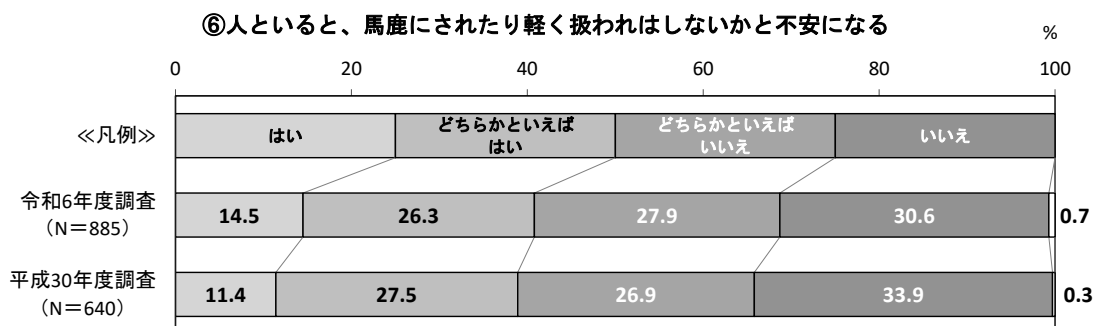
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑥人という、馬鹿にされたり軽く扱われはしないかと不安になる

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が40.8%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が58.5%となっています。

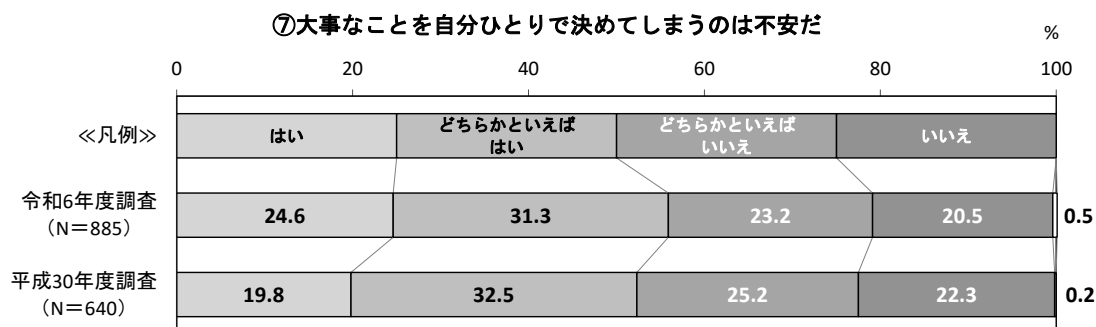
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



⑦大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が55.9%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が43.7%となっています。

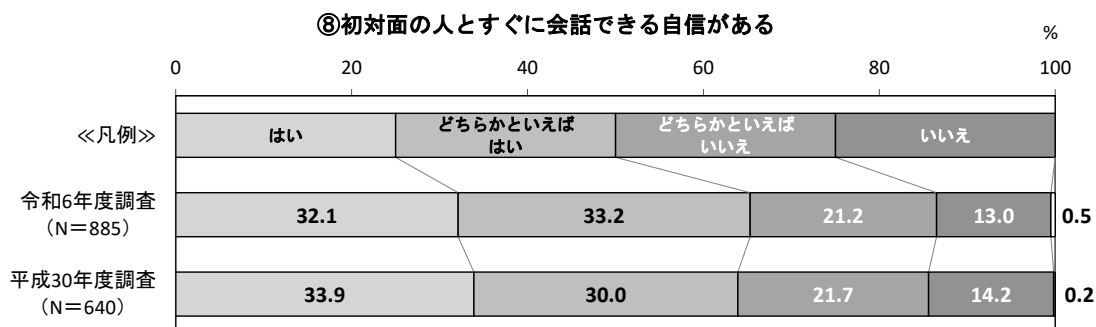
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑧初対面の人とすぐに会話できる自信がある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が65.3%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が34.2%となっています。

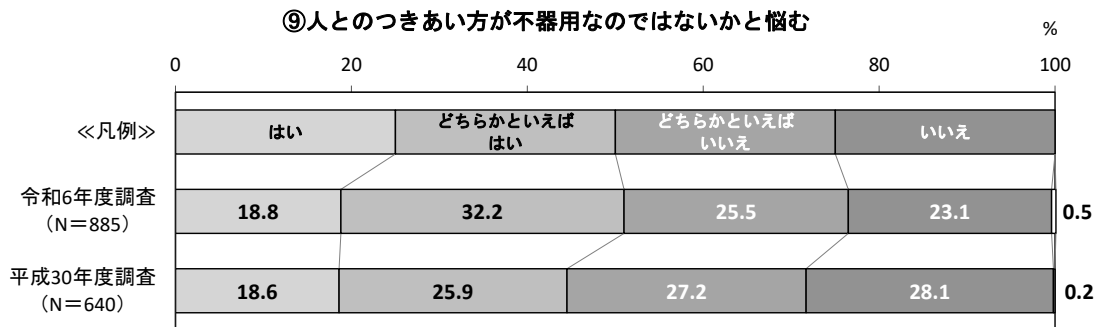
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



⑨ 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 51.0%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 48.6%となっています。

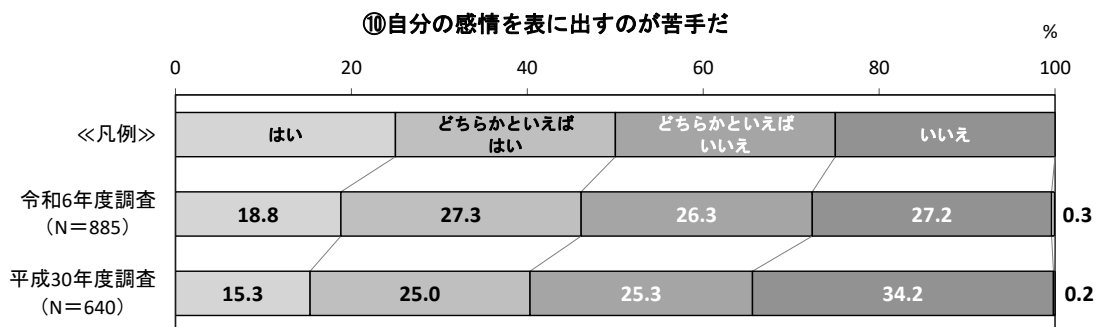
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑩ 自分の感情を表に出すのが苦手だ

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 46.1%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 53.5%となっています。

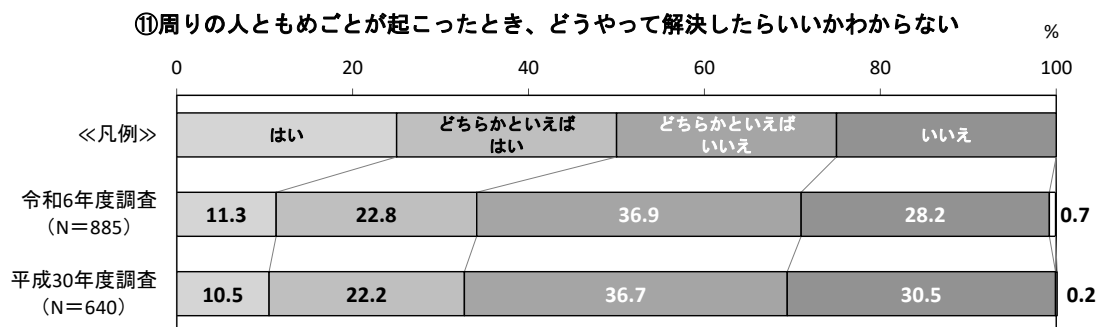
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑪ 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいいかわからない

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 34.1%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 65.1%となっています。

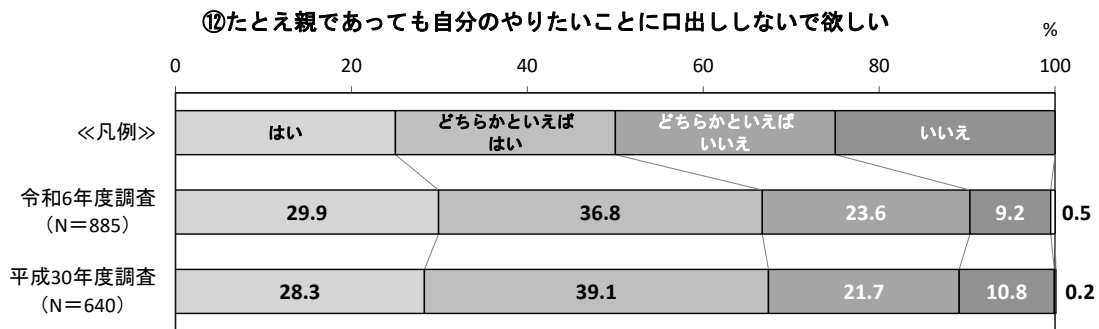
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑫ たとえ親であっても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 66.7%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 32.8%となっています。

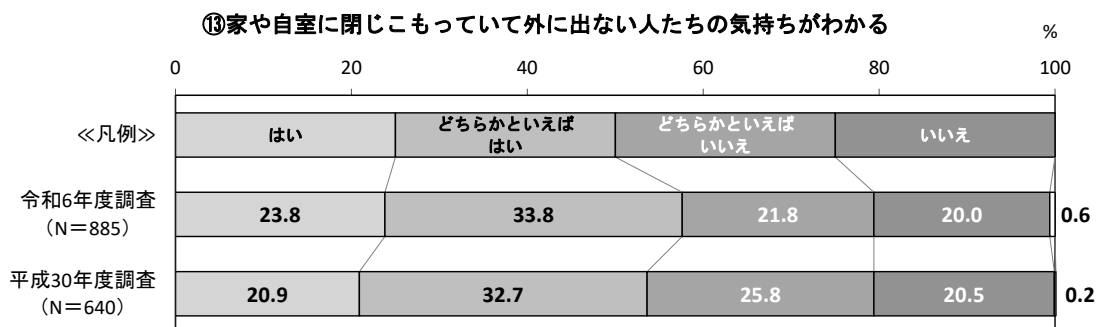
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑬ 家や自室に閉じこもっていて外に出ない人たちの気持ちがわかる

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 57.6%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 41.8%となっています。

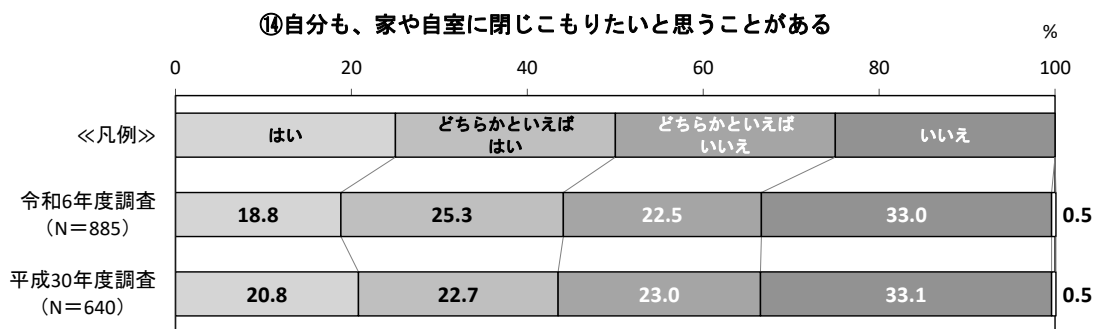
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑭ 自分も、家や自室に閉じこもりたいと思うことがある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 44.1%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 55.5%となっています。

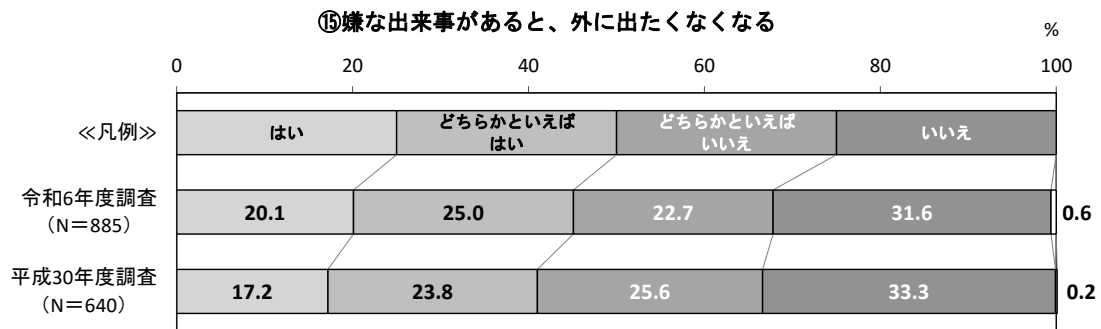
平成 30 年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑮ 嫌な出来事があると、外に出たくなくなる

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が45.1%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が54.3%となっています。

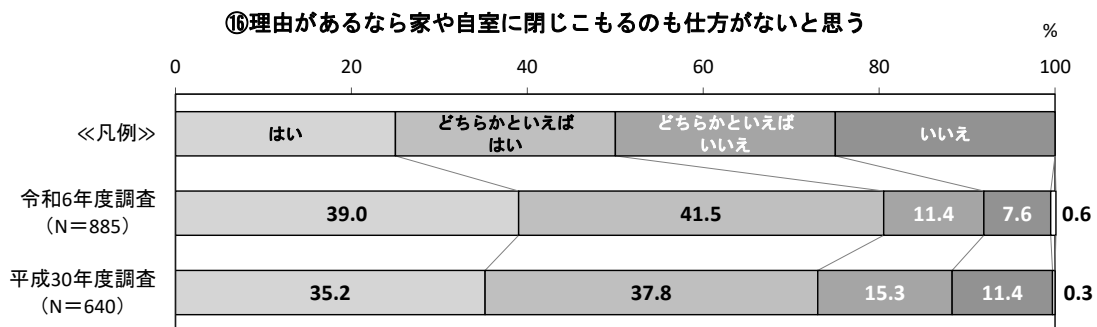
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



⑯ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が80.5%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が19.0%となっています。

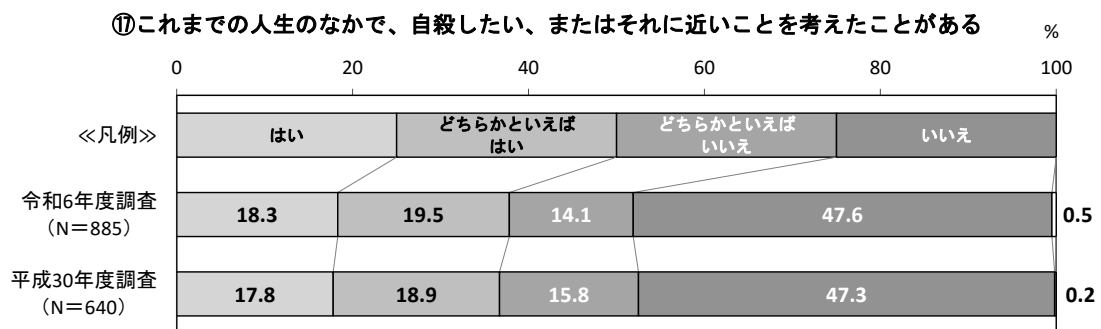
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



⑰ これまでの人生のなかで、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が37.8%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が61.7%となっています。

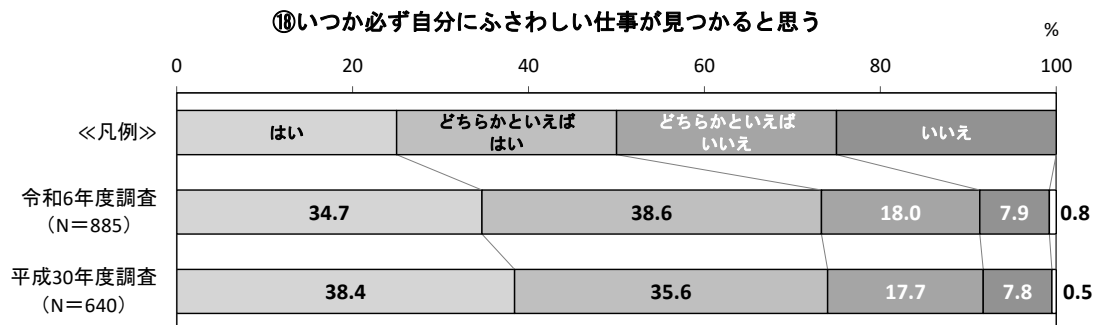
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑱ いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が73.3%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が25.9%となっています。

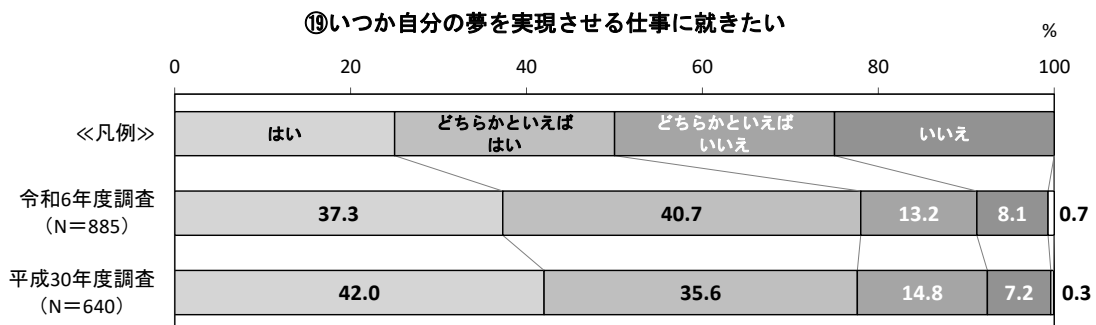
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑲ いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が78.0%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が21.3%となっています。

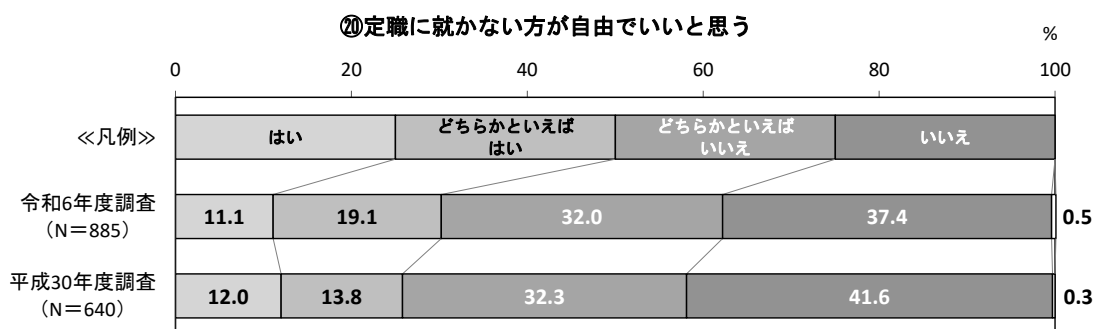
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



⑳ 定職に就かない方が自由でいいと思う

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が30.2%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が69.4%となっています。

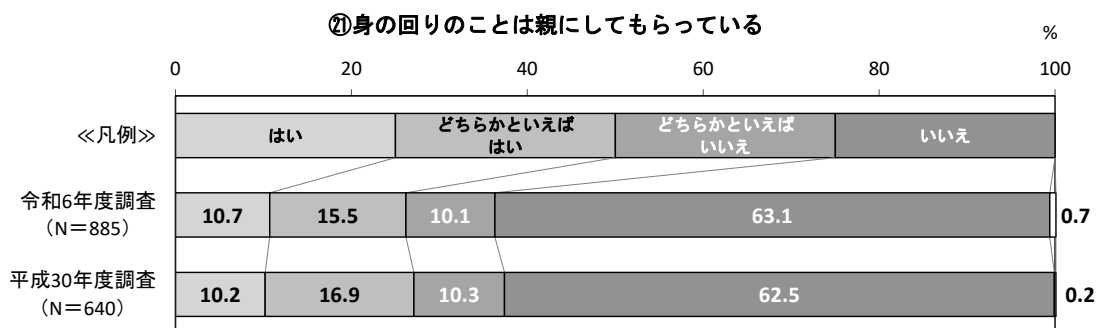
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



②① 身の回りのことは親にしてもらっている

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が26.2%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が73.2%となっています。

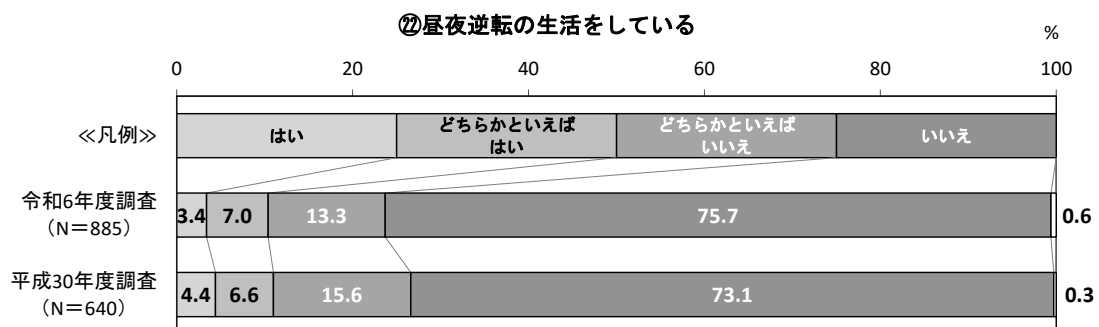
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



②② 昼夜逆転の生活をしている

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が10.4%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が89.0%となっています。

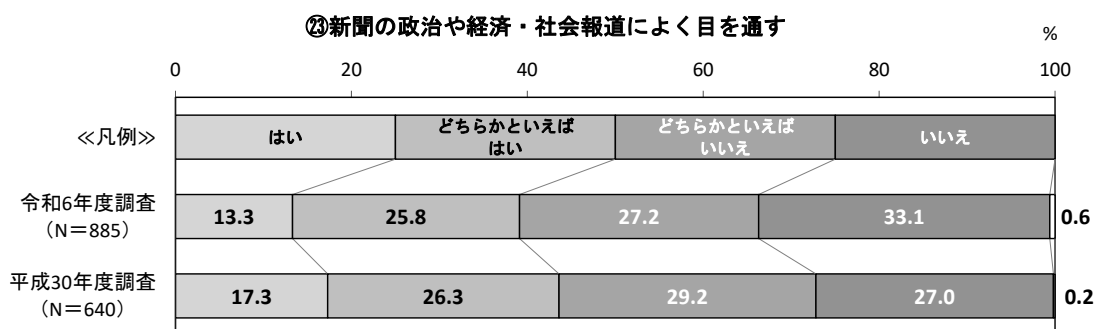
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



②③ 新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が39.1%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が60.3%となっています。

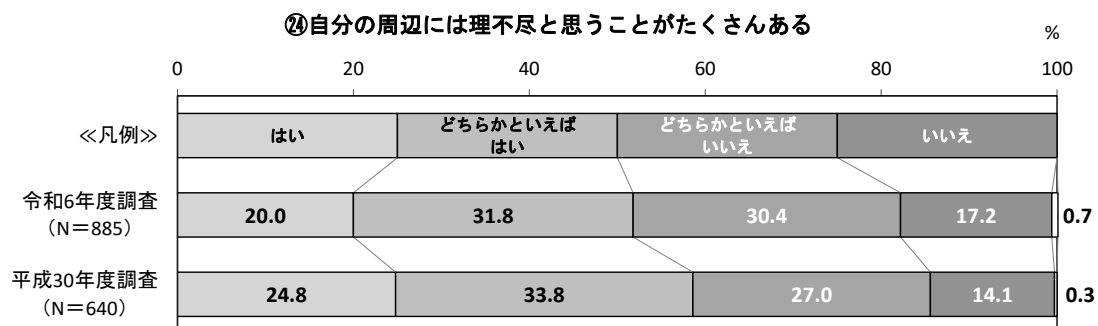
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや減少しています。



②④ 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 51.8%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 47.6%となっています。

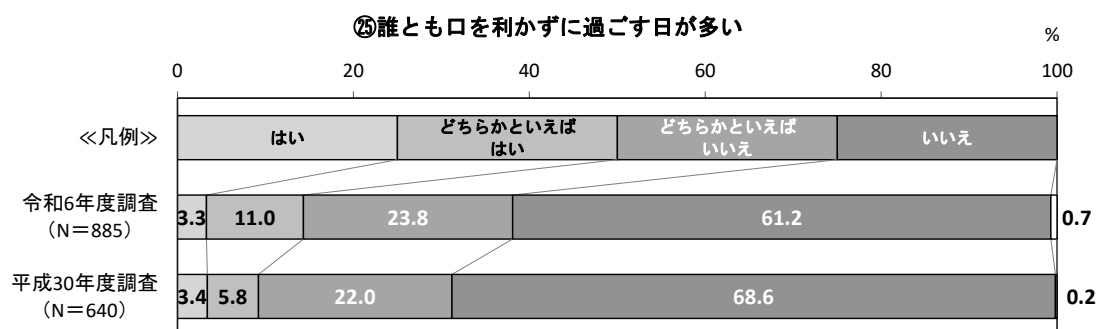
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が減少しています。



②⑤ 誰とも口を利かずに過ごす日が多い

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 14.3%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 85.0%となっています。

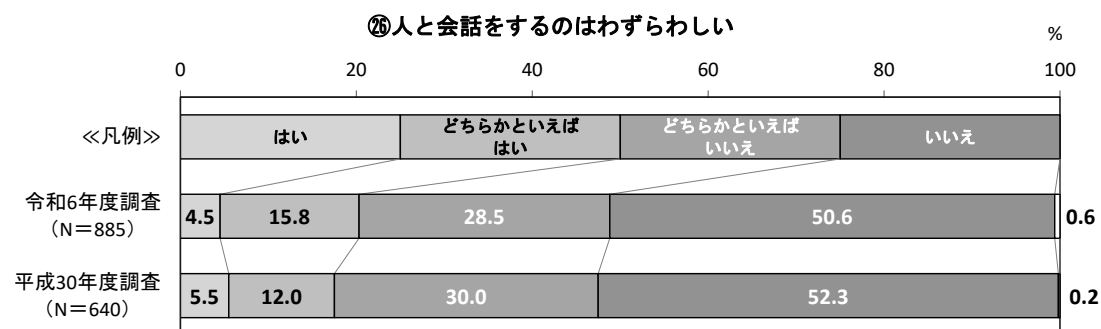
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合が増加しています。



②⑥ 人と会話をするのはわずらわしい

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が 20.3%、「どちらかといえばいいえ」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が 79.1%となっています。

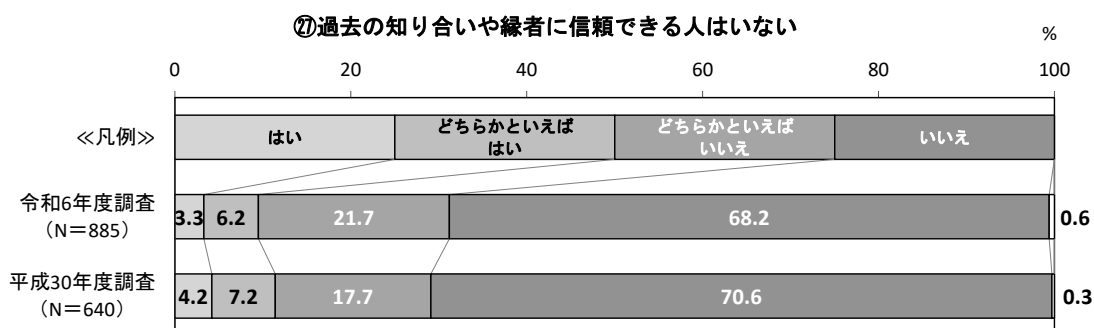
平成 30 年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



②⑦ 過去の知り合いや縁者に信頼できる人はいない

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が9.5%、「どちらかといえばいい」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が89.9%となっています。

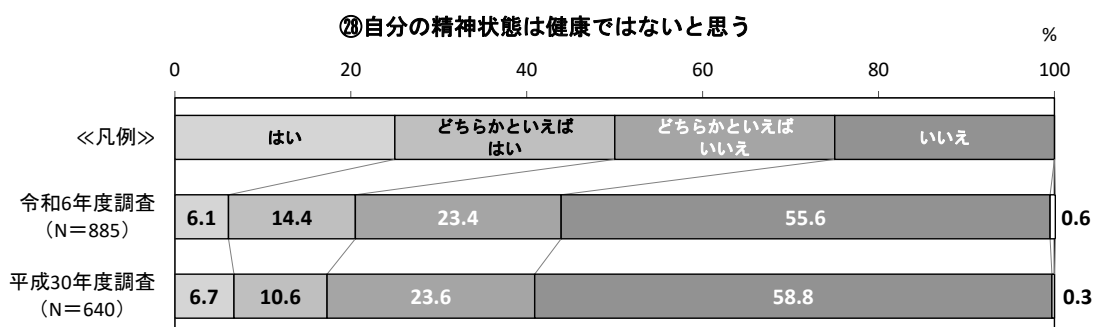
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや減少しています。



②⑧ 自分の精神状態は健康ではないと思う

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が20.5%、「どちらかといえばいい」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が79.0%となっています。

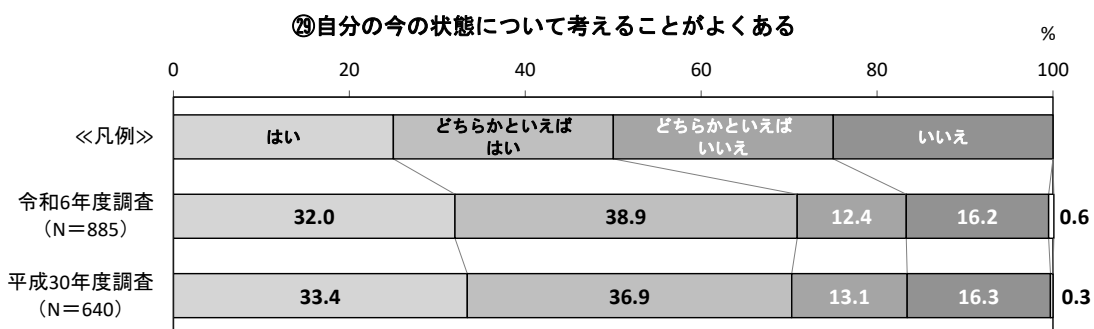
平成30年度調査と比較すると、“はい”の割合がやや増加しています。



②⑨ 自分の今の状態について考えることがよくある

「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合が70.9%、「どちらかといえばいい」と「いいえ」を合わせた“いいえ”の割合が28.6%となっています。

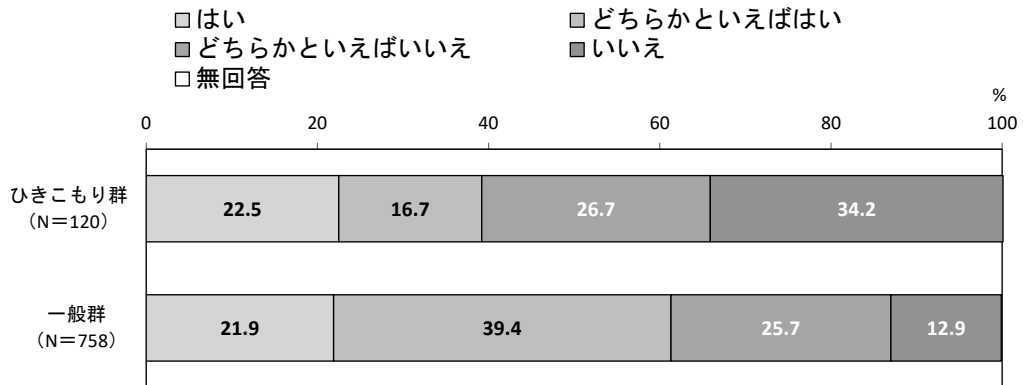
平成30年度調査と比較すると、大きな変化は見られません。



①自分に自信がある〔クロス集計〕

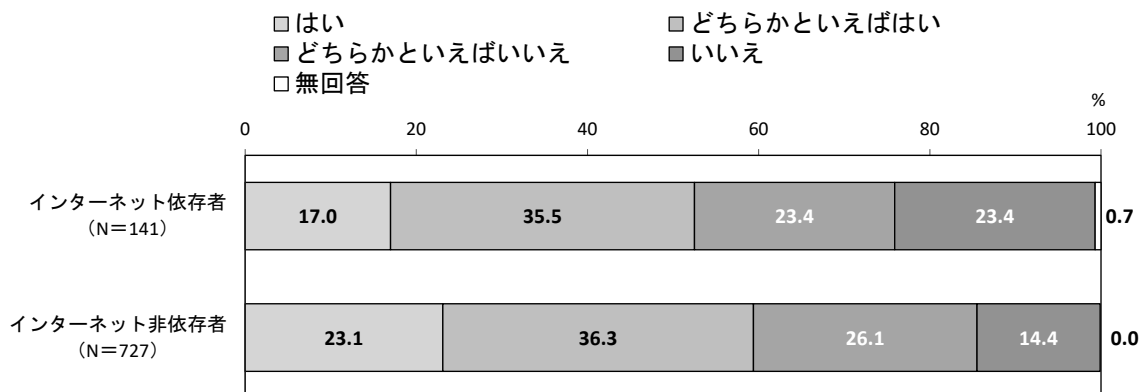
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で“いいえ”の割合が高くなっています。



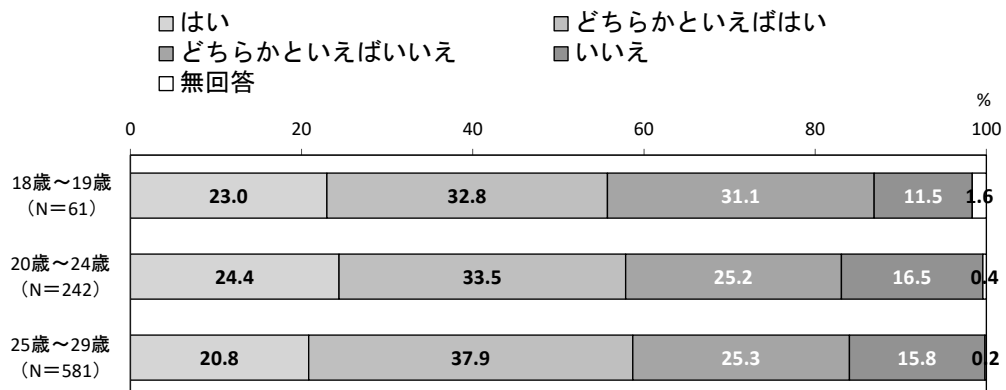
【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で“いいえ”の割合が高くなっています。



【年代別】

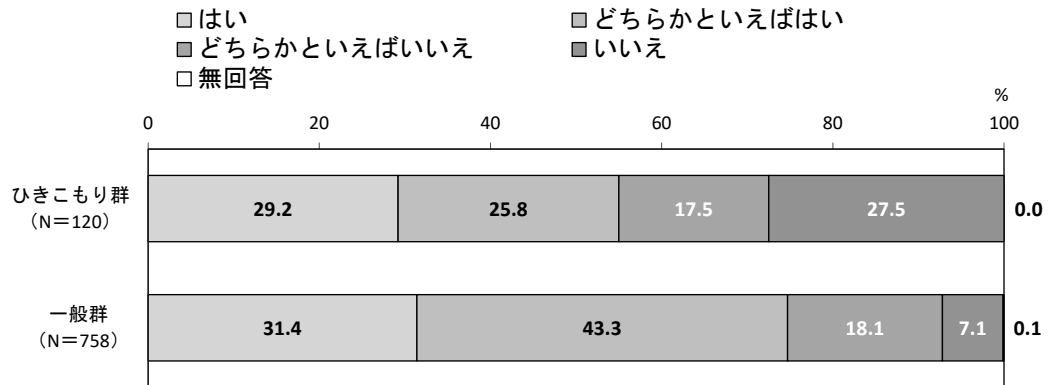
年代別でみると、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合は、いずれの年代も 50%を超えており、年代が上がるほど高くなっています。



③自分のことが好き〔クロス集計〕

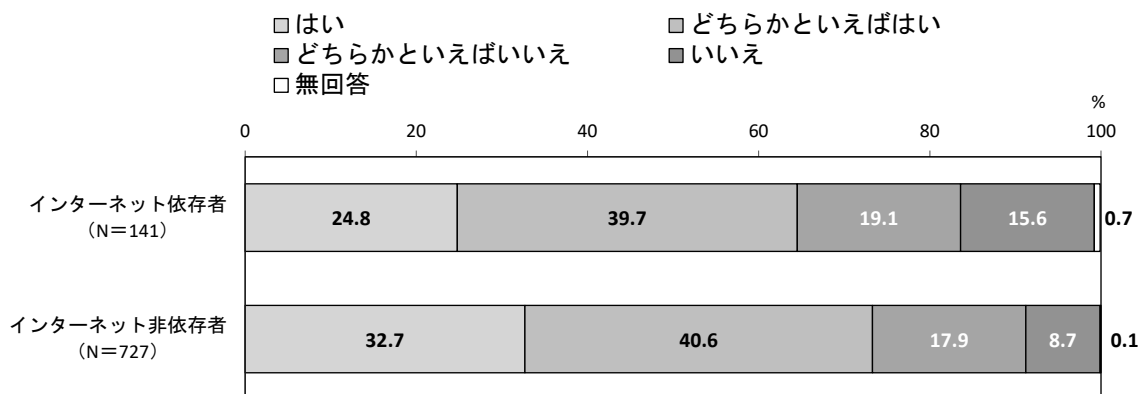
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で“いいえ”の割合が高くなっています。



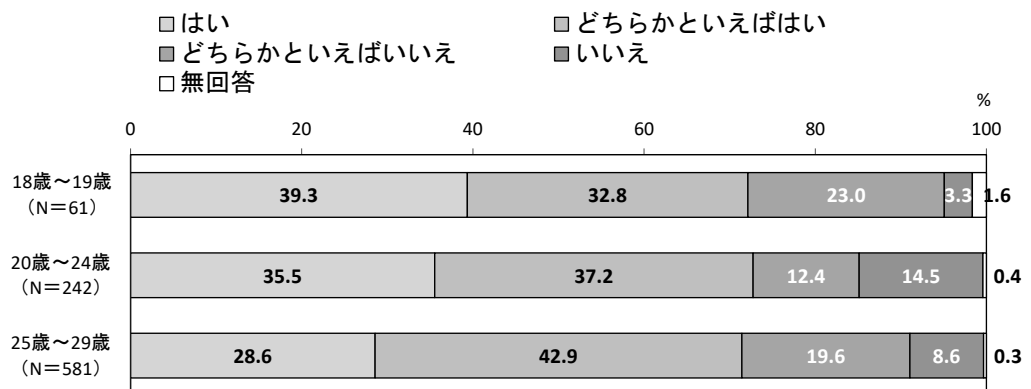
【インターネット依存別】

インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で“いいえ”の割合が高くなっています。



【年代別】

年代別でみると、「はい」と「どちらかといえばはい」を合わせた“はい”の割合は、いずれの年代も70%を超えています。

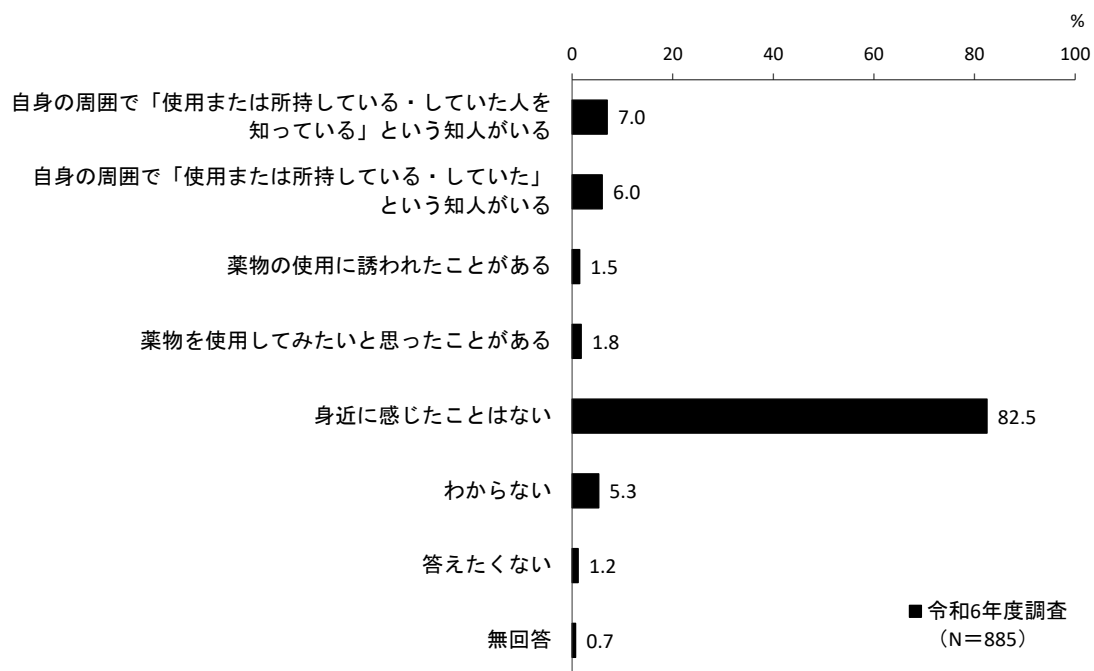


9 犯罪や非行について

問 42 薬物について、身近に感じた経験はありますか。(〇はいくつでも)

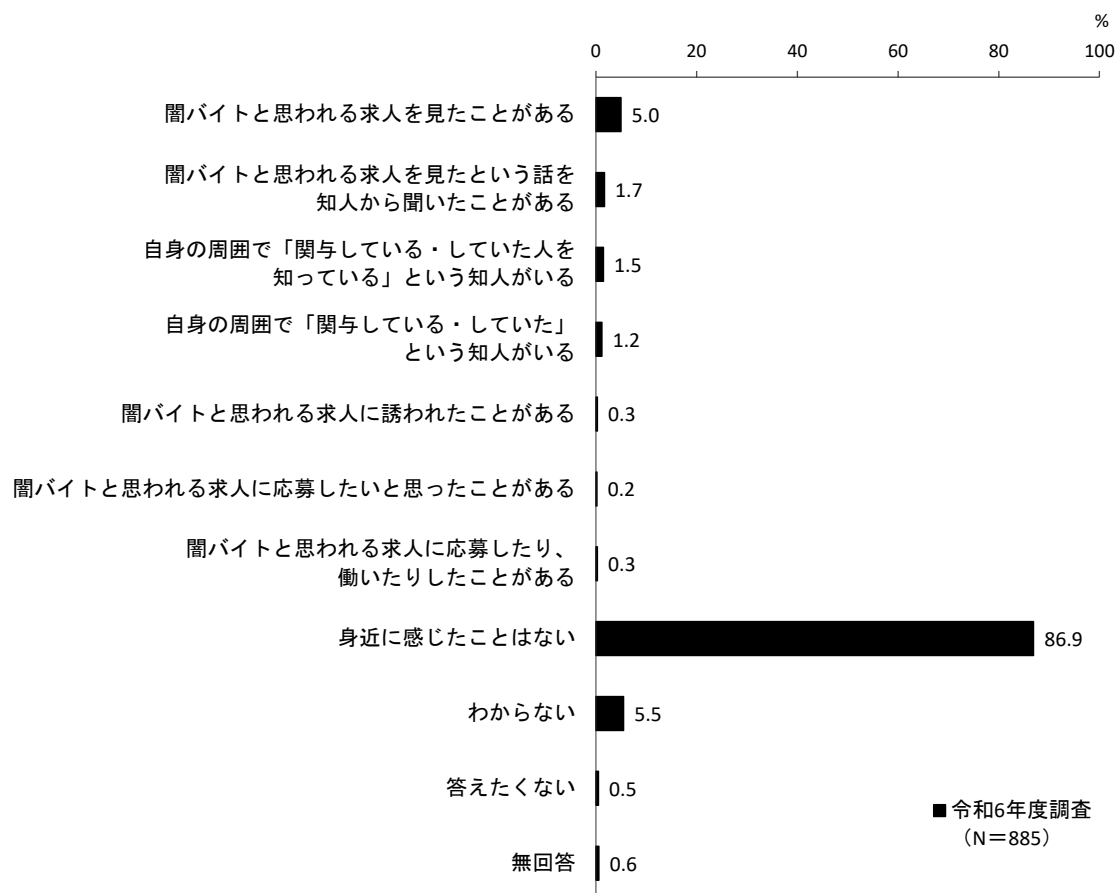
※ここで言う「薬物」は、合法、違法を問わず、身体に悪影響を及ぼす使用方法、あるいは薬物そのもののことを指します。また、大麻も含みます。

「身近に感じたことはない」の割合が82.5%と最も高くなっています。



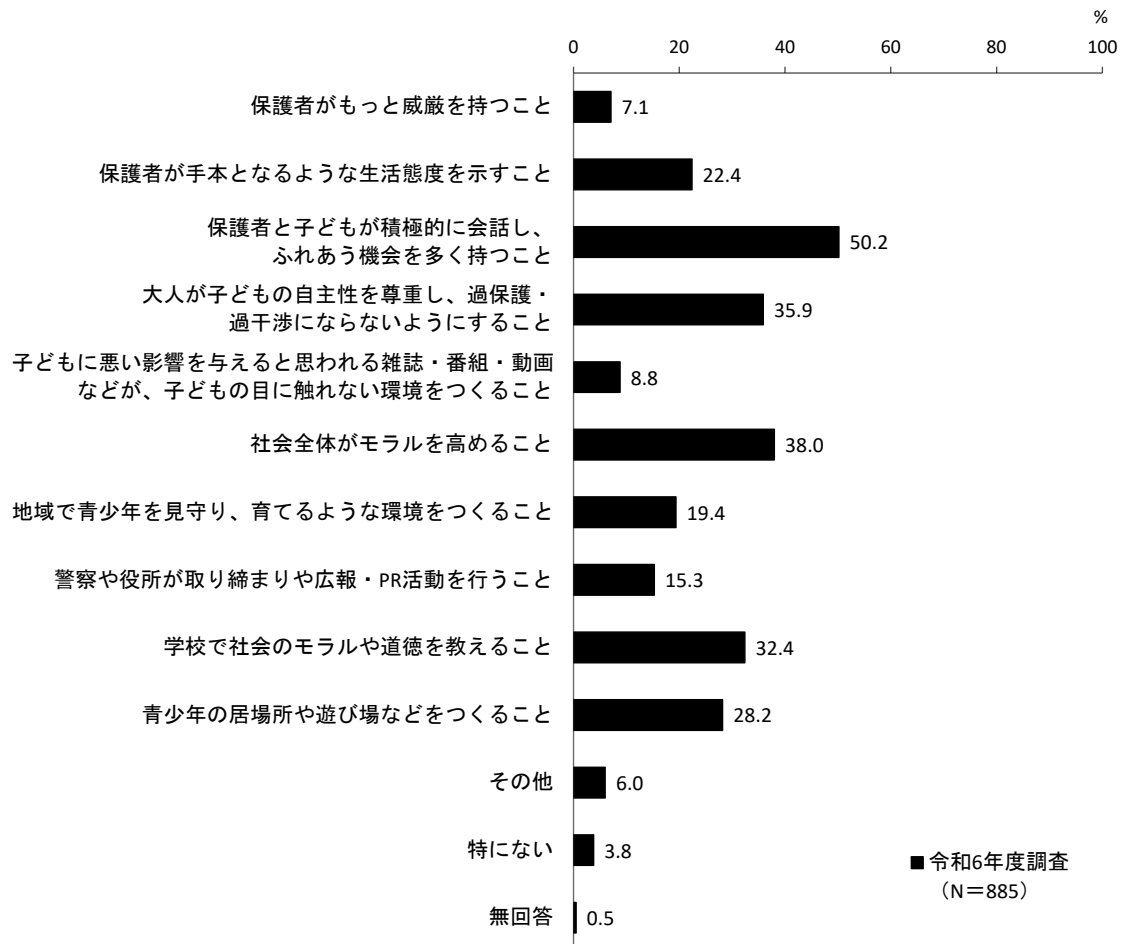
問 43 闇バイトについて、身近に感じた経験はありますか。(〇はいくつでも)

「身近に感じたことはない」の割合が86.9%と最も高くなっています。



問 44 子どもや若者が犯罪や非行に巻き込まれないようにするために、特に何が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

「保護者と子どもが積極的に会話し、ふれあう機会を多く持つこと」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「社会全体がモラルを高めること」の割合が 38.0%、「大人が子どもの自主性を尊重し、過保護・過干渉にならないようにすること」の割合が 35.9%となっています。



※「その他」の意見としては、以下の意見が挙げられています。

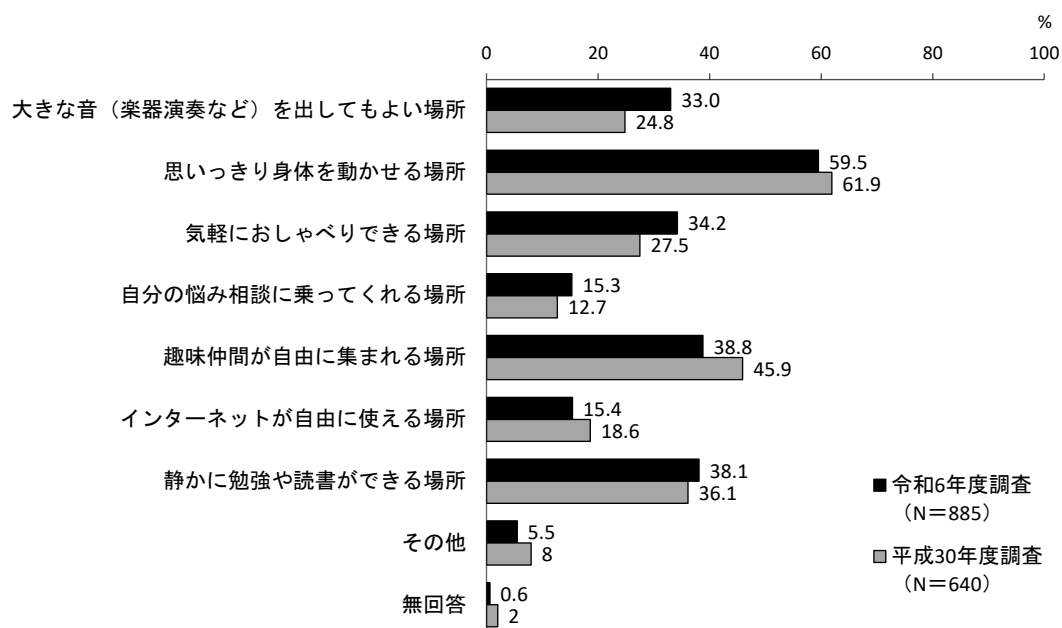
- まちの景観やデザイン、治安向上
- SNS の規則等の見直し、SNS での適切な発信
- 若者及び保護者(大人)への教育、理解向上
- 経済的支援 (母子家庭や貧困世帯への支援、若者の給与アップ)
- 法の見直し、刑罰の厳罰化 など

10 公共施設や施策について

問 45 若者向けにどんな場所がもっと墨田区にあればよいと思いますか。(〇は3つまで)

「思いっきり身体を動かせる場所」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「趣味仲間が自由に集まれる場所」の割合が 38.8%、「静かに勉強や読書ができる場所」の割合が 38.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「大きな音（楽器演奏など）を出してもよい場所」「気軽におしゃべりできる場所」の割合が増加しています。

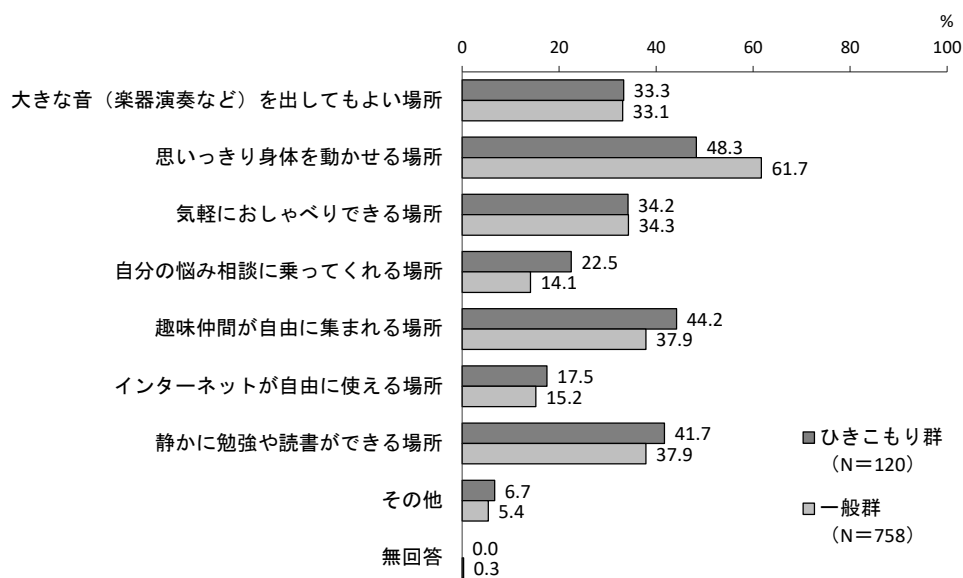


※「その他」の意見としては、以下の意見が挙げられています。

- 大きい公園（身体を動かせる場所）
- ボール遊びができる場所
- カフェ（自由に過ごせる、勉強できる、コミュニティがある）
- 長時間利用できる場所
- 子どもを預けられる場所 など

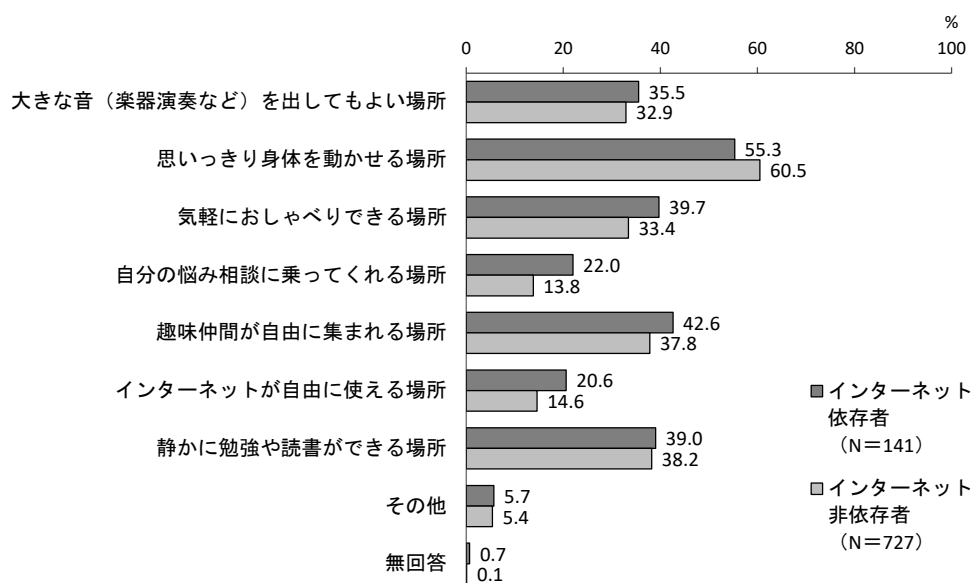
【ひきこもり群別】

ひきこもり群別でみると、一般群に比べ、ひきこもり群で「自分の悩み相談に乗ってくれる場所」「趣味仲間が自由に集まれる場所」「静かに勉強や読書ができる場所」の割合が高くなっています。



【インターネット依存別】

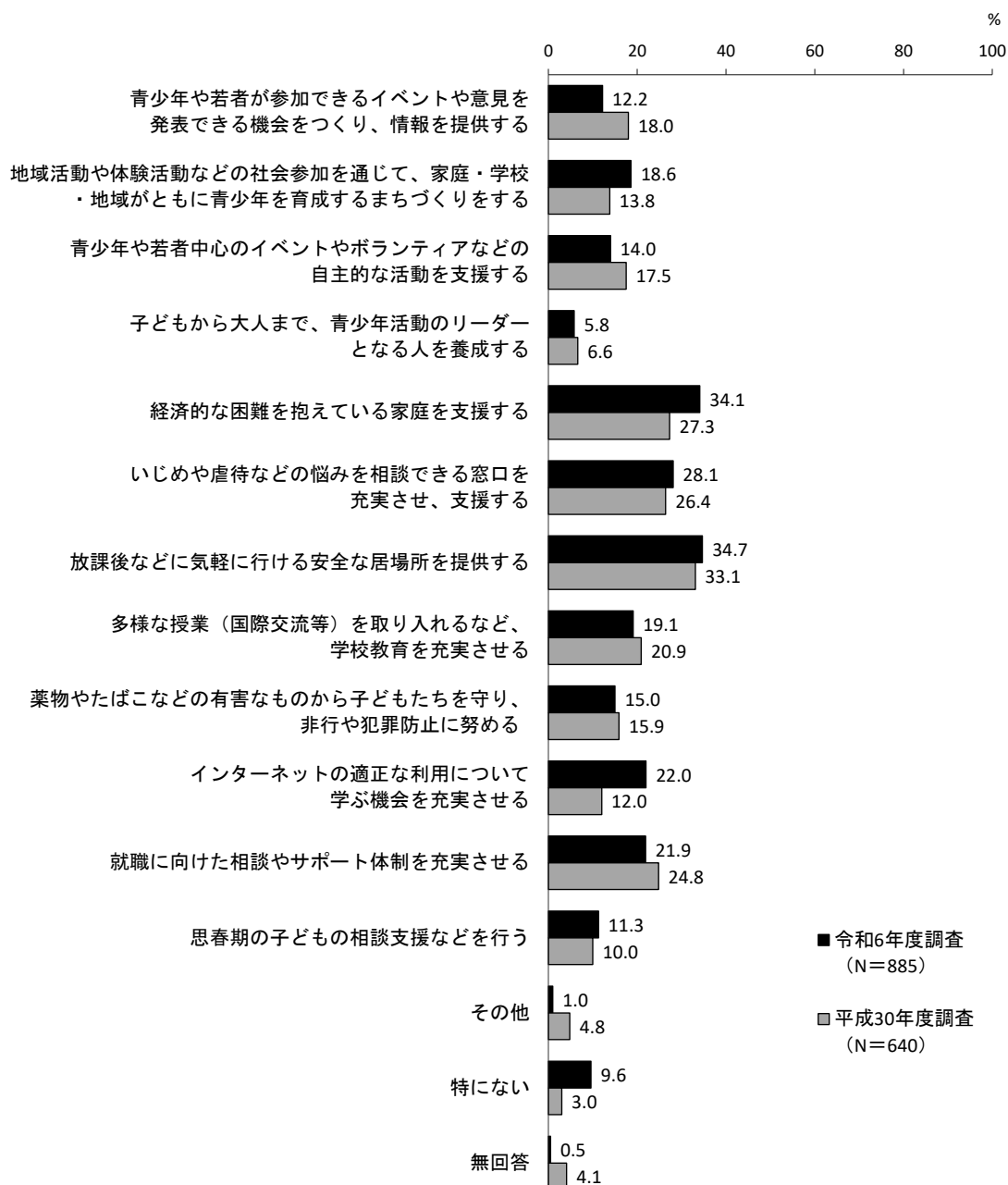
インターネット依存別でみると、インターネット非依存者に比べ、インターネット依存者で「気軽におしゃべりできる場所」「自分の悩み相談に乗ってくれる場所」「趣味仲間が自由に集まれる場所」「インターネットが自由に使える場所」の割合が高くなっています。



問 46 墨田区が取り組む青少年や若者の施策にどんなことを望みますか。(〇は3つまで)

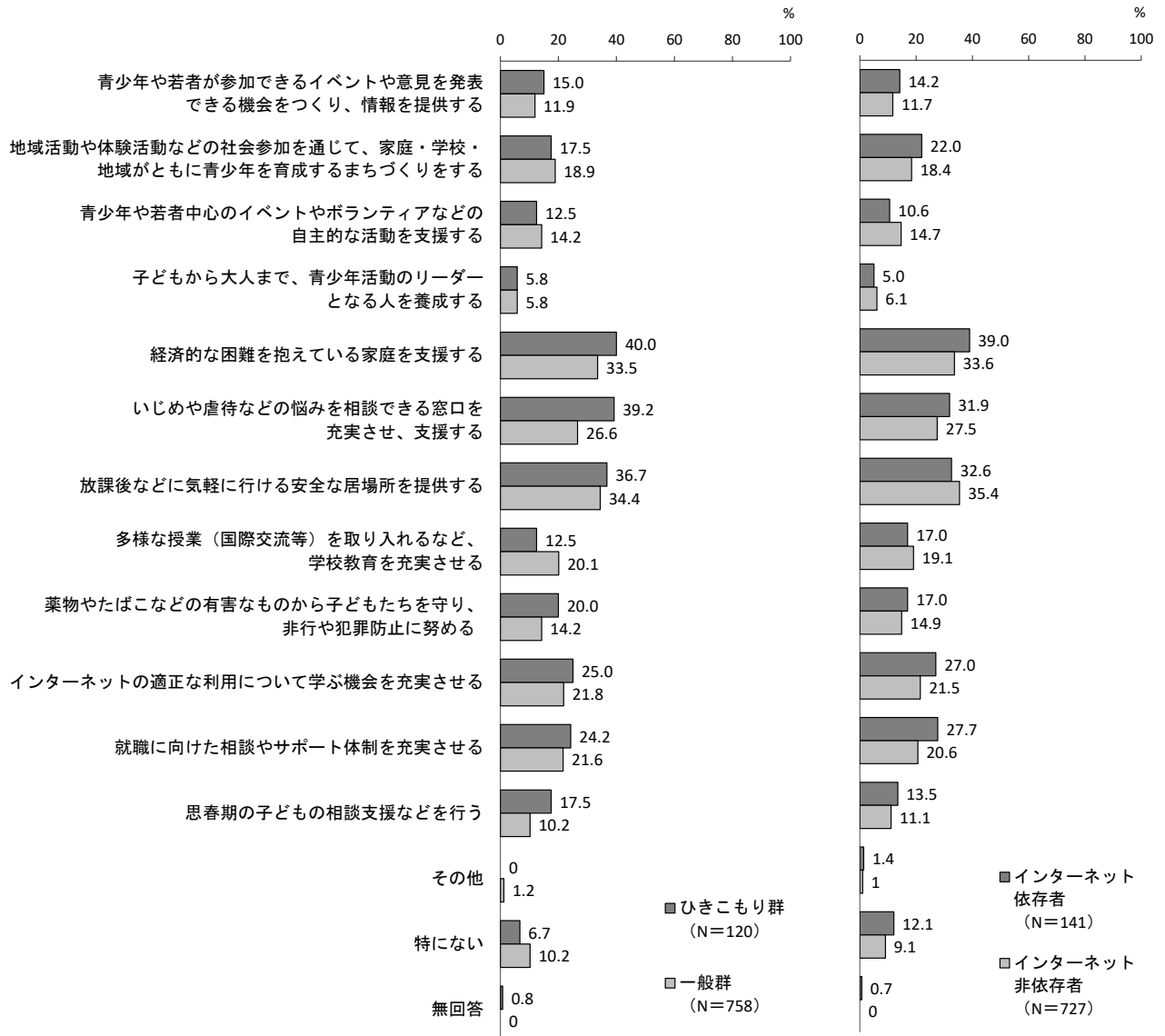
「放課後などに気軽に行ける安全な居場所を提供する」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」の割合が 34.1%、「いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する」の割合が 28.1%となっています。

平成 30 年度調査と比較すると、「経済的な困難を抱えている家庭を支援する」「インターネットの適正な利用について学ぶ機会を充実させる」の割合が他と比べて増加しています。



【ひきこもり群別】

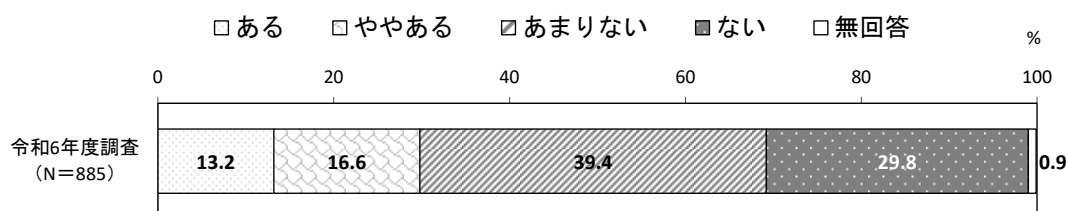
【インターネット依存別】



11 若者の意見反映について

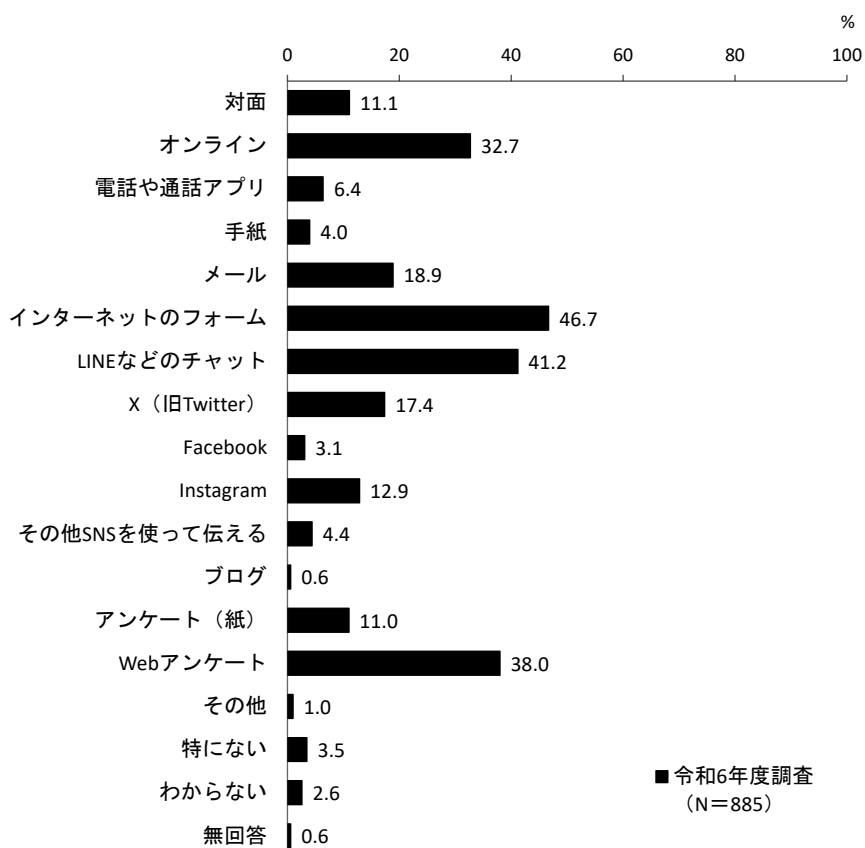
問 47 国や墨田区では、まちづくり等を行うにあたって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。墨田区に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことはありますか。
(○は1つだけ)

「あまりない」と「ない」を合わせた“ない”の割合が69.2%となっています。

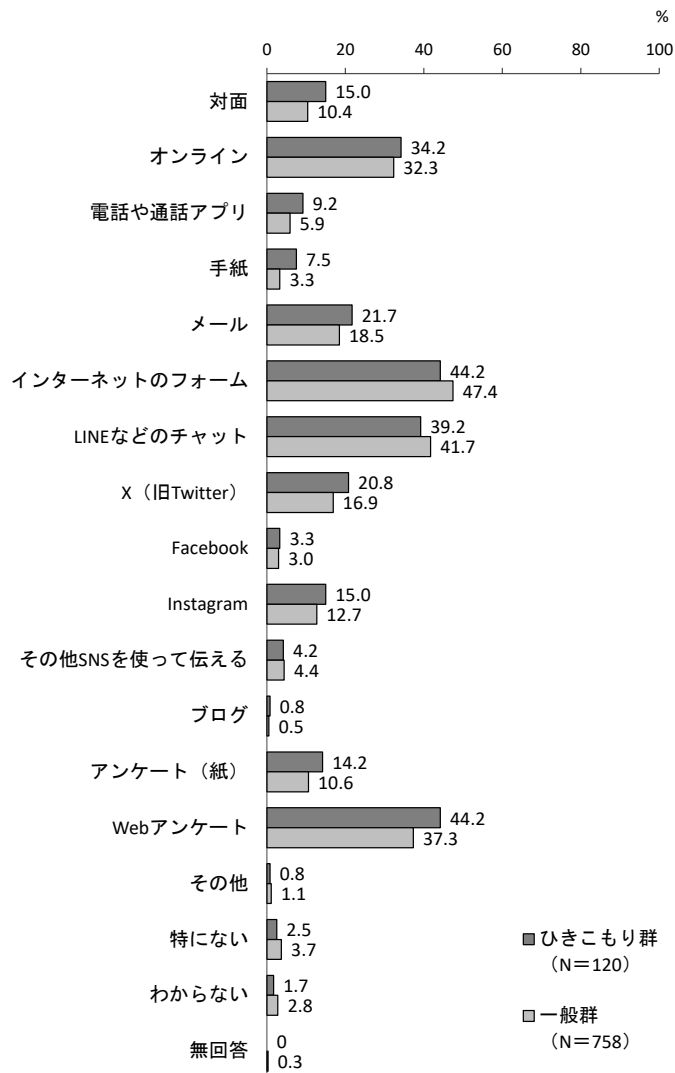


問 48 どのような方法や手段であれば、墨田区に対して意見や思いを伝えやすいですか。
(○はいくつでも)

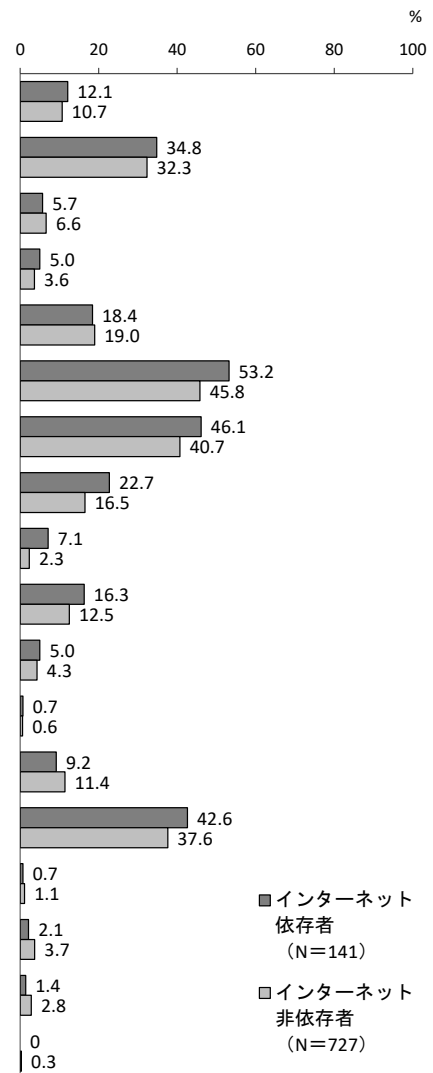
「インターネットのフォーム」の割合が46.7%と最も高く、次いで「LINEなどのチャット」の割合が41.2%、「Webアンケート」の割合が38.0%、「オンライン」との割合が32.7%となっています。



【ひきこもり群別】



【インターネット依存別】



問 49 若者に関する施策について、墨田区に望むことがありましたらご自由にご記入ください。

自由意見について、取りまとめのうえ、掲載しています。

※「特になし」などの回答は割愛しています。

■ 出産～子育て支援に関すること

ア 出産に係る支援について
・ 出産・育児・子育て支援を充実させてほしい。 ・ 不妊治療や無痛分娩の助成やサポートをしてほしい。 ・ 結婚、出産に伴う祝い金を充実してほしい。
イ 子育て支援について
・ 子育て支援のサービスを充実してほしい。 ・ 子育て世帯への経済的支援を充実してほしい。 ・ 子育ての金銭的負担を軽減してほしい。 ・ 出産・子育て前に対する支援や助成金がほしい。 ・ 子育てしやすい、子育てしたいと思える環境づくりが必要である。 ・ 子どもを安心して預けられる保育園を増やしてほしい。 ・ 学童保育や保育園等の環境を充実してほしい。

■ 若者施策・若者支援に関すること

ア 若者への施策について
・ 墨田区が目指す若者の施策の意図を知りたかった。 ・ 区長が TikTok を始めて若者に親しまれる地域づくりから取りくむ必要があると思います。
イ 若者の相談対応について
・ 若者の就職、再就職や結婚等の人生相談が気軽にできる機関があると心強い。 ・ 悩みを相談できる場所を増やしてほしい。 ・ 相談できる場所を増やすのであれば、その次の解決につなげるようにしてほしい。
ウ 若者の定住や住みたいまちについて
・ 若者が定住するために、結婚支援や子育て支援が必要である。 ・ 墨田区への愛着が湧くような取り組みを望みます。 ・ 若者が住みやすいまちにしてほしい。
エ 若者の居場所について
・ 若者の不安な気持ちをやわらげられる所を提供してほしい。 ・ 勉強や読書、運動、ダンスや楽器の練習など、若者が放課後に、やりたいことに熱中できる場所を提供してほしい。 ・ 若者が勉強しやすい環境づくりをしてほしい。 ・ 友人と集まったり、勉強したり、1 人でも複数人でも長居しやすい、カフェのような場所があるとよい。

■ 経済的支援や住まいに関すること

ア 経済的支援について
・ 経済的な支援を充実してほしい。 ・ 減税してほしい。
イ 住まいについて
・ 子育て世帯向けのマンションがほしい。 ・ 安価な住居を提供してほしい。 ・ 墨田区はアクセスもよく住みやすいが、家賃が高いため、家賃補助などがあるとよい。

■公園や広場、スポーツ施設等の利用に関する意見

ア 公園や広場について	
	・ 子供を安全に広々と遊ばせられる公園やアスレチックがあるとよい。 ・ 緑や芝生広場がある場所をつくってほしい。 ・ 特に目的がなくとも人が集い、時間が過ごせるがただ単に「ダベる」場所があるとよい。 ・ 気軽に本を読んだり、昼寝したりできる芝生や緑が豊かな公園があるといい。 ・ 子どもが大きな声を出しても良いような安全な公園があるとよい。
イ 体育館やスポーツ施設について	
	・ 区営体育館などの施設をもっと気軽に利用できるようにしてほしい。 ・ ボール遊びできる場所、スポーツなど体を動かせる場所を増やしてほしい。 ・ 体育館などの施設の利用料金を安くしてほしい。 ・ ジムの料金を安くしてほしい（区民¥300、区外¥500 など）。 ・ 野球場を増やしてほしい。 ・ 野球場以外のスポーツ施設を増やしてほしい。 ・ サッカー場やバスケットコートがほしい。 ・ バドミントンのコートがほしい。

■児童館・図書館・コミュニティ施設等に関する意見

ア 児童館について	
	・ 児童館が古いところが多い。 ・ 児童館の内容を中高生の過ごせる場所にしてほしい（ビリヤード・ダーツなど）。 ・ 待機児童を減らす取り組みは良いが、現場負担が大きくなっている。 ・ 児童福祉関係の給与が少ない。
イ 図書館について	
	・ 図書館など勉強に取り組める場を増やす。 ・ 若者向けの本を、図書館に増やしてほしい。 ・ 図書館でしゃべったり飲食できるカフェスペースがあるとよい。
ウ その他コミュニティ施設等について	
	・ 勉強や仕事など自由に過ごすことができる無料のワークスペースができればよい。 ・ 屋内施設で小中学生が気軽に出入りできて遊べるような施設があると良い。 ・ 子供が自由に声を出して遊べる場所つくるべき。 ・ とりあえずコミュニティ系を充実した施設を作るべきですね。

■地域コミュニティや地域との交流の機会、国際交流に関する意見

	・ コロナもあり、人との関わりが少なく、対人関係が不安なことから、地域の祭りや、高齢者と若者が交流できる場所が増えて欲しい。 ・ 職業体験ができる機会を早いうちからたくさん増やしてほしい。 ・ 防災・防犯面を考えると地域住民との交流をした方が良くと思うが、活動の内容や参加者の年代、参加者の感想等がわかるとイメージしやすい。 ・ 外国人が参加しやすい多世代のコミュニケーション活動を増やすとよい。
--	---

■交通に関する意見

	・ 交通の便があまり良くないのでコミュニティバスの増便や駐輪場の整備をさらに整えてほしい。 ・ 自転車やLUUPの使い方等について、改めて指導をすべきである。 ・ LUUPやカーシェアがもっと増えるとよい。
--	---

■防犯・喫煙マナー等に関する意見

- ・ 遅い時間に小学生だけで遊んでいる場面を見かけ、犯罪に巻き込まれないか日頃から心配している。防災無線で呼びかけてほしい。
- ・ 夜遅くに公園でたむろする若者がうるさいので対策してほしい。
- ・ 歩きタバコ、路上喫煙をより厳しく取り締まってほしい。

■いじめや虐待、貧困対策に関する意見

- ・ いじめや虐待などで苦しむ子たちが気軽に助けを求められるような制度を作してほしい。
- ・ 虐待されている子供、DV 被害者、精神障害者やひきこもりなどの社会的弱者が明るい未来を描けるまちをつくってほしい。
- ・ 若者または子どもを持つ家庭の貧困対策（教育費の無償化、減税、給付金など）が必要である。

■区の施策等に関する情報発信・情報共有に関する意見

- ・ 子育て世代が多く、公園なども充実している魅力や独自の取組をもっと積極的に発信したほうがよい。
- ・ 実際に取り組んでいることについて、もっとアピールしていくと良い。
- ・ 墨田区に住んでいる人々の意見や思いをストレートに反映してくれたら嬉しい。
- ・ 今やっている施策について、WEBで見られるようにQRコードを郵送するなどはどうか。今回のアンケートで考えるきっかけになった。
- ・ チラシとか張り紙はあまり見ないので、SNSでの広告等あれば目にしやすい。
- ・ 回覧板や郵便物にて、定期的なレポートを配布して、重要な活動について教えてほしい。
- ・ 若者（30歳未満）が暮らし続けると、自分が豊かになっていくことを示す情報の発信があるとよい。
- ・ 区内で行われるイベントを定点カメラでLIVE配信とか、区内での情報がリアルタイムで分かる媒体が欲しいです。

■若者の意見把握・反映、まちづくり参加に関する意見

- ・ 今回のようなブッシュ型の調査があると意見を投げやすい。
- ・ 若者の意見の反映が、どのように反映されているのかが気になる。
- ・ 伝えたいことがあっても、どこからどのように意見を送れば良いかわからないので、窓口を分かりやすくしてほしい。
- ・ どのように意見を伝えれば、実際に動くところにつながるのかが知りたい。
- ・ 墨田区をもっと良くしたい若者を募って意見交換したり、区議会議員と話せる機会があったらいいと思う。

■区政・まちづくりに関する意見

- ・ 好きな街だからこそ区民の声をしっかりと聞き、暮らしやすい環境をつくってほしい。
- ・ 労働者の生活を豊かにすることが、最終的に困窮する家庭環境を減らすことにつながる。イベントのような局所的な施策ではなく、広範囲に有効な施策を実施してほしい。
- ・ ぜひ失敗してもいいから勇気を持って大きな決断をしていただきたい。コミュニティの強いまちなのだから。
- ・ すべての人が暮らしやすく、文化的に、まちづくりに参加したいと思える環境づくりや、柔軟な視点を持って対応ができる行政を期待する。
- ・ 高齢者向けに使っている一人当たり財源の量を、その最若年層向けと比較して公開してほしい。
- ・ どんな境遇や属性を持っていても、暮らし続けたいと思える街になってほしい。若い世代の声が届く実感を得られる施策を行ってほしい。
- ・ 高齢化が進む中で子育て家庭が入ってくるとはとても良いが、子育て支援がまだ充実していないように感じる。例えば、給食費を無償化したりすることでただでさえ収入が少ない若

者たちが子どもを産みやすく育てやすい区にすることでより区内も若者と元々多い高齢者との交流が自然にでき、活性化され则认为。

- ・ すみだトリフォニーがあるので、音楽が盛んな街になってほしい。ストリートピアノや音楽スタジオが増えるといいです。
- ・ 性的少数者、障がい者、海外にルーツを持つ若者等社会のマイノリティに寄り添う環境づくりが大事である。

■ アンケート調査に関する意見

- ・ Web アンケートの方が若い世代は答えやすい

III 調査票

墨田区子ども・若者実態調査

ご協力をお願い

区民の皆様には、日頃から区政に対し、格別のご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

このたび区では、「子ども・若者実態調査」を実施いたします。この調査は、墨田区内の若者が日頃どのような生活を送り、どのような課題を持っているかを把握することで、今後の子ども・若者支援施策を進める上での参考資料とすることを目的として行います。

「子ども・若者実態調査」の実施にあたり、18歳から29歳まで【令和6年4月1日基準】の区民の皆様を、層の異なることのないように統計的な手法で無作為に選ばせていただきましたところ、あなた様にご参加をうかがうこととなりました。

調査は、無記名で行い、「こういうご意見が何パーセント」というように統計的に処理しますので、個人が特定されるようなことは絶対にございせん。

おにしいところ大変恐縮ですが、調査の速さをご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、調査結果につきましては、調査結果のとりまとめ後に区役所に所管用の調査報告書をご用意します。また、墨田区ホームページにも公開しますのでそちらをご参照ください。

令和6年6月

墨田区

【ご記入に当たってのお願い】

◇調査票の記入について

- ・この調査は封筒の宛名のご本人が対象となります。
- ・何らかの事情でご本人がご記入できない場合は、ご家族の方などに代筆していただくか、あなたの意思を尊重して代わってご回答していただく方をお願いいたします。
- ・期2（年齢）を除き、令和6年8月1日現在の内容でご記入ください。
- ・設問に選択肢のあるものは、あてはまる番号に○をつけてください。お答えが「その他」にあてはまる場合は、（ ）内に具体的に記入してください。
- ・設問によって、○をつけていただく数を（ ）内に指定していますので、ご注意ください。

回答にかかる時間は、15～20分です。ご協力の程お願い致します。

◇調査票の回収について

回答期限：7月7日（日）※郵送の場合は消印有効

【郵送回答の場合】※切手不要

- ・ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れ、郵送してくださいませようお願いします。（切手は不要です）

【WEB回答の場合】

- ・パソコンやスマートフォンなどで、下記のURLを入力するか、右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。

URL: <https://forms.office.com/r/k2x2b5y6>

Web 回答



【本アンケート調査の内容について】

本アンケート調査では、以下の項目について、あなたの生活の状況やご意見などをお聞きしております。

ご回答いただいた内容は、今後の子ども・若者支援施策の立案に役立てます。

- 普段の生活について
- 情報収集やインターネットの利用について
- 休みや人間関係について
- 仕事に関することについて
- 社会貢献・社会参画について
- 自由な時間の過ごし方や居場所について
- あなた自身のことについて
- 犯罪や非行について
- 公共施設や施設について
- 若者の意見反映について

ご協力の程お願い致します

1 基本属性について

問1 性別をお答えください。(本問は性別による意向の違いを知るために行うものです。ご本人が自認している性をご記入ください。)

() 時くらい

問2 令和5年4月1日時点の年齢をお答えください。(Oは1つだけ)

1. 18歳～19歳 2. 20歳～24歳 3. 25歳～29歳

問3 墨田区にお住いの期間はどのくらいですか。(Oは1つだけ)

1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上

2 普段の生活について

問4 現在同居しているご家族すべてにOをつけてください。(Oはいくつでも)

1. 父 2. 母 3. 兄、姉 4. 弟、妹
5. 祖父母 6. 配偶者(事実婚含む) 7. ご自身のお子さん
8. その他の人() 9. 同居家族はいない(単身世帯)

問5 平均的な就寝時刻と起床時刻を教えてください。(24時間表記)

就寝 () 頃 起床 () 頃

問6 朝ごはんを週に何日程度食べていますか。(Oは1つだけ)

1. 毎朝食べる 2. 週に5～6日程度食べる 3. 週に3～4日程度食べる
4. 週に1～2日程度食べる 5. 全く食べない

問7 夜ごはんを週に何日程度食べていますか。また、どこで食べることが多いですか。

(1) 週に何日 (Oは1つだけ)

1. 毎晩食べる 2. 週に5～6日程度食べる 3. 週に3～4日程度食べる
4. 週に1～2日程度食べる 5. 全く食べない

(2) どこで (Oは1つだけ)

1. 自宅で食べる人が多い 2. 自宅外で食べる人が多い

問8 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出しますか。(Oは1つだけ)

1. よく外出する 2. たまに外出する 3. あまり外出しない 4. ほぼ外出しない

問8で「1～2」と答えた方のみ、問9～10の質問に回答してください。

問9 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出した際、何時くらいに帰宅しますか。

() 時くらい

問10 夜間(午後10時～翌日午前4時)に外出する際、主にどこに行きますか。(Oはいくつでも)

1. 友人の家 2. ファストフード店
3. 飲食店(ファミレス・居酒屋など) 4. コンビニエンスストア
5. 映画館・ネットカフェ・個室ビデオ
6. アミューズメント施設(ゲームセンター・パチンコ店など)
7. カラオケボックス 8. 繁華街
9. 公園 10. その他()

問11 ふだんご自宅にいとくよくしていることすべてにOをつけてください。

(Oはいくつでも)

1. テレビを見る 2. ラジオを聴く 3. 本を読む
4. 新聞を読む 5. ゲームをする 6. 勉強をする
7. 仕事をやる 8. 家事・育児をする 9. インターネットをする
10. あてはまるものはない

問12 ふだんどのくらい外出しますか。(Oは1つだけ)

1. 仕事や学校で平日は毎日外出する
2. 仕事や学校で週に3～4日外出する
3. 遊び等で頻りに外出する
4. 人づきあいのためにときどき外出する
5. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事のみだけ外出する
6. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどは出かける
7. 自宅からは出るが、家からは出ない
8. 自宅からは出ない

問12で「5～8」と答えた方のみ、問13～15の質問に回答してください。

問13 現在の状態となつてどのくらい経ちますか。(Oは1つだけ)

1. 6か月未満 2. 6か月～1年未満 3. 1年～3年未満
4. 3年～5年未満 5. 5年～7年未満 6. 7年以上

問 14 現在の状態になっただけは何か。 (○はいくつでも)

1. 不登校 (小学校・中学校・高校)
2. 大学になじみなかった
3. 受験に失敗した (小学校・中学校・高校・大学)
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 周囲になじみなかった
6. 人間関係がうまくいかなかった
7. 病気 (病名:)
8. 妊娠した
9. その他 ()

問 15 現在の状態について、関係機関に相談したいと思いませんか。 (○は1つだけ)

1. 非常に思う
2. 思う
3. 少し思う
4. 思わない

問 16 相談したいと思わない理由は何ですか。 (○はいくつでも)

1. 自分のことを知られてくれない
2. 行っても解決できないと思う
3. 何をされるかわからないと思う
4. 相手にうまく話せないと思う
5. 行ったことを人に知られたくない
6. お金がかかると思う
7. 相談機関が近くにない
8. その他 ()
9. 特に理由はない

問 17 現在の状態について、関係機関に相談したことはありますか。 (○は1つだけ)

1. ある
2. ない

問 18 どのような相談機関に相談しましたか。相談したことのある機関に○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. スクールサポートセンター・ステップ学校 (通称指導教室)
2. 教育相談室などの相談機関
3. 児童相談所・福祉事務所などの児童福祉機関
4. 職業安定所 (ハローワーク)・ジョブカフェ・地域若者サポートステーションなどの就労支援機関
5. 保健所・保健センター
6. 病院・診療所
7. 民間施設 (いわゆる「フリースクール」など)
8. 上記以外の心理相談・カウンセリングなどをとする民間の機関
9. その他の施設・機関 (具体的に)

問 12 で「1～4」と答えた方のみ、問 19 の質問に回答してください。

問 19 今まで以下のような状態が6か月以上続いたことはありませんか。

(○は1つだけ)

1. ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の際にだけ外出する
2. ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
3. 自宅からは出るが、家からは出ない
4. 自宅からはほとんど出ない
5. 1～4のような状態が6か月以上続いたことはない

問 19 で「1～4」と答えた方のみ、問 20～22 の質問に回答してください。

問 20 はじめてその状態になったのは、あなたが何歳の頃ですか。(数字で具体的に)

歳

問 21 その状態はどれくらい続きましたか。 (○は1つだけ)

1. 6 か月～1 年未満
2. 1 年～3 年未満
3. 3 年～5 年未満
4. 5 年～7 年未満
5. 7 年以上

問 22 その状態になっただけは何か。 (○はいくつでも)

1. 不登校 (小学校・中学校・高校)
2. 大学になじみなかった
3. 受験に失敗した (高校・大学)
4. 就職活動がうまくいかなかった
5. 周囲になじみなかった
6. 人間関係がうまくいかなかった
7. 病気 (病名:)
8. 妊娠した
9. その他 ()

3 情報収集やインターネットの利用について

問 23 ふだん、情報をどのようなものから得ていますか。 (○はいくつでも)

1. テレビ・ラジオ
2. 新聞
3. 週刊誌・雑誌・漫画
4. 本・書籍
5. 広報紙 (ほみだ区報など)
6. 地域情報誌
7. 掲示板・閲覧板
8. インターネット検索
9. ニュースアプリ
10. SNS (LINE, Instagram, TikTok, X (旧 Twitter), YouTube 等)
11. 家族や友人との会話
12. その他 ()
13. 特になし

問 24 学業、仕事以外でのインターネット接続機器を利用していますか。(○はいくつでも)

1. パソコン	2. タブレット
3. スマートフォン	4. ゲーム機
5. その他(具体的に:)	
6. 携帯電話(ガラケー)	6～8と答えた方 → 問29へ
7. 以前は利用していたが、現在は利用していない	
8. 利用していない	

問 24 で「1～5」が含まれる方のみ、問 25～28 の質問に回答してください。

問 25 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などを1日およそ何時間ぐらい利用しますか(学校の授業や宿題、仕事に関する利用を除く)。(○は1つだけ)

1. 30分程度	2. 1～2時間程度	3. 2～4時間程度
4. 4～6時間程度	5. 6時間以上	6. わからない

問 26 スマートフォンやパソコン、タブレット端末などの利用目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. インターネットでの情報収集	
2. SNSやチャット等を使った学校や職場等の友人・知人(いわゆる「リアル友達」)との交流	
3. SNSやチャット等を使ったWEB上の友人・知人(「リアル友達」以外)との交流	
4. 出会い系サイトやマッチングアプリ	
5. ホームページ、ブログなどの作成、書き込み	
6. 動画や音楽の閲覧	
7. 電子書籍の読書	
8. 映像、画像、音楽の編集	
9. ネットショッピング・オークション	
10. ゲーム	
11. 電話(LINE 電話等を含む音声通話)	
12. テレビ番組やビデオ通話	
13. 自己啓発(アプリを用いた学習等)	
14. その他()	

問 27 インターネットの利用について、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。(○は各項目につき1つ)

	はい	いいえ
① インターネットに夢中になっていると感じるか	1	2
② 満足を得るために、ネットを使う時間を長くしていかなければならないと感じるか	1	2
③ 使用時間を減らしたり、やめようとしたりしたが、うまくいかなかったことが度々あったか	1	2
④ ネットの使用をやめようとした時、落ち込みやイライラを感じるか	1	2
⑤ 意図したよりも、長時間オンラインの状態でいるか	1	2
⑥ ネットのため、大切な人間関係、学校、部活のことを怠くしたことがあったか	1	2
⑦ 熱中しすぎていることを隠すため、家族や身近な人にうそをついたことがあるか	1	2
⑧ 嫌な気持ちや不安、落ち込みから逃げるためにネットを使うか	1	2

問 28 インターネットを利用して、直近1年以内で、次のようなトラブルにあったことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分の悪口をネット上に書き込まれた	
2. 仲間はすれ違いはじめを受けた	
3. 名前や住所、メールアドレスなどの個人情報や写真を勝手に使用された	
4. 迷惑メール(フィッシング詐欺メールなど)が頻繁に送られてきた	
5. なりすましやアカフントの乗っ取り被害にあった	
6. 身におぼえない料金を請求された	
7. 知らないうちに会員登録や契約をしてしまった	
8. ネットショッピングなどで詐欺にあった(商品が届かない、不良品が届く)	
9. オンラインゲームで被害にあった(アイテムがなくなる、ゲームができなくなる)	
10. コンピューターウイルスに感染した	
11. ネット上で知り合った人とのトラブルに巻き込まれた(つきまとい、いやがらせ、現実の犯罪など)	
12. その他()	
13. 持っていない	

4 悩み事や人間関係について

問 29 現在、悩み事や心配なことはありますか。(○はいくつでも)

1. 自分からのこと
2. 自分以外のこと
3. 性格のこと
4. 家族の健康のこと
5. 子育てのこと
6. 介護や看護のこと
7. 勉強や就職のこと
8. 仕事や職業のこと
9. 家族関係
10. 家族以外との人間関係
11. 収入、経済面のこと
12. はっきりした悩みはないがなんとなく不安
13. その他 ()
14. 特になし

問 30 ふだん悩み事を誰かに相談したいと思いますか。(○は1つだけ)

1. 非常に思う
2. 思う
3. 少し思う
4. 思わない

問 31 ふだん悩み事を誰に相談しますか。(○は1つだけ)

1. 親
2. きょうだい
3. 友人・知人
4. 配偶者
5. 祖父母
6. 学校の先生
7. 地域の関係・上司
8. カウンセラー・精神科医
9. 都・区などの専門機関の人
10. ネット上の知り合い
11. その他 ()
12. 誰にも相談しない

問 32 相談するなら、どのような人や場所だと相談しやすい・相談したいと思いますか。
(○はいくつでも)

1. 無料相談できる
2. 匿名(自分が誰か知らずに)で相談できる
3. 曜日・時間帯を気にせず相談できる
4. 相談できる場所が自宅から近い
5. SNSやメールで相談できる
6. 電話で相談できる
7. 相手が同世代である
8. 相手が同姓である
9. 相手が同じ悩みを持っている又は持っていることがある
10. 相手がカウンセラーなど専門家である
11. 相手が公的な支援機関である
12. 相手が医師である
13. 相手が民間の支援団体(NPO等)である
14. 相手が自宅に来てくれる
15. 誰にも相談したくない
16. その他 ()

7

5 仕事に関することについて

問 33 現在は働いていますか。(○は1つだけ)

1. 勤めている(正社員)
2. 勤めている(契約社員、派遣社員又はパート・アルバイト(学生のアルバイトは除く))
3. 自営業・自由業
4. 専業主婦・主夫又は家事手伝い
5. 学生(予備校生を含む)
6. その他 ()
7. 派遣会社などに登録しているが、現在は働いていない
8. 無回答

問 33 で「7～8」と答えた方のみ、問 34 の質問に回答してください。

問 34 現在、仕事をしたいと思っていますか。(○は1つだけ)

1. 仕事をしたい → 問 36 へ
2. 仕事をしたくない

問 34 で「2」と答えた方のみ、問 35 の質問に回答してください。

問 35 仕事をしたくない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 時間的融通がきかないから
2. 好きなことができないから
3. 仕事以外にやりたいことがあるから
4. 責任を感じずに済むから
5. したいと思う仕事がないから
6. 自分の技能・能力を活かせる会社がないから
- 7.今のままでも生活していくことができるから
8. 主に家事や育児をしているから
9. 人間関係で悩まなくていいから
10. 雇用上の理由
11. その他 ()

6 社会貢献・社会参画について

問 36 あなたが実際に参加している地域活動、または参加してみたい地域活動はどのような活動ですか。(○はいくつでも)

1. 環境美化活動(清掃・リサイクルなど)
2. 交通安全推進活動
3. 防災活動
4. 助け合い活動(高齢者・障がい者への支援など)
5. 防犯活動(防犯パトロールなど)
6. 近所への文化事業の提供(劇、音楽、書、絵画など)
7. 文化・スポーツ活動・園芸活動などへの参加
8. 文化・スポーツ活動・園芸などの指導
9. 外国人との交流
10. 祭りなどの文化行事・イベント
11. 参加していない・したくない
12. その他 ()

8

問 37 地域活動に多くの人が参加するには何が必要だと思いますか。(○は2つまで)

1. 活動内容を区内外に積極的にPRすること 2. 活動団体(町会、NPO、自主活動など)の情報を公開すること 3. 活動団体が連携できる組織であること 4. 活動報告(活動内容・決算報告など)が行われていること 5. 活動内容を魅力的なものにすること 6. 活動に気軽に参加できるようにすること 7. 地域のニーズ・課題に合っていること 8. 活動の目的が明確で共感できること 9. 活動している団体(町会、NPO、自主活動など)と気軽に交流ができること 10. 自分の業務・特技・余暇の範囲で負担が少なくできること 11. 特になし 12. その他 ()

7 自由な時間の過ごし方や居場所について

問 38 仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間をどのように過ごすことが多いですか。(○はいくつでも)

1. 何もしないでのんびりする 2. 家族とおしゃべりをする 3. テレビ、漫画、動画サイト、雑誌などをみる 4. 読書をしたり、音楽を聴いたりする 5. 趣味の活動をする(音楽活動、料理、写真、スポーツ、映画鑑賞、ライブ参加など) 6. クラブ活動やサークル活動をする 7. スマホや専用機器等でゲームをする 8. 買い物をする(ネットショッピング含む) 9. 地域の行事やイベントに参加する 10. 友人と遊んだり、飲食したりする 11. ゲームセンターやカラオケなどに行く 12. SNSやブログを隅たり投稿したりする 13. 同級生などの勉強をする 14. 家事や家の手伝いをする 15. 1人でお酒を飲んだり、食事をしたりする 16. その他 ()

問 39 仕事や学校、家事などのほかに、自由な時間を過ごす場合、どのような場所で過ごすことが多いですか。(○はいくつでも)

1. 自分の家 2. 友人の家 3. 喫茶店・カフェ 4. ファストフード店 5. 飲食店(ファミレス・居酒屋など) 6. コンビニエンスストア 7. 健康施設(デパートなど) 8. 通学喫茶・ネットカフェ・個室ビデオ店 9. アミューズメント施設(ゲームセンター・パチンコ店など) 10. カラオケボックス 11. 繁華街 12. 学校 13. 図書館 14. スポーツ施設 15. 文化施設(美術館・博物館・コンサートホールなど) 16. 公園 17. 区民施設(コミュニティ会館など) 18. その他 ()
--

問 40 仕事や学校、家などほかに、どのような居場所があればよいと思いますか。(○はいくつでも)

1. いつでも行きたい時に行ける 2. 一人で過ごせたり、何もせずのんびりできたりする 3. 同世代の友人や仲間と過ごせる 4. 違う世代の人と過ごせる 5. ありのままでもいい、自分を否定されない 6. 好きなことをして自由に過ごせる 7. 自分の愚痴や希望を受け入れてもらえる 8. 新しいことを学べたり、やりたいことにチャレンジできたりする 9. 悩みことなどの相談にのってもらえる 10. いろんな人と出会える、友人と一緒に過ごせる 11. その他 () 12. 居場所の必要性を感じない
--

8 あなた自身のことについて

問 41 次になげられたことについて、あなた自身にあてはまる数字に○をつけてください。

(○は各項目につき1つ)

	はい	どちらか はな い	どちらか はい え	いい え
① 自分に自信がある	1	2	3	4
② いろいろなことに積極的に挑戦することができる	1	2	3	4
③ 自分のことが好き	1	2	3	4
④ 将来の夢はなんとしてでも叶えたい	1	2	3	4
⑤ 自分の欠点や失敗を少しでも悪く言われると、ひどく動揺する	1	2	3	4
⑥ 人といくと、馬鹿にされたり軽く扱われはしないかと不安になる	1	2	3	4
⑦ 大事なことを自分ひとりで決めてしまうのは不安だ	1	2	3	4
⑧ 初対面の人とすぐに会話できる自信がある	1	2	3	4
⑨ 人とのつきあい方が不器用なのではないかと悩む	1	2	3	4
⑩ 自分の感情を表に出すのが苦手だ	1	2	3	4
⑪ 周りの人ともめごとが起こったとき、どうやって解決したらいかがわからない	1	2	3	4
⑫ たどえ願っていても自分のやりたいことに口出ししないで欲しい	1	2	3	4
⑬ 家や自室に閉じこもって外に出ない人たちの気持ちはわかる	1	2	3	4
⑭ 自分も、家や自室に閉じこもりたいたいと思うことがある	1	2	3	4
⑮ 嫌な出来事があると、外に出たくなる	1	2	3	4
⑯ 理由があるなら家や自室に閉じこもるのも仕方がないと思う	1	2	3	4
⑰ これまでの人生のなかで、自殺したい、またはそれに近いことを考えたことがある	1	2	3	4
⑱ いつか必ず自分にふさわしい仕事が見つかると思う	1	2	3	4
⑲ いつか自分の夢を実現させる仕事に就きたい	1	2	3	4
⑳ 定期的に就かない方が自由でいいと思う	1	2	3	4

	はい	どちらか はな い	どちらか はい え	いい え
① 身の回りのことは頼ってもらっている	1	2	3	4
② 昼夜逆転の生活をしている	1	2	3	4
③ 新聞の政治や経済・社会報道によく目を通す	1	2	3	4
④ 自分の周辺には理不尽と思うことがたくさんある	1	2	3	4
⑤ 誰とも口を利かずに過ごす日が多い	1	2	3	4
⑥ 人と会話をするのはわずらわしい	1	2	3	4
⑦ 過去の知り合いや縁者に連絡できる人はいない	1	2	3	4
⑧ 自分の精神状態は健康ではないと思う	1	2	3	4
⑨ 自分の今の状態について考えることがよくある	1	2	3	4

9 犯罪や非行について

問 42 薬物について、身近に感じた経験はありますか。(○はいくつでも)

※ここで言う「薬物」は、合法、違法を問わず、身体に悪影響を及ぼす使用方法、あるいは薬物そのもののことを指します。また、大麻も含みます。

1. 自身の周囲で「使用または所持している・していた人を知っている」という知人がいる
2. 自身の周囲で「使用または所持している・していた」という知人がいる
3. 薬物の使用に誘われたことがある
4. 薬物を使用してみたいと思ったことがある
5. 身近に感じたことはない
6. わからない
7. 否えたくない

問 43 闇バイトについて、身近に感じた経験はありますか。(○はいくつでも)

1. 闇バイトと思われる求人を見たことがある
2. 闇バイトと思われる求人を見たという話を知人から聞いたことがある
3. 自身の周囲で「闇バイト」として人に知られている・している知人がある
4. 自身の周囲で「闇バイト」として人に知られている・している知人がある
5. 闇バイトと思われる求人に誘われたことがある
6. 闇バイトと思われる求人に応募したいと思ったことがある
7. 闇バイトと思われる求人に応募したり、働いたりしたことがある
8. 身近に感じたことはない
9. わからない
10. 答えたくない

問 44 子どもや若者が犯罪や非行に巻き込まれないようにするために、特に何が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1. 保護者がもっと厳格を持つこと
2. 保護者が手本となるような生活態度を示すこと
3. 保護者と子どもが積極的に会話し、心あう機会を多く持つこと
4. 大人が子どもの自主性を尊重し、過保護・過干渉にならないようにすること
5. 子どもに悪い影響を与えたと思われる雑誌・番組・動画などが、子どもの目に触れない環境をつくること
6. 社会全体がモラルを高めること
7. 地域で青少年を奨励し、育てるような環境をつくること
8. 警察や役所が取り締まりや広報・PR活動を行うこと
9. 学校で社会のモラルや道徳を教えること
10. 青少年の居場所や遊び場などをつくること
11. その他 ()
12. 特になし

10 公共施設や施策について

問 45 若者向けにどんな場所をもっと墨田区にあればよいと思いますか。(○は3つまで)

1. 大きな倉庫 (倉庫裏など) を出してよい場所
2. 思いっきり身体を動かせる場所
3. 気軽にしゃべりできる場所
4. 自分の悩み相談に乗ってくれる場所
5. 趣味仲間が自由に集まれる場所
6. インターネットが自由に使える場所
7. 静かに勉強や読書ができる場所
8. その他 ()

13

問 46 墨田区が取り組む青少年や若者の施策にどんなことを望みますか。(○は3つまで)

1. 青少年や若者が参加できているイベントや意見を発表できる機会をつくり、情報を提供する
2. 地産活動や体験活動などの社会参加を通して、家庭・学校・地域がともに青少年を育成するまちづくりをする
3. 青少年や若者中心のイベントやボランティアなどの自主的な活動を支援する
4. 子どもから大人まで、青少年活動のリーダーとなる人を育成する
5. 経済的な困難を抱えている家庭を支援する
6. いじめや虐待などの悩みを相談できる窓口を充実させ、支援する
7. 放課後などに気軽にに行ける安全な居場所を提供する
8. 多様な授業 (国際交流等) を取り入れるなど、学校教育を充実させる
9. 美術館や図書館などの有害なものから子どもたちを守り、非行や犯罪防止につとめる
10. インターネットの適正な利用について学習機会を充実させる
11. 就労に向けた相談やサポート体制を充実させる
12. 居場所の子どもたちの相互支援などを行う
13. その他 ()
14. 特になし

11 若者の意見反映について

問 47 墨田区では、まちづくり等を行うにあたって、子どもや若者の意見の反映に取り組んでいます。墨田区に対して、自分の意見や思いを伝えたいと思ったことはありませんか。(○は1つだけ)

1. ある
2. ややある
3. あまりない
4. ない

問 48 どのような方法や手段であれば、墨田区に対して意見や思いを伝えやすいですか。(○はいくつでも)

1. 対面
2. オンライン
3. 電話や通話アプリ
4. 手紙
5. メール
6. インターネットのフォーム
7. LINE などのチャット
8. X (旧 Twitter)
9. Facebook
10. Instagram
11. その他 SNS を使って伝える
12. ブログ
13. アンケート (紙)
14. Web アンケート
15. その他 ()
16. 特になし
17. わからない

問 49 若者に関する施策について、墨田区に望むことがありますたらご自由に記入ください。

【ご協力いただきありがとうございます】

14

墨田区若者実態調査 調査結果報告書

令和6年11月

発行 墨田区教育委員会事務局地域教育支援課

〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

T E L : 03-5608-6503 (直通)

F A X : 03-5608-6411

E-mail : CHIIKIKYOUIKU@city.sumida.lg.jp
